

EPSON

取扱説明書

ビジネスプロジェクター

EB-FH54

マニュアル中の表示の意味	6	USB機器を接続する	25
マニュアルの使い方と情報の探し方	8	USB機器を取り外す	25
キーワードで検索する	8	書画カメラを接続する	25
しおりから直接ジャンプする	8	外部機器を接続する	25
必要なページだけ印刷する	8	外部スピーカーを接続する	25
ドキュメント類の最新バージョンを入手する	9	メディアストリーミング端末を接続する	26
プロジェクターを使用する前に	10	リモコンに電池を取り付ける	28
本機の特長	11	リモコンを操作する	29
かんたん投写	11	レンズカバーを開く	30
らくらく無線投写	11	プロジェクターの基本機能を使用する	31
Appleデバイスとの連携	12	プロジェクターの電源を入れる	32
プロジェクターの各部名称と働き	14	ホーム画面設定	33
プロジェクターの各部名称 - 前面	14	プロジェクターの電源を切る	35
プロジェクターの各部名称 - 背面	15	日時を設定する	36
プロジェクターの各部名称 - 底面	16	メニューの言語を選択する	38
プロジェクターの各部名称 - 操作パネル	16	設置モードを選択する	39
プロジェクターの各部名称 - リモコン	17	リモコンで設置モードを変更する	39
メニューから設置モードを変更する	39	自動タテ補正	43
ヨコ補正スライダーで映像のゆがみを補正する	43	台形補正ボタンで映像のゆがみを補正する	44
Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する	45	ズームリングで映像の大きさを調整する	47
フォーカスリングで映像のピントを調整する	48		

映像を切り替える	49
映像のアスペクト比を設定する	51
映像のアスペクト比を変更する	51
アスペクトモードの種類	51
各アスペクトモードの投写イメージ	52
映像を最適化する（カラーモード）	53
カラーモードを変更する	53
カラーモードの種類	53
オートアイリスを設定する	53
音量ボタンで音量を調整する	55
プロジェクターの便利な機能	56
HDMIリンク機能	57
HDMIリンク機能を使って接続機器を操作する	57
PC Free機能で投写する	59
サポートファイル形式	59
PC Free使用時の注意事項	59
PC Freeのスライドショーを開始する	60
PC Freeで動画を投写する	61
PC Freeの表示オプション	62
映像と音声を一時的に遮断する	64
音声を一時的に遮断する	65
映像を一時的に停止する	66
映像を拡大・縮小する（Eズーム）	67
映像を拡大表示する	67
映像を縮小表示する	67
ユーザー口ゴを設定する	69
ユーザーパターンを登録する	71
複数台のプロジェクターから投写した映像の色差補正	72

プロジェクターIDの設定	72
操作対象のプロジェクターIDをリモコンで選択する	72
複数のプロジェクターの映像品質を合わせる	73
セキュリティー機能	75
パスワードプロテクトの種類	75
パスワードの設定	75
パスワードプロテクトの種類を設定する	76
パスワードを入力する	77
操作パネルのボタン操作を制限する	78
操作ボタンロックを解除する	79
セキュリティーケーブルを取り付ける	79
ネットワーク上のプロジェクターを使用する	80
無線LANでの映像投写	81
内蔵の無線LANユニットを安全にお使いいただくために	81
さまざまなネットワーク投写に対応した接続方法	81
プロジェクターの無線LANを設定する	82
Windowsで無線LANを設定する	84
Macで無線LANを設定する	85
無線LANのセキュリティーを設定する（シンプルAPモードオン時）	85
無線LANのセキュリティーを設定する（シンプルAPモードオフ時）	85
サポートするクライアント・CA証明書の一覧	88
QRコードを使用してモバイルデバイスに接続する	88
USBキーを使って接続する（Windowsのみ）	89
モバイルデバイスからのワイヤレス投写（Miracast）	91
Miracastを設定する	91
Miracast接続する	92
Windows 10でMiracast接続する	93
Windows 11でMiracast接続する	94
AirPlayを使用する	95
AirPlayの設定をする	95
AirPlay接続でメディアをストリーミング/ミラーリングする	97
セキュアHTTP	99

メニューからWebサーバー証明書を設定する	99	ネットワークメニュー - 基本設定メニュー	128
サポートするWebサーバー証明書の一覧	100	ネットワーク設定 - 無線LANメニュー	130
プロジェクトを監視および制御する	101	ネットワークメニュー - 通知メニュー	134
Epson Projector Management Connected / Epson Projector Management	102	ネットワークメニュー - その他メニュー	135
Webブラウザーを使ってネットワークプロジェクターを制御する	103	ネットワークメニュー - 初期化メニュー	136
Web Controlのオプション設定	104	節電メニュー	138
Webブラウザーで証明書を設定する	107	情報メニュー	140
メールでプロジェクターの異常を通知する	108	情報メニュー - プロジェクター情報	140
異常通知メールの見方	109	Event ID一覧	141
SNMPを使ってプロジェクターを監視する	110	初期化メニュー	144
プロジェクターのイベントスケジュールを設定する	111	メニュー設定を別のプロジェクターにコピーする（一括設定機能）	145
Web API	114	USBメモリーを使って一括設定する	145
Web APIを有効にする	114	コンピューターを使って一括設定する	146
メニューの設定	115	一括設定でエラーが発生したときは	147
プロジェクターメニューを操作する	116	プロジェクトをメンテナンスする	149
ソフトキーボードを操作する	117	プロジェクトのメンテナンス	150
ソフトキーボードで入力可能な文字	117	レンズを清掃する	151
画質メニュー	118	本機を清掃する	152
映像メニュー	120	エアフィルターと吸排気口をメンテナンスする	153
設定メニュー	121	エアフィルターと吸排気口を清掃する	153
拡張設定メニュー	124	エアフィルターを交換する	153
ネットワークメニュー	127	ランプをメンテナンスする	156
		ランプを交換する	156
		ランプ点灯時間を初期化する	159
		ファームウェアを更新する	161
		USBストレージを使ってファームウェアを更新する	161
		ネットワーク経由でファームウェアを更新する	162

困ったときに	165
トラブルの対処方法	166
インジケーターの見方	167
ヘルプの見方	170
映像や音声に関するトラブル	171
映像が表示されない	171
「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示される	171
Windowsのノートパソコンから映像を出力する	172
Macのノートパソコンから映像を出力する	172
「この信号は本プロジェクターでは受けられません」というメッセージが表示される	172
映像の一部が表示されない	173
映像がゆがむ	173
映像にノイズが入る、乱れる	173
映像がぼやける	174
映像の明るさや色合いが違う	174
音が出ない、小さい	175
PC Freeで画像ファイル名が正しく表示されない	175
プロジェクター、リモコンの操作に関するトラブル	176
電源が入らない、予期せず切れる	176
リモコンで操作できない	176
パスワードが入力できない	177
「時刻を保持する電池残量が低下しています」というメッセージが表示される	177
ネットワークに関するトラブル	178
無線LAN認証できない	178
Webブラウザーを使って設定を変更できない	178
異常が起きたときにメール通知されない	179
ネットワーク経由で投写した映像が乱れる	179
Miracastで接続できない	179
Miracastの映像・音声が乱れる	179
AirPlayで接続できない	180
AirPlayの映像・音声が乱れる	180
Event IDでの確認	180
HDMIリンクで操作できない	187
付録	188
オプション・消耗品一覧	189
スクリーン	189
設置用金具	189
外付けオプション	189
消耗品	189
スクリーンサイズと投写距離	190
対応解像度	192
本機仕様	193
接続端子	193
無線チャンネル数サポート周波数対応表	194
外形寸法図	195
警告ラベル	196
安全規格対応シンボルマークと説明	197
用語解説	199
一般のご注意	201
使用限定について	201
本機を日本国外へ持ち出す場合の注意	201
瞬低（瞬時電圧低下）基準について	201
JIS C 61000-3-2適合品	201
表記について	201
商標について	202
ご注意	202
著作権について	202

マニュアル中の表示の意味

安全に関する表示

本製品および取扱説明書には、製品を安全にお使いいただくために絵表示が使われています。

人体への危害や財産への損害を防ぐために、次の絵表示で表記された説明は、内容をよくお読みいただいた上で、説明に従ってお取り扱いください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

一般情報に関する表示

 注意	注意して取り扱わないと、本製品の故障や損傷の原因となるおそれがある内容を記載しています。
	知っておくと便利な関連情報を記載しています。
【ボタン名】	リモコンまたは本機のボタン名称を示しています。 例：【戻る】ボタン
[メニュー/設定名]	プロジェクターのメニューや設定の名称を示しています。 例： [画質] メニューを選択する ➡ [画質] > [カラーモード]
▶▶	関連事項を記載しているページを示しています。
➡	プロジェクターのメニューの階層を示しています。

▶ 関連項目

- 「マニュアルの使い方と情報の探し方」 p.8

- ・「ドキュメント類の最新バージョン入手する」 [p.9](#)

PDFマニュアルでは、探したい情報のキーワードから該当箇所を検索したり、しおりから直接ジャンプしたりすることができます。また、必要なページだけ印刷することもできます。ここでは、PDFマニュアルをコンピューターのAdobe Reader Xで開いた場合の使い方を説明します。

▶ 関連項目

- 「キーワードで検索する」 [p.8](#)
- 「しおりから直接ジャンプする」 [p.8](#)
- 「必要なページだけ印刷する」 [p.8](#)

キーワードで検索する

[編集] メニューの [高度な検索] をクリックします。検索ボックスに探したい情報のキーワード（語句）を入力して、[検索] をクリックします。キーワードの該当箇所が一覧で表示されます。表示された文字列をクリックすると、該当ページにジャンプします。

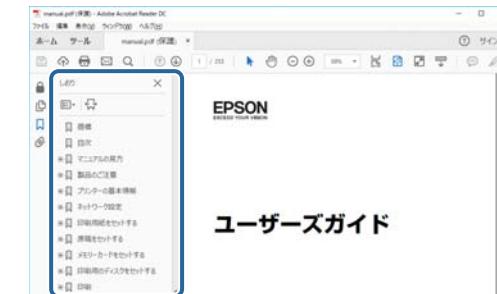


しおりから直接ジャンプする

タイトルをクリックするとそのページにジャンプします。+または>をクリックすると下の階層のタイトルが表示されます。ジャンプ前のページに戻りたいときは、キーボードで以下の操作をします。

- Windows : [Alt] キーを押したまま←キーを押します。

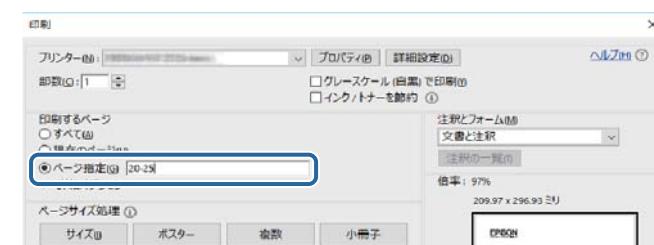
- Mac OS : commandキーを押したまま←キーを押します。



必要なページだけ印刷する

紙で読みたいページだけを抜き出して印刷できます。[ファイル] メニューの [印刷] をクリックして、[印刷するページ] の [ページ指定] で印刷したいページを指定します。

- 連続したページの指定は、開始ページと終了ページの間にハイフンを入れます。
例：20-25
- 連続していない複数ページの指定は、ページをカンマで区切ります。
例：5、10、15



ドキュメント類の最新バージョン入手する

9

説明書や仕様書の最新バージョンは、EPSONのWebサイトからダウンロードできます。

epson.jp/lcp/doc/にアクセスし、機種名を入れてください。

プロジェクターを使用する前に

本機の特長と各部の名称について説明します。

▶ 関連項目

- ・「本機の特長」 [p.11](#)
- ・「プロジェクターの各部名称と働き」 [p.14](#)

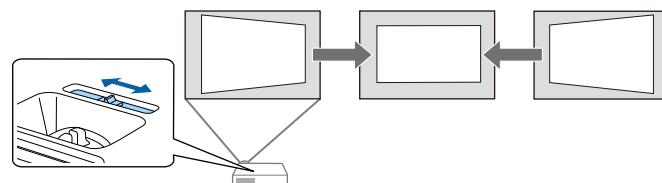
本機は、すばやく簡単に投写準備をすることができ、状況に応じてさまざまな機器と接続できる柔軟性を備えたプロジェクターです。各機能の特長と各部の名称について説明します。

▶ 関連項目

- ・「かんたん投写」 [p.11](#)
- ・「らくらく無線投写」 [p.11](#)
- ・「Appleデバイスとの連携」 [p.12](#)

かんたん投写

- ・電源コードをコンセントに差し込むだけで本機の電源をオンにします（ダイレクトパワーオン）。
- ・映像信号を検出して、自動的に本機の電源をオンにします（オートパワーオン）。
- ・ホーム画面を使って、入力ソースやよく使う機能を簡単に選択できます。
- ・自動的に投写映像のタテ方向のゆがみを補正し、常にゆがみのない映像を表示します（自動タテ補正）。
- ・ヨコ補正スライダーを使って、投写映像のヨコ方向のゆがみをすばやく補正できます。本機をスクリーンに対して平行に設置できないときに便利です（スライド式ヨコ補正）。



▶ 関連項目

- ・「プロジェクターの電源を入れる」 [p.32](#)
- ・「拡張設定メニュー」 [p.124](#)

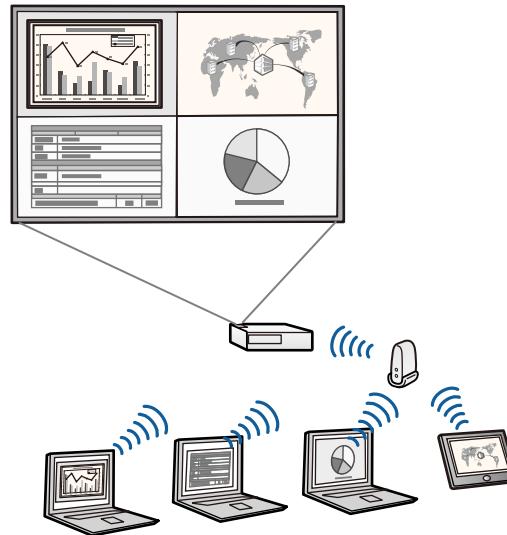
- ・「ヨコ補正スライダーで映像のゆがみを補正する」 [p.43](#)
- ・「自動タテ補正」 [p.43](#)

らくらく無線投写

- ・Miracastを使うと、Miracastに対応のモバイルデバイスと本機を無線で接続します。



- ・Epson iProjection (Windows/Mac)を使うと、投写画面を分割して最大4つの画面を同時に投写できます。ネットワーク上のコンピューター、スマートフォン、タブレット端末の画面を投写できます。
詳しくは『Epson iProjection操作ガイド (Windows/Mac)』をご覧ください。



必要なソフトウェアおよび取扱説明書は以下のWebサイトからダウンロードできます。

<http://www.epson.jp/download/>

- Epson iProjection (iOS/Android) を使うと、本機とモバイルデバイスを無線で接続できます。Epson iProjectionはApp Store、Google Playからダウンロードできます。



App Store、Google Playへ接続する際の通信料はお客様の負担となります。

- Epson iProjection (Chromebook) を使うと、本機とChromebookを無線で接続できます。Epson iProjectionは、Chromeウェブストアからダウンロードできます。



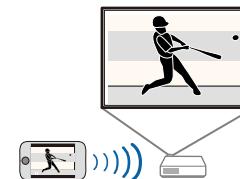
Chromeウェブストアへ接続する際の通信料はお客様の負担となります。

► 関連項目

- 「ネットワーク上のプロジェクターを使用する」 p.80

Appleデバイスとの連携

- AirPlayを使うと、AirPlayに対応しているAppleデバイスを使って、本機でビデオや音楽、写真などのメディアをストリーミングできます。



- 本機をAppleデバイスのApple HomeKitに登録すると、Appleデバイスを使って本機を操作できます。



Works with
Apple AirPlay



Works with
Apple Home

Use of the Works with Apple AirPlay badge means that an accessory has been designed to work specifically with the technology identified in the badge and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.

Use of the Works with Apple badge means that an accessory has been designed to work specifically with the technology identified in the badge and has been certified by the developer to meet Apple performance

standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.

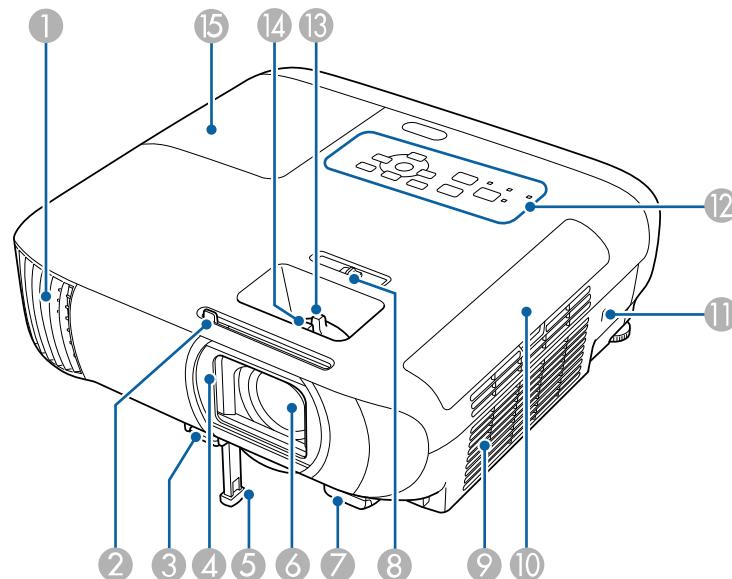
Controlling this HomeKit-enabled accessory automatically and away from home requires a HomePod, HomePod mini, or Apple TV set up as a home hub. It is recommended that you update to the latest software and operating system.

本機の各部名称とその働きについて説明します。

▶ 関連項目

- 「プロジェクターの各部名称 - 前面」 [p.14](#)
- 「プロジェクターの各部名称 - 背面」 [p.15](#)
- 「プロジェクターの各部名称 - 底面」 [p.16](#)
- 「プロジェクターの各部名称 - 操作パネル」 [p.16](#)
- 「プロジェクターの各部名称 - リモコン」 [p.17](#)

プロジェクターの各部名称 - 前面



名称	機能
① 排気口	本機内部を冷却した空気の吐き出し口です。

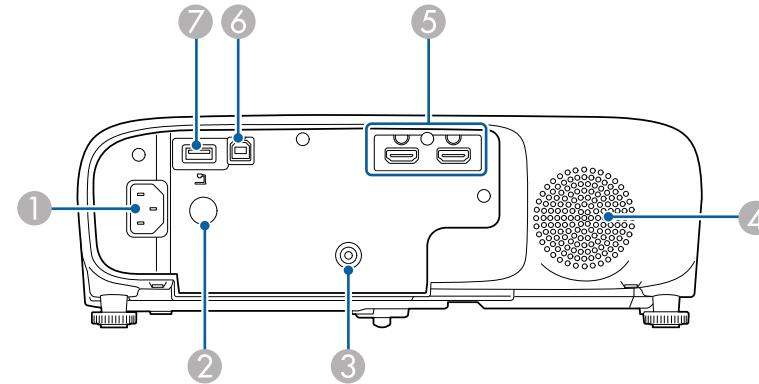
名称	機能
	⚠ 警告 排気口をのぞかないでください。ランプが破裂した場合、細かいガラス破片やガスが飛散して、けがの原因となります。万一、ガラス破片が目や口に入ったときは、直ちに医師の診断を受けてください。
	⚠ 注意 投写中は手や顔を排気口に近づけたり、熱による悪影響を受けるものを排気口の近くに置かないでください。排気口から温風が出るため、やけどや変形、事故の原因となります。
② スライド式レンズカバー操作部	ツマミをスライドさせてレンズカバーの開閉をします。
③ フットレバー	フットレバーを押して、フロントフットを伸縮させます。
④ レンズカバー	本機を使用しないときに閉じて、投写レンズを保護します。投写中に閉めると映像と音声を消すことができます。
⑤ フロントフット	机上設置時に、フットを伸ばして映像の高さを調整します。
⑥ レンズ	ここから映像を投写します。
⑦ リモコン受光部	リモコン信号を受信します。
⑧ ヨコ補正スライダー	映像のヨコ方向のゆがみを補正します。
⑨ 吸気口 (エアフィルター)	本機内部を冷却するための空気を取り込みます。

名称	機能
⑩ エアフィルターカバー	エアフィルターの清掃・交換時に開閉します。
⑪ セキュリティースロット	Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応したセキュリティースロットです。
⑫ 操作パネル	本機の操作をします。
⑬ ズームリング	映像のサイズを調整します。
⑭ フォーカスリング	映像のピントを調整します。 形状はお使いの機種によって異なります。
⑮ ランプカバー	ランプ交換時に開閉します。

▶ 関連項目

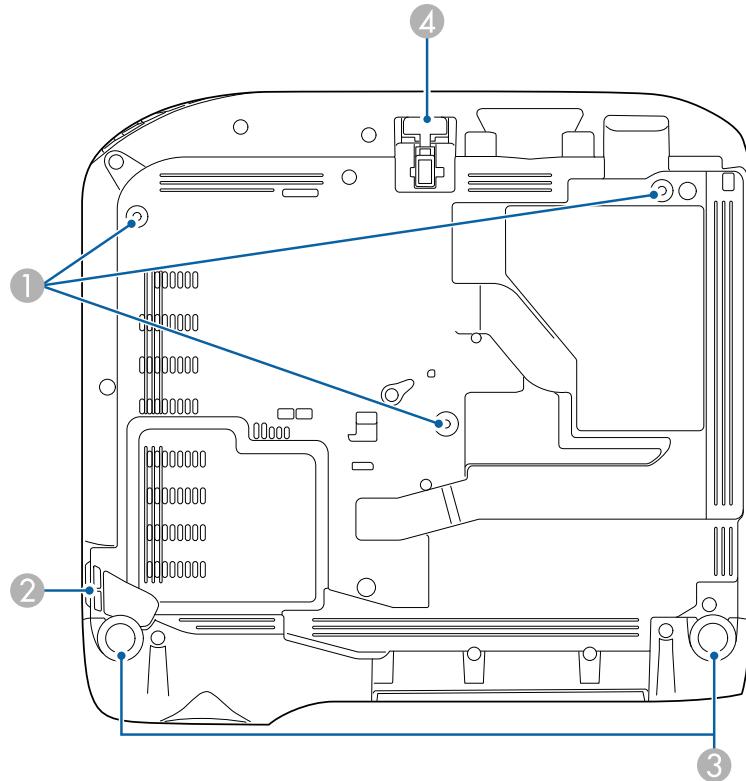
- 「ズームリングで映像の大きさを調整する」 [p.47](#)
- 「フォーカスリングで映像のピントを調整する」 [p.48](#)
- 「インジケーターの見方」 [p.167](#)
- 「ヨコ補正スライダーで映像のゆがみを補正する」 [p.43](#)

プロジェクターの各部名称 - 背面



名称	機能
① 電源端子	電源コードを接続します。
② リモコン受光部	リモコン信号を受信します。
③ 音声出力端子	現在投写している映像の音声やマイク端子からの音声を外部スピーカーに出力します。
④ スピーカー	音声を出力します。
⑤ HDMI1、HDMI2端子	HDMIに対応したビデオ機器やコンピューターの信号を入力します。 本機はHDCPに対応しています。
⑥ USB-B端子	一括設定機能でメニュー設定をコピーするときに使います。
⑦ USB-A (5V==2.0A) 端子	USBメモリーやデジタルカメラを接続して、動画や画像をPC Freeで投写します。 オプションの書画カメラを接続します。 市販のメディアストリーミング端末に電力を供給します。

プロジェクターの各部名称 - 底面



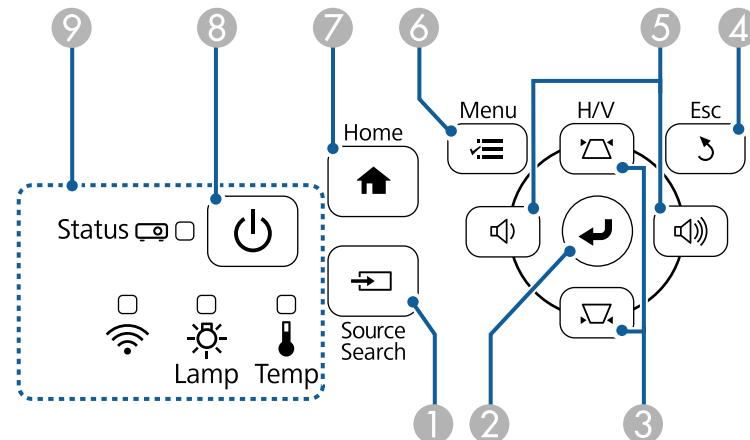
名称	機能
① 天吊り固定部（3箇所）	本機を天井から吊り下げるときは、オプションの天吊り金具をすべての固定部を使用してここに取り付けます。
② セキュリティーケーブル取付け部	市販の盗難防止用ワイヤーロックをこの部分に通して施錠します。 また、落下防止用のセーフティーワイヤーを取り付けることができます。

名称	機能
③ リアフット	机上設置時に、フットを伸縮させて水平方向の傾きを調整します。
④ フロントフット	机上設置時に、フットを伸ばして映像の高さを調整します。

▶ 関連項目

- 「セキュリティーケーブルを取り付ける」 p.79

プロジェクターの各部名称 - 操作パネル



プロジェクター本体には () 内の名称が印字されています。

名称	機能
① 【入力検出】ボタン (Source Search)	映像信号が入力されている入力ソースに順番に切り替えます。

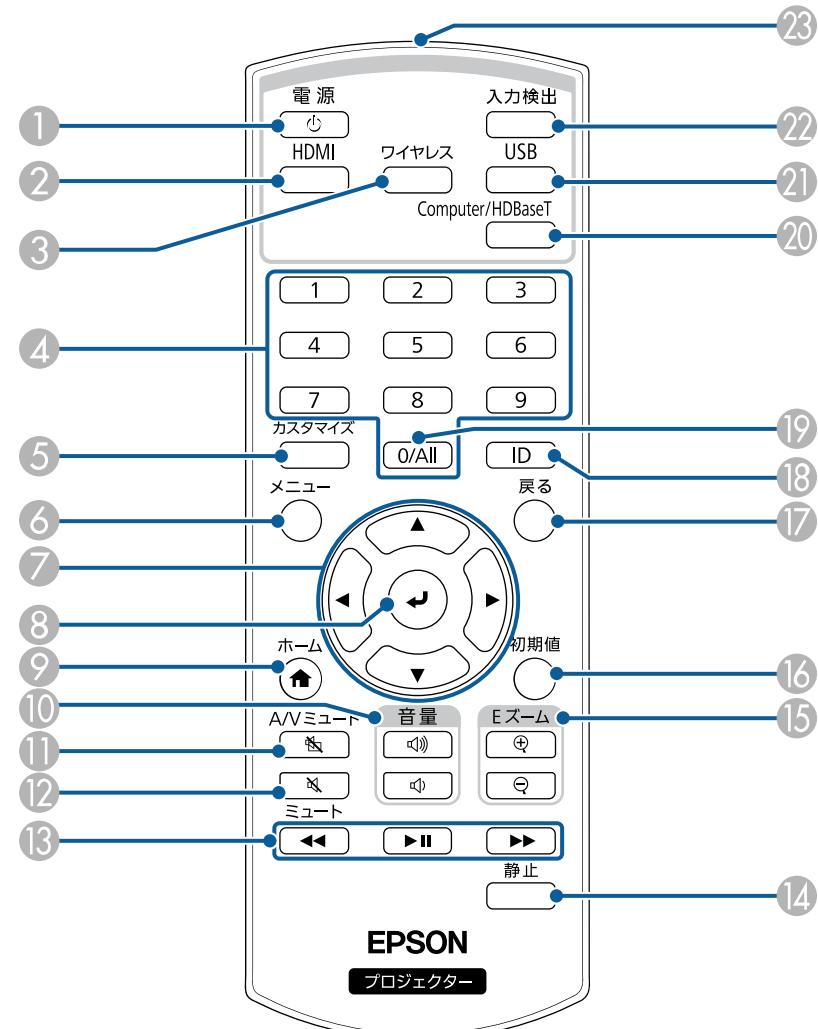
名称	機能
② 【決定】ボタン【➡➡】 (Enter)	メニュー や ヘルプ の表示中に押すと、選択項目を決定して、次の階層に進みます。
③ 台形補正ボタン/上下ボタン	台形補正画面を表示して、タテヨコ方向の台形ゆがみを補正します。 メニュー や ヘルプ の表示中に押すと、メニュー項目を選択します。
④ 【戻る】ボタン (Esc)	実行中の機能を終了します。 メニューの表示中に押すと、前のメニュー階層に戻ります。
⑤ 音量ボタン/左右ボタン	: 音量を下げます。 : 音量を上げます。 台形補正画面を表示中は、ヨコ方向のゆがみを補正します。 メニュー や ヘルプ の表示中に押すと、メニュー項目を選択します。
⑥ 【メニュー】ボタン (Menu)	メニュー画面を表示/終了します。
⑦ 【ホーム】ボタン (Home)	ホーム画面を表示/終了します。
⑧ 電源ボタン【⌁】	本機の電源をオン/オフします。
⑨ インジケーター	本機の状態を表示します。

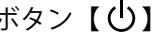
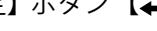
▶ 関連項目

- 「映像メニュー」 [p.120](#)
- 「ホーム画面設定」 [p.33](#)
- 「インジケーターの見方」 [p.167](#)

- 「台形補正ボタンで映像のゆがみを補正する」 [p.44](#)

プロジェクターの各部名称 - リモコン



名称	機能
① 電源ボタン【  】	本機の電源をオン/オフします。
② 【HDMI】ボタン	HDMI端子からの映像に切り替えます。
③ 【ワイヤレス】ボタン	ネットワーク経由で接続している機器からの映像に切り替えます。
④ 数字ボタン	メニュー内で数字を入力します。
⑤ 【カスタマイズ】ボタン	【設定】メニューの【カスタマイズボタン】で設定した機能を実行します。
⑥ 【メニュー】ボタン	メニュー画面を表示/終了します。
⑦ 上下左右ボタン	メニューの表示中に押すと、メニュー項目を選択します。
⑧ 【決定】ボタン【  】	メニューの表示中に押すと、選択項目を決定して、次の階層に進みます。
⑨ 【ホーム】ボタン	ホーム画面を表示/終了します。
⑩ 【音量】上げ/下げボタン	スピーカーの音量を調整します。
⑪ 【A/Vミュート】ボタン	映像と音声を一時的に遮断します。
⑫ 【ミュート】ボタン	音声を一時的に遮断します。
⑬ 再生操作ボタン	HDMI CEC規格対応の機器を操作します。 AirPlayでストリーミング中のメディアを操作します。
⑭ 【静止】ボタン	映像を一時停止/解除します。
⑮ 【Eズーム】+/-ボタン	投写映像のサイズを調整します。
⑯ 【初期値】ボタン	選択した設定を初期値に戻します。

名称	機能
⑰ 【戻る】ボタン	実行中の機能を終了します。 メニューの表示中に押すと、前のメニュー階層に戻ります。
⑱ 【ID】ボタン	リモコンで操作対象のプロジェクターのIDを選択するときに、このボタンを押しながらテンキーボタンを押します。
⑲ 【0/All】ボタン	【プロジェクターID】の設定に関わらず、すべてのプロジェクターを操作できます。
⑳ 【Computer/HDBaseT】ボタン	コンピューター端子からの映像に切り替えます。 お使いの機種によってはこのボタンは使用できません。
㉑ 【USB】ボタン	USB-A端子からの映像に切り替えます。
㉒ 【入力検出】ボタン	映像信号が入力されている入力ソースに順番に切り替えます。
㉓ リモコン発光部	リモコン信号を出力します。

▶ 関連項目

- 「映像メニュー」 [p.120](#)
- 「拡張設定メニュー」 [p.124](#)
- 「PC Free機能で投写する」 [p.59](#)
- 「ネットワーク上のプロジェクターを使用する」 [p.80](#)
- 「ホーム画面設定」 [p.33](#)

プロジェクターを準備する

プロジェクターの準備方法を説明します。

▶ 関連項目

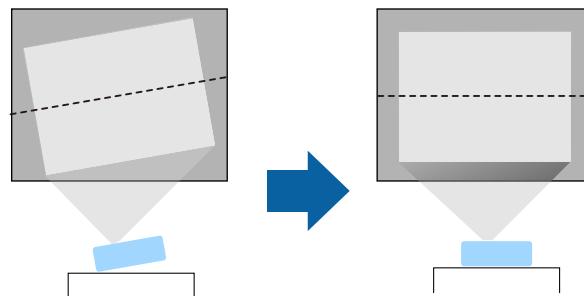
- ・「プロジェクターの設置」 [p.20](#)
- ・「プロジェクターを接続する」 [p.23](#)
- ・「リモコンに電池を取り付ける」 [p.28](#)
- ・「リモコンを操作する」 [p.29](#)
- ・「レンズカバーを開く」 [p.30](#)

平らな場所にプロジェクターを置いて映像を投写します。

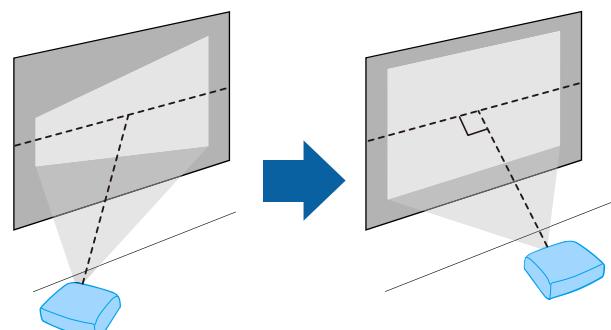
常に特定の位置に固定して使用する場合は、天井にプロジェクターを取り付けることもできます。天井からプロジェクターを吊り下げるときは、オプションの天吊り金具が必要です。

プロジェクターの設置位置を決めるときは、以下の点に注意してください。

- プロジェクターは水平で安定した場所に置くか、本製品に対応した金具を使用して取り付けます。



- 通気のためにプロジェクターの周囲に十分なスペースを確保します。通気の妨げになるものをプロジェクター上面や周囲に置かないでください。
- 投写面に対してプロジェクターを平行に設置します。



投写面に対して平行に設置できないときは、台形補正機能を使って映像のゆがみを補正します。投写映像の画質を維持するためには、プロジェクターの設置位置を調整して映像サイズや形状を調整することをお勧めします。

⚠ 警告

- 天井からプロジェクターを吊り下げるときは、天吊り金具の取り付けが必要となります。プロジェクターを正しく設置しないと、落下により破損やけがの原因となることがあります。
- プロジェクターの天吊り固定部に、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などを使用しないでください。プロジェクターにそれらの溶剤が付着すると、プロジェクターのケースが割れ、プロジェクターが落下するおそれがあります。
- 天吊り金具とプロジェクターの取り付け不備は、プロジェクターの落下事故につながるおそれがあります。天吊り金具は、プロジェクターの取扱説明書で指定されている天吊り固定部すべてを使用して確実に固定してください。また、十分強度のあるワイヤーなどを使ってプロジェクターと金具を固定してください。本機に対応したエプソン指定の金具を使用してください。
- 湿気やホコリの多い場所や、油煙や湯気が当たる場所（調理場所、ご家庭のキッチン、加湿器の近くなど）にプロジェクターを設置しないでください。火災・感電の原因となることがあります。また、油によりプロジェクターの外装ケースが劣化し、天吊り設置したプロジェクターが落下するおそれがあります。

外装ケースの劣化・破損によりプロジェクターの落下が想定される環境例

- 油煙が多い場所（工場、調理場所、ご家庭のキッチンなど）
- 溶剤、薬品が揮発している空間（工場、実験室など）
- 油、洗剤、薬品などが付着する場所（工場、調理場所、ご家庭のキッチンなど）
- アロマオイルを頻繁に焚く場所（リラクゼーションルームなど）
- イベント演出などのスモーク（油成分以外も含む）や、泡が多い場所（イベント演出装置の周辺など）

⚠ 警告

- 本機の吸気口・排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- ホコリや塵の多い場所で使用・保管はしないでください。投写映像の品質が劣化したり、エアフィルターにホコリが詰まって、故障や火災につながることがあります。
- 不安定な場所や荷重範囲を超える場所には設置しないでください。落下や転倒によりけがや事故の原因となります。
- 高い場所に設置するときは、地震などの非常時の安全確保と事故防止のため、ワイヤーなどを用いて落下防止策を施してください。正しく設置しないと、落下によりけがや事故の原因となります。
- 塩害が発生する場所や、温泉の硫黄ガスなどの腐食性ガスが発生する場所には設置しないでください。腐食による落下の原因となることがあります。また、本機の故障の原因となることがあります。

注意

- 縦置きして投写しないでください。故障の原因となります。
- 本機を標高1,500 m以上の場所で使用するときは、[高地モード]を[オン]にして、本機の内部温度が適切に調節されるようにしてください。
👉 [拡張設定] > [動作設定] > [高地モード]
- 湿気やホコリの多い場所、たばこなどの煙が当たる場所への設置は、できるだけ避けてください。

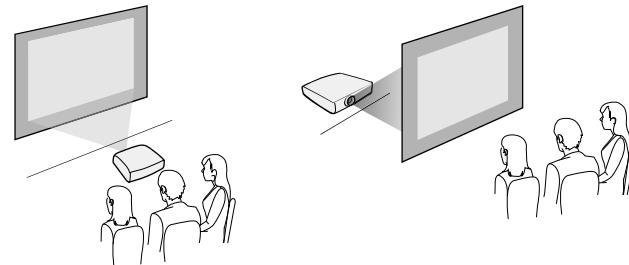
▶ 関連項目

- 「プロジェクターの設置・取り付け」 p.22
- 「投写距離」 p.22
- 「映像の形状を補正する」 p.43
- 「拡張設定メニュー」 p.124

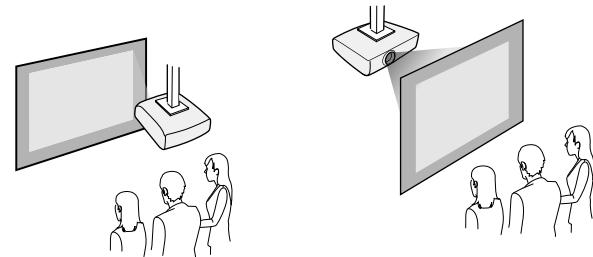
プロジェクターの設置・取り付け

本機は以下の方法で設置・取り付けできます。

フロント/リア



フロント・天吊り/リア・天吊り



設置する場所や方法に合わせて、[拡張設定] メニューで [設置モード] を選択します。

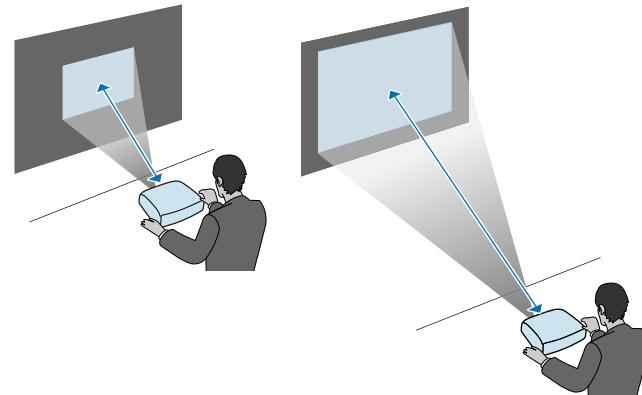
► 関連項目

- 「設置モードを選択する」 [p.39](#)

スクリーンサイズと投写距離を参考にして、本機からスクリーンまでの
おおよその距離を決めてください。



投写映像を補正すると、映像は少し小さくなります。



► 関連項目

- 「スクリーンサイズと投写距離」 [p.190](#)

投写距離

本機からスクリーンまでの距離に応じて、映像の大きさが決まります。
本機をスクリーンから遠ざけるほど、投写される映像は大きくなります。

プロジェクターと映像機器の接続方法を説明します。

注意

接続する前に、使用するケーブルのコネクターの形状と向きを確認してください。形状が合わないコネクターを無理に端子に押し込まないでください。お使いの機器、プロジェクターの破損や故障の原因となります。



本機に同梱されているケーブルは、『かんたん操作ガイド』で確認できます。同梱されていないケーブルは、オプション品または市販品をお買い求めください。

関連項目

- 「コンピューターを接続する」 p.23
- 「ビデオ機器を接続する」 p.23
- 「USB機器を接続する」 p.24
- 「書画カメラを接続する」 p.25
- 「外部機器を接続する」 p.25

コンピューターを接続する

プロジェクターとコンピューターを接続します。

関連項目

- 「HDMIケーブルを接続して映像と音声を出力する」 p.23

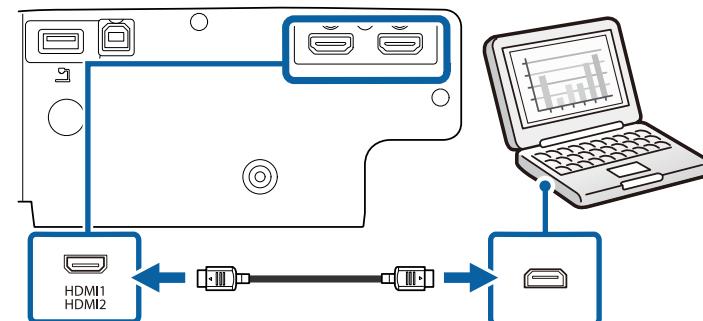
HDMIケーブルを接続して映像と音声を出力する

HDMI端子を搭載したコンピューターを使用しているときは、HDMIケーブルでプロジェクターとコンピューターを接続して映像と音声を出力できます。



映像出力用HDMI端子を搭載していないMacをお使いのときは、HDMI変換アダプターが必要です。お使いのMacに対応した変換アダプターは、Appleにお問い合わせください。2009年以前に発売されたMacは、HDMI端子からの音声出力に対応していないことがあります。

- 1 コンピューターのHDMI出力端子にHDMIケーブルを接続します。
- 2 ケーブルのもう一方のコネクターを本機のHDMI端子に接続します。



ビデオ機器を接続する

プロジェクターにビデオ機器を接続します。



- 接続する機器の端子が特有の形状をしているときは、その機器に同梱またはオプションのケーブルで接続してください。
- 使用するケーブルは、接続するビデオ機器の出力信号によって異なります。
- ビデオ機器によっては、数種類の信号を出力できます。出力できる信号の種類は、お使いのビデオ機器に同梱の取扱説明書で確認してください。

▶ 関連項目

- 「HDMIケーブルで接続する」 [p.24](#)

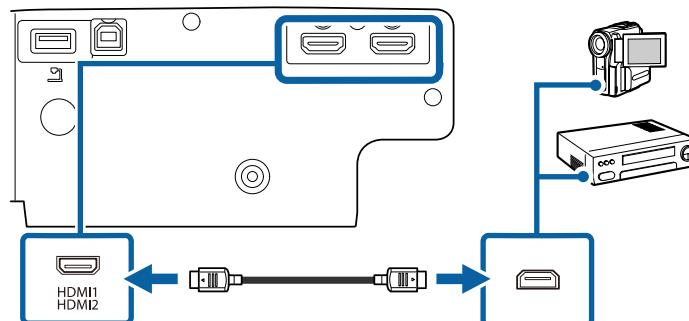
HDMIケーブルで接続する

HDMI端子を搭載したビデオ機器を使用しているときは、HDMIケーブルでプロジェクターとビデオ機器を接続して映像と音声を出力できます。

注意

あらかじめビデオ機器の電源を切ってください。プロジェクターの故障の原因となります。

- 1 ビデオ機器のHDMI出力端子にHDMIケーブルを接続します。
- 2 ケーブルのもう一方のコネクターを本機のHDMI端子に接続します。



USB機器を接続する

プロジェクターにUSB機器を接続します。

▶ 関連項目

- 「USB機器のデータを投写する」 [p.24](#)
- 「USB機器を接続する」 [p.25](#)
- 「USB機器を取り外す」 [p.25](#)

USB機器のデータを投写する

以下のUSB機器をプロジェクターに接続すると、コンピューターやビデオ機器を接続しなくてもUSB機器内の映像ファイルを投写できます。

- USBメモリー
- デジタルカメラ、スマートフォン
- USBハードドライブ



- デジタルカメラ、スマートフォンはUSBマスストレージクラスに準拠したUSB機能が搭載されている必要があります。TWAIN準拠の機器では投写できません。
- USBハードドライブは以下の要件を満たしている必要があります。
 - USBマスストレージクラスに準拠していること（対応していないUSBマスストレージクラスの機器もあります）
 - フォーマット形式がFAT16/32であること
 - USBハードドライブに付属のACアダプターから電源供給ができる（USBケーブルから電源供給を受けるハードドライブは推奨しません）
 - ハードドライブのパーティションは1つのみであること

USB機器内の映像ファイルを投写できます。

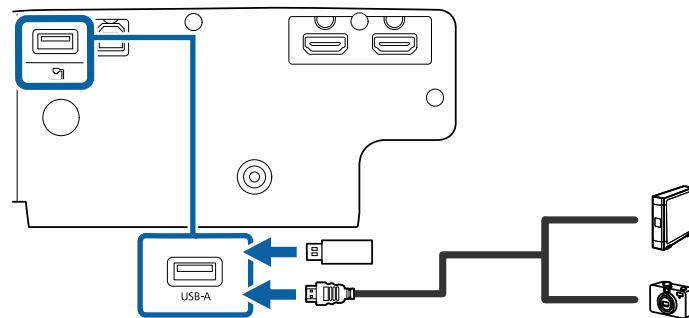
▶ 関連項目

- 「PC Free機能で投写する」 [p.59](#)

USB機器を接続する

USB機器をプロジェクターのUSB-A端子に接続して、映像を投写します。

- 1 USB機器に電源アダプターが付属しているときは、USB機器をコンセントに接続します。
- 2 本機のUSB-A端子にUSBケーブル（またはUSBメモリー）を接続します。



注意

- USB機器に付属のUSBケーブル、または指定されたUSBケーブルを使用してください。
- USBハブや長さが3メートル以上のUSBケーブルを使用しないでください。機器が正しく動作しないことがあります。

- 3 USBケーブルのもう一方のコネクターをUSB機器に接続します。

USB機器を取り外す

USB機器による投写が終了したら、プロジェクターから機器を取り外します。

- 1 USB機器の電源を切り、必要に応じて電源アダプターを抜きます。

- 2 プロジェクターからUSB機器を取り外します。

書画カメラを接続する

エプソン製書画カメラをプロジェクターに接続して、カメラから読み込んだ映像を投写します。

接続方法は、お使いの書画カメラの機種によって異なります。詳しくは、書画カメラの取扱説明書をご覧ください。

外部機器を接続する

プロジェクターに外部出力機器を接続します。

► 関連項目

- 「外部スピーカーを接続する」 [p.25](#)
- 「メディアストリーミング端末を接続する」 [p.26](#)

外部スピーカーを接続する

外部スピーカーをプロジェクターに接続して、投写映像の音質を向上できます。本機のリモコンで音量を調整できます。



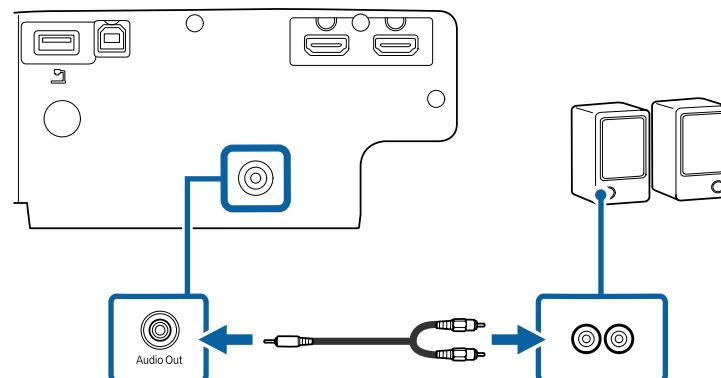
- 本機の電源がオフの場合に外部スピーカーから音声を出力するときは、[拡張設定] メニューで [A/V出力] を [常時] に設定します。
[拡張設定] > [A/V出力設定] > [A/V出力]
- スピーカー付きのアンプに本機を接続することもできます。
- 外部スピーカーを接続しているときは、本機の内蔵スピーカーから音声は出力されません。

1 必要に応じてオーディオケーブル、ビデオケーブルを使用して、お使いのコンピューターやビデオ機器と本機が接続されていることを確認します。

2 ステレオミニプラグオーディオケーブル、またはその他のケーブル、アダプターなど、外部スピーカーに接続するケーブルを用意します。

3 必要に応じて、接続ケーブルを外部スピーカーに接続します。

4 接続ケーブルのもう一方のコネクターを本機の音声出力端子に接続します。



► 関連項目

- 「拡張設定メニュー」 p.124

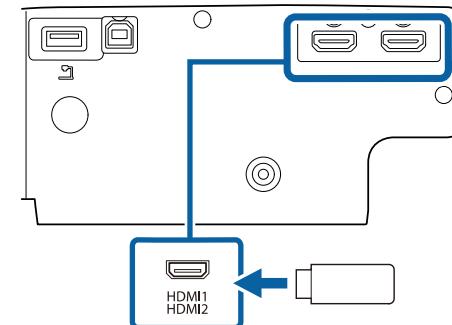
メディアストリーミング端末を接続する

メディアストリーミング端末を本機のHDMI端子に接続します。USB給電ケーブルを接続すると、プロジェクターからメディアストリーミング端末に電力を供給できます。



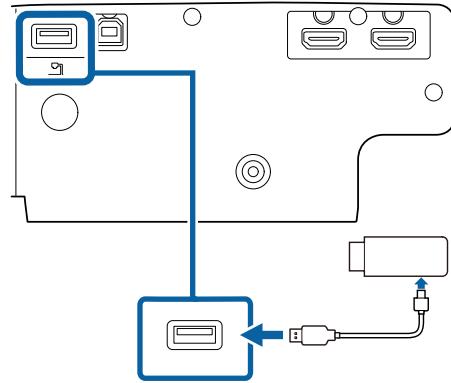
メディアストリーミング端末の接続方法や動作条件はお使いの機器によって異なります。詳しくは機器の取扱説明書をご覧ください。取扱説明書に従わないと、正常に動作しないことがあります。

1 メディアストリーミング端末をHDMI端子に接続します。



2 USB給電ケーブルを本機のUSB-A端子に接続します。

- 3** USBケーブルのもう一方のコネクターをメディアストリーミング端末に接続します。

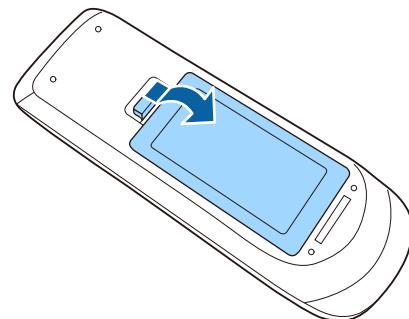


本機に付属の単3形電池2個をリモコンに取り付けます。

注意

電池を取り扱う前に、『安全にお使いいただくために』を必ずお読みください。

1 電池カバーを外します。

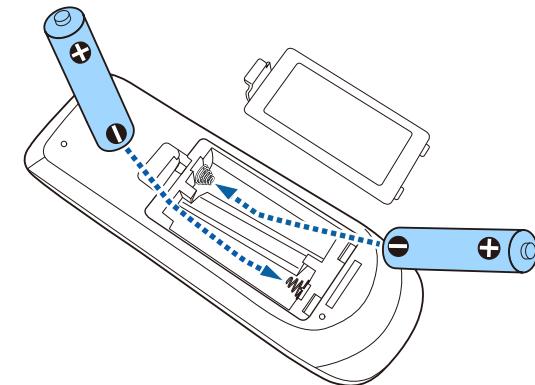


2 古い電池が入っていれば取り外します。



使用済みの電池は、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。

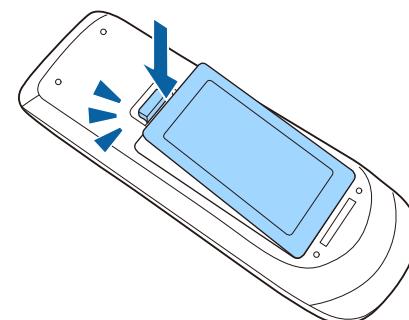
3 電池の+と-の向きを確認してリモコンにセットします。



警告

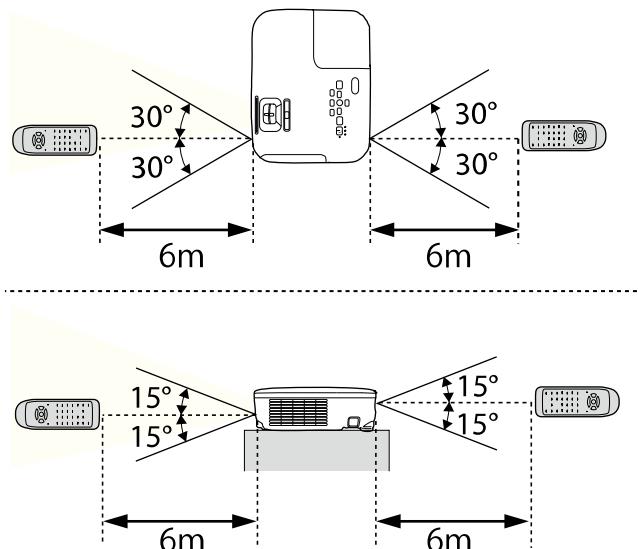
電池ホルダー内の表示を確認して、(+) (−) を正しく入れてください。電池の使い方を誤ると、電池の破裂・液もれにより、火災・けが・製品腐食の原因となることがあります。

4 電池カバーを閉め、カチッと音がするまで押し込みます。



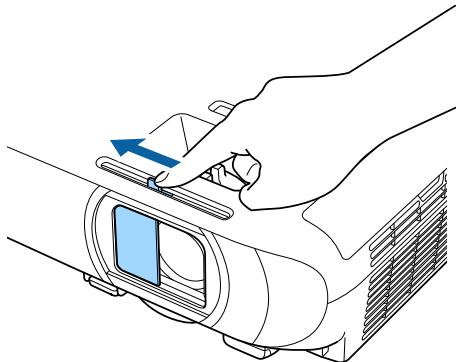
リモコンを使用して、室内の離れた場所からプロジェクターを操作できます。

リモコンは、本機のリモコン受光部に対して下図の角度で使用してください。



蛍光灯の強い光や直射日光が当たる環境ではリモコンを使用しないでください。プロジェクターが反応しないことがあります。リモコンを長期間使用しないときは、電池を取り外しておきます。

- 1 レンズカバー操作部をカチッと音がするまでスライドして、レンズカバーを開きます。



- 2 レンズを保護したり、一時的に映像と音声を消すときは、レンズカバーを閉じます。



A/Vミュートの実行後30分経過すると、自動的に本機の電源が切れます。この機能は以下の設定で無効にできます。

☛ [節電] > [レンズカバータイマー]

プロジェクターの基本機能を使用する

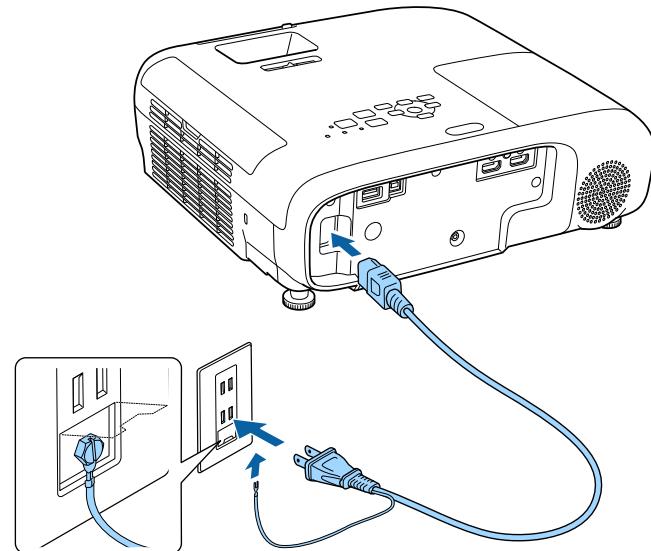
プロジェクターの基本機能を説明します。

▶ 関連項目

- ・「プロジェクターの電源を入れる」 [p.32](#)
- ・「プロジェクターの電源を切る」 [p.35](#)
- ・「日時を設定する」 [p.36](#)
- ・「メニューの言語を選択する」 [p.38](#)
- ・「設置モードを選択する」 [p.39](#)
- ・「テストパターンを表示する」 [p.41](#)
- ・「映像の高さを調整する」 [p.42](#)
- ・「映像の形状を補正する」 [p.43](#)
- ・「ズームリングで映像の大きさを調整する」 [p.47](#)
- ・「フォーカスリングで映像のピントを調整する」 [p.48](#)
- ・「映像を切り替える」 [p.49](#)
- ・「映像のアスペクト比を設定する」 [p.51](#)
- ・「映像を最適化する（カラーモード）」 [p.53](#)
- ・「音量ボタンで音量を調整する」 [p.55](#)

プロジェクターの電源を入れた後、使用するコンピューターまたはビデオ機器の電源を入れます。

1 本機とコンセントを電源コードで接続します。



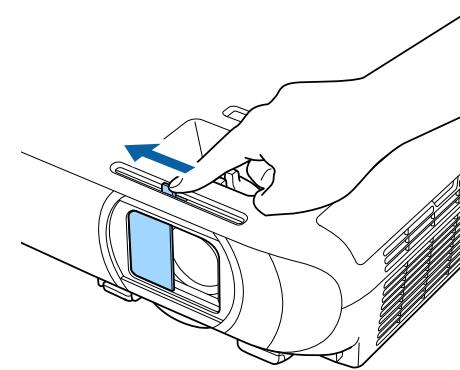
警告

必ず接地接続を行ってください。接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行なってください。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

本機の電源インジケーターが青色に点灯します（スタンバイ状態）。スタンバイ状態は、プロジェクターに電力が供給されていて、電源が入っていない状態です。

2 操作パネルまたはリモコンの電源ボタンを押して電源を入れます。「ピッ」と確認音が鳴り、ステータスインジケーターが青色に点滅します（ウォームアップ状態）。ウォームアップが終わると、ステータスインジケーターが青色に点灯します。

3 本機のレンズカバーを開けます。



映像が投写されないときは、以下を試してください。

- ・レンズカバーが完全に開いていることを確認します。
- ・接続されているコンピューターまたはビデオ機器の電源を入れます。
- ・ノートパソコンを使用するときは、コンピューターの画面出力を切り替えます。
- ・DVDなどのメディアを挿入して再生します。
- ・操作パネルまたはリモコンの【入力検出】ボタンを押して入力ソースを検出します。
- ・投写したい入力ソースに対応するリモコンのボタンを押します。
- ・ホーム画面が表示されたら、投写したい入力ソースを選択します。

⚠ 警告

- ・ 投写中は本機のレンズをのぞきこまないでください。目に損傷を与えることがあります。特にお子様の行動にご注意ください。
- ・ 本機から離れた場所でリモコンを使って電源を入れるときは、レンズをのぞいている人がいないことを確認してください。
- ・ 投写中に本などで投写光を遮らないでください。投写光を遮ると、光の当たる部分が高温になって溶けたり、やけどや火災の原因になります。また、反射した光でレンズ部が高温になり、本機の故障の原因になることがあります。投写を中断するときはA/Vミュート機能を使うか、本機の電源を切ってください。
- ・ 本機の光源には、高圧の水銀ランプを使用しています。水銀ランプの性質上、振動や衝撃、使用時間の経過によってランプが破裂したり、点灯しなくなったりすることがあります。ランプが破裂した場合、細かいガラス破片やガスが飛散して、けがの原因となります。次のことを守って安全にお使いください。
 - ・ ランプを分解したり、衝撃を与えたまらないでください。
 - ・ 使用中は本機に顔を近づけないでください。
 - ・ 天吊り設置しているときは、ランプカバーを開ける際に細かいガラス破片が落ちてくる可能性があります。清掃やランプ交換の際には、ガラス破片だけをしないように、また破片が目や口に入らないように十分注意してください。
- ランプが破裂した場合は、すみやかに換気してください。万一、目や口にガラス破片が入ったときは、直ちに医師の診察を受けてください。



- ・ [拡張設定] メニューの [ダイレクトパワーオン] が [オン] に設定されているときは、本機に電源コードを接続したときに自動で電源が入ります。停電復旧時などにコンセントに電源プラグが差し込まれた状態になっていると、本機の電源がオンになりますのでご注意ください。
👉 [拡張設定] > [動作設定] > [ダイレクトパワーオン]
- ・ [拡張設定] メニューの [オートパワーオン] を有効にしているときは、入力ソース機器からの信号を検出すると自動的に電源が入ります。
👉 [拡張設定] > [動作設定] > [オートパワーオン]

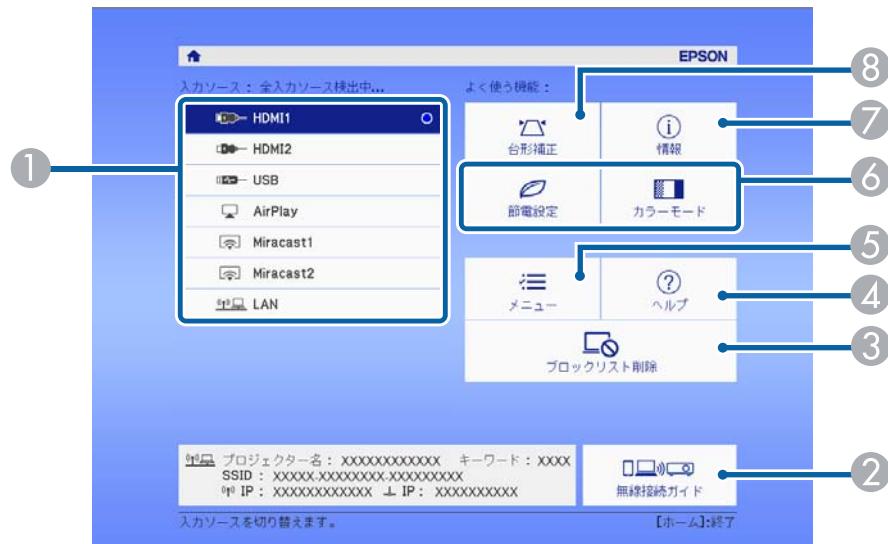
▶ 関連項目

- ・ 「ホーム画面設定」 [p.33](#)
- ・ 「拡張設定メニュー」 [p.124](#)

ホーム画面設定

ホーム画面を使うと、入力ソースやよく使う機能を簡単に選択できます。ホーム画面は操作パネルまたはリモコンの【ホーム】ボタンを押すと表示されます。本機の電源投入時に、入力信号がないときにもホーム画面が表示されます。

操作パネルやリモコンの上下左右ボタンで項目を選択して、【決定】ボタンを押します。



▶ 関連項目

- ・「映像の形状を補正する」 [p.43](#)
- ・「拡張設定メニュー」 [p.124](#)
- ・「プロジェクターメニューを操作する」 [p.116](#)
- ・「ヘルプの見方」 [p.170](#)

- ① 投写したい入力ソースを選択します。
- ② 無線接続ガイドを表示します。お使いのデバイスに応じた接続の方法を確認できます。
- ③ ブロックリストに登録されているすべての端末をリストから削除します。
ブロックリストには、Miracastでの投写を自動的に拒否する端末が登録されています。
ブロックリストに登録されている端末があるときに表示されます。
- ④ ヘルプ画面を表示します。
- ⑤ プロジェクターのメニューを表示します。
- ⑥ [拡張設定] メニューの [ホーム画面設定] に割り当てた機能を実行します。
- ⑦ [情報] メニューを表示します。
- ⑧ 映像のゆがみを補正します。



10分間操作がないと、ホーム画面は自動的に消えます。

使用後にプロジェクターの電源を切ります。



- 本機を長くお使いいただくために、使用しないときは本機の電源を切ってください。ランプの寿命は、メニューの設定、環境条件、および使用状況によって異なります。投写映像の明るさは、使用時間の経過とともに下がります。
- 本機はダイレクトシャットダウン機能に対応していますので、電源ブレーカーで直接電源を切ることができます。

1 操作パネルまたはリモコンの電源ボタンを押します。

シャットダウン確認画面が表示されます。

電源を切りますか？

はい : を押す

いいえ: 他のボタンを押す

2 再度電源ボタンを押します。(電源を切らないときは、他のボタンを押します。)

投写映像が消えた後、「ピッピッ」と確認音が2回鳴り、ステータスインジケーターが消灯します。



クールダウンは必要ありません。本機をすぐに片付けたり移動したりできます。

3 本機を搬送または保管するときは、電源インジケーターが青色に点灯していることを確認してから電源コードを抜いてください。

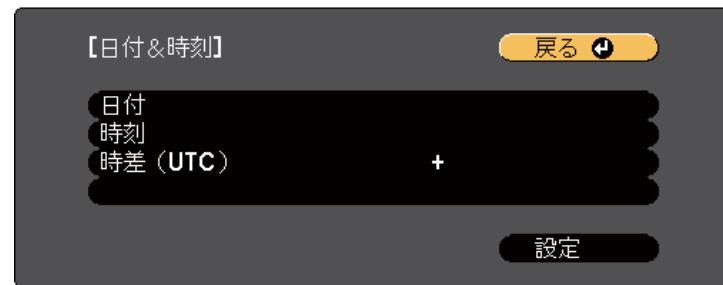
4 プロジェクターのレンズカバーを閉めます。

プロジェクターの日時を設定します。

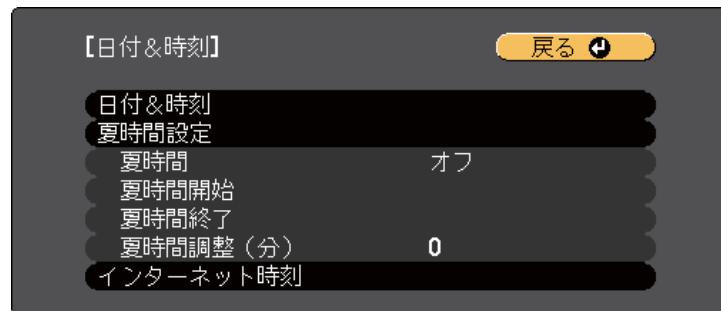


プロジェクターに設定された日時にずれがある場合、AirPlayが途中で切斷されることがあります。[拡張設定] メニューの [日付&時刻] と [夏時間設定] で正しい日時を設定してください。

☞ [拡張設定] > [動作設定] > [日付&時刻]



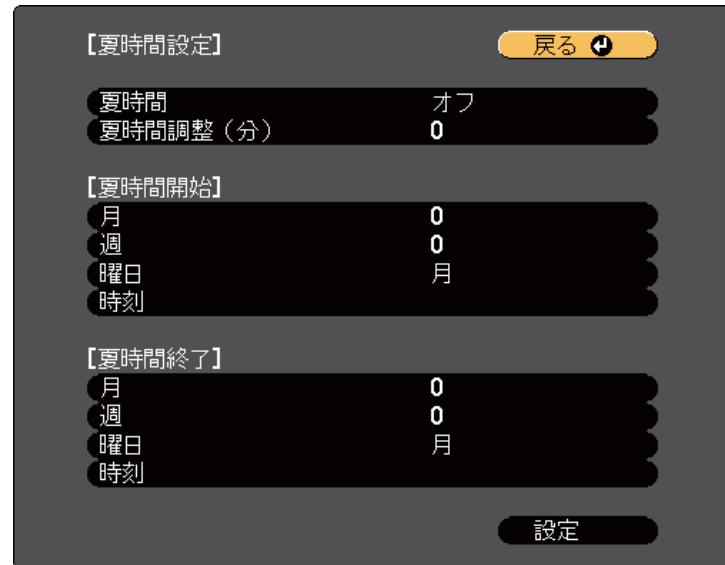
- 1 本機の電源を入れます。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 3 [拡張設定] を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 4 [動作設定] を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 5 [日付&時刻] を選択し、【決定】ボタンを押します。
次の画面が表示されます。



- 6 [日付&時刻] を選択し、【決定】ボタンを押します。
次の画面が表示されます。

- 7 [日付] を選択し、【決定】ボタンを押します。表示されたソフトキーボードで本日の日付を入力します。
- 8 [時刻] を選択し、【決定】ボタンを押します。表示されたソフトキーボードで現在の時刻（現地時間）を入力します。
- 9 [時差 (UTC)] を選択し【決定】ボタンを押して、協定世界時からの時差を設定します。
- 10 終了したら、[設定] を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 11 夏時間有効にするときは、【夏時間設定】を選択し、【決定】ボタンを押します。表示された画面の各項目を設定します。



- 15 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。

- 12 終了したら、【設定】を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 13 インターネット時刻サーバーから自動的に時刻を設定するときは、【インターネット時刻】を選択し、【決定】ボタンを押します。表示された画面の各項目を設定します。



- 14 終了したら、【設定】を選択し、【決定】ボタンを押します。

[言語] 設定でメニューおよびメッセージの言語を変更できます。

- 1 本機の電源を入れます。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 3 [拡張設定] を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 4 [言語] を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 5 使用する言語を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 6 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。

プロジェクターの設置方法によって、設置モードを変更します。

- ・ [フロント]：机上に設置して、スクリーンの正面から投写します。
- ・ [フロント・天吊り]：天吊りまたは壁掛け設置して、映像を上下反転して投写します。
- ・ [リア]：リアスクリーンの裏側から映像を左右反転して投写します。
- ・ [リア・天吊り]：天吊りまたは壁掛け設置して、リアスクリーンの裏側から映像を上下左右反転して投写します。

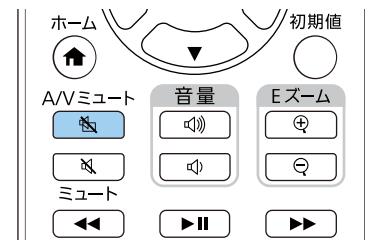
▶ 関連項目

- ・ 「リモコンで設置モードを変更する」 p.39
- ・ 「メニューから設置モードを変更する」 p.39
- ・ 「プロジェクターの設置・取り付け」 p.22

リモコンで設置モードを変更する

設置モードを変更して、映像を上下反転します。

- 1 本機の電源を入れて、映像を表示します。
- 2 リモコンの【A/Vミュート】ボタンを5秒間押します。



映像が一時的に消え、上下反転して再度投写されます。

- 3 元の設置モードに戻すには、【A/Vミュート】ボタンをもう一度5秒間押します。

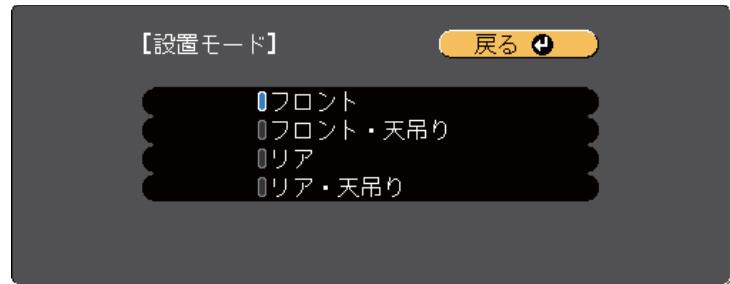
メニューから設置モードを変更する

設置モードを変更して、映像を上下左右に反転します。

- 1 本機の電源を入れて、映像を表示します。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 3 【拡張設定】を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 4** 【設置モード】を選択して、【決定】ボタンを押します。
- 5** お使いの環境に合わせた設置モードを選択して、【決定】ボタンを押します。



- 6** 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。

テストパターンを表示させると、映像機器を接続せずに投写映像を調整できます。



テストパターンで調整できない項目や、映像の微調整は、映像機器から実際に映像を投写して調整してください。

- 1 本機の電源を入れます。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 3 【設定】を選択して、【決定】ボタンを押します。



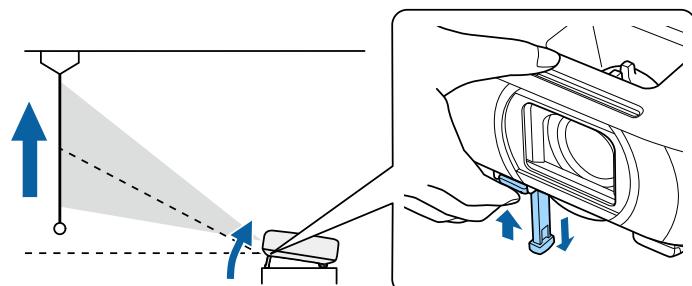
- 4 【パターン】 > 【テストパターン】 の順に選択し、【決定】ボタンを押します。
テストパターンが表示されます。
- 5 映像を調整します。
- 6 テストパターンを消すには、【戻る】ボタンを押します。

机などの平らな場所に置いて投写するときは、プロジェクターのフットを使って高さを調整します。

傾斜角度が大きくなると、ピントが合いにくくなります。傾斜角度が小さくなるようにプロジェクターを設置してください。

1 本機の電源を入れて、映像を表示します。

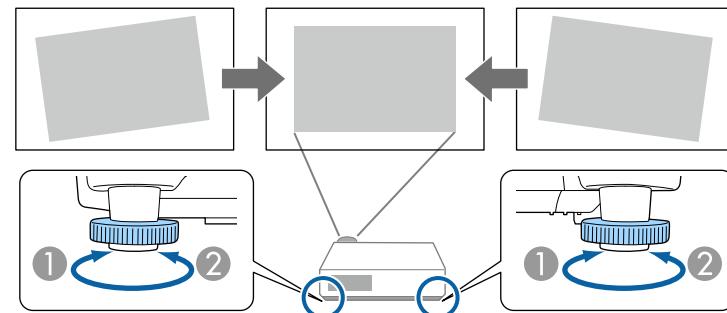
2 フットレバーを押し上げ、本機の前面を持ち上げます。



プロジェクターからフロントフットが伸びます。
約12度まで角度を調整できます。

3 フットレバーから指を離してフロントフットを固定します。

4 映像が傾いているときは、リアフットを回して左右の高さを調整します。



- ① フットを伸ばす
- ② リアフットを縮める

投写映像がゆがむときは、映像の形状を補正します。

► 関連項目

- 「映像の形状を補正する」 [p.43](#)

スクリーンの正面にプロジェクターを設置して、水平にすることで、傾きやゆがみのない映像を投写できます。スクリーンに対して斜めにプロジェクターを設置したり、上下に傾けて設置したりしたときは、映像の形状を補正します。

補正後は、映像が少し小さくなります。

投写映像の画質を維持するためには、プロジェクターの設置位置を調整して映像サイズや形状を調整することをお勧めします。

▶ 関連項目

- 「自動タテ補正」 [p.43](#)
- 「ヨコ補正スライダーで映像のゆがみを補正する」 [p.43](#)
- 「台形補正ボタンで映像のゆがみを補正する」 [p.44](#)
- 「Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する」 [p.45](#)

自動タテ補正

プロジェクターを移動したり傾けたりしたときに、[自動タテ補正]によって縦方向のゆがみが自動的に補正されます。

[自動タテ補正] で投写映像を正しく補正できる条件は、以下のとおりです。

- 投写角度が上下約30°以内
- [拡張設定] メニューの [設置モード] が [フロント] に設定されている



[自動タテ補正] で映像を補正しないときは、[自動タテ補正] を [オフ] に設定します。

👉 [設定] > [台形補正] > [タテヨコ] > [自動タテ補正]

▶ 関連項目

- 「設置モードを選択する」 [p.39](#)
- 「拡張設定メニュー」 [p.124](#)

- 「設定メニュー」 [p.121](#)

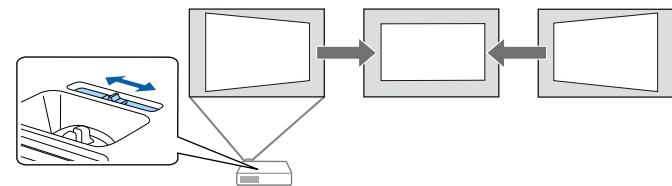
ヨコ補正スライダーで映像のゆがみを補正する

ヨコ補正スライダーを使用して、映像のゆがみを補正します。スクリーンに対して斜めに設置しているときなどに使用します。

投写映像を正しく補正できる投写角度は、左右約30°までです。

1 本機の電源を入れて、映像を表示します。

2 スライダーを左右に移動させて、映像が長方形に表示されるように調整します。



補正後は、映像が少し小さくなります。



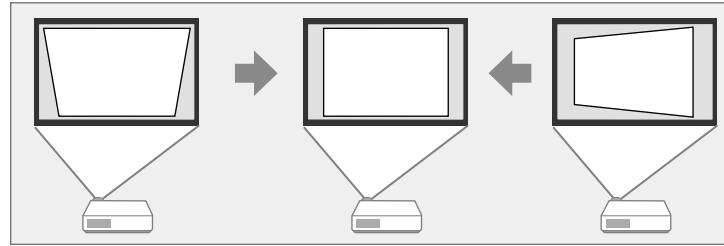
- ヨコ補正スライダーを使用するときは、[設定] メニューの [スライド式ヨコ補正] を [オン] に設定してください。
👉 [設定] > [台形補正] > [タテヨコ] > [スライド式ヨコ補正]
- [設定] メニューからもヨコ方向の台形補正ができます。
👉 [設定] > [台形補正] > [タテヨコ]

▶ 関連項目

- 「設定メニュー」 [p.121](#)

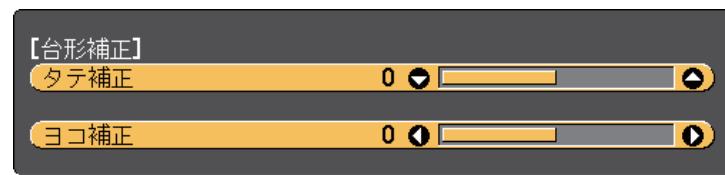
台形補正ボタンで映像のゆがみを補正する

台形補正/上下ボタンを押して、映像のゆがみを補正します。

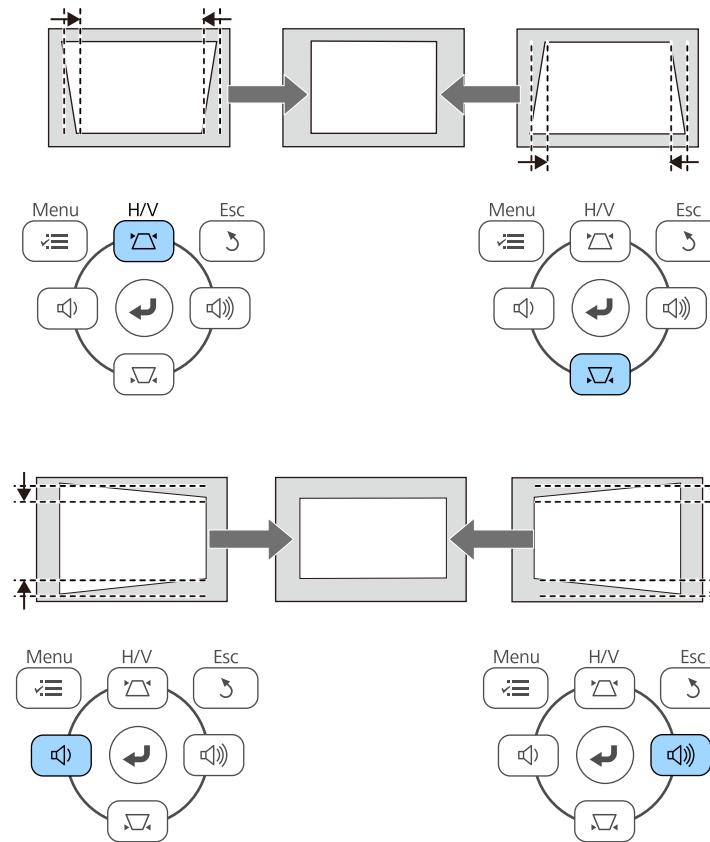


台形補正/上下ボタンで映像を補正できる条件は、投写角度が上下左右約30°のときです。

- 1 本機の電源を入れて、映像を表示します。
- 2 操作パネルの台形補正/上下どちらかのボタンを押して、台形補正画面を表示します。



- 3 上下左右ボタンを押して映像の形状を調整します。



プロジェクターが手の届かない場所に設置されているときは、リモコンで映像のゆがみを補正してください。

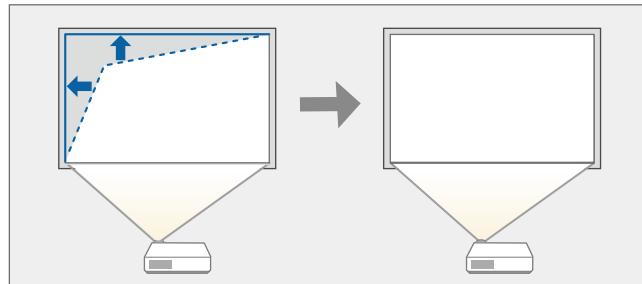
👉 [設定] > [台形補正] > [タテヨコ]

▶ 関連項目

- ・「設定メニュー」 p.121

Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する

【Quick Corner】機能を使用して、映像のゆがみと大きさを補正します。



- 1 本機の電源を入れて、映像を表示します。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 3 【設定】を選択して、【決定】ボタンを押します。

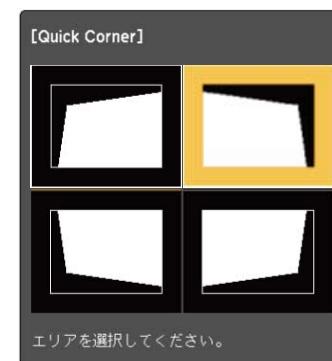


- 4 【台形補正】を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 5 【Quick Corner】を選択し、【決定】ボタンを押します。必要に応じてもう一度【決定】ボタンを押します。



エリア選択画面が表示されます。

- 6 上下左右ボタンを押して、調整するコーナーを選択します。【決定】ボタンを押します。



- 7 上下左右ボタンを押して、映像の形状を調整します。【決定】ボタンを押すと、エリア選択画面に戻ります。



- 以下の画面で、グレーの三角形で示される方向にはこれ以上調整できません。



- Quick Cornerで補正した結果を初期化するには、Quick Corner調整画面が表示されているときに【戻る】ボタンを約2秒間押し、[Quick Corner初期化]を選択します。映像の補正方法をタテヨコに切り替えるときは、[タテヨコへ切替]を選択します。



► 関連項目

- 「設定メニュー」 [p.121](#)

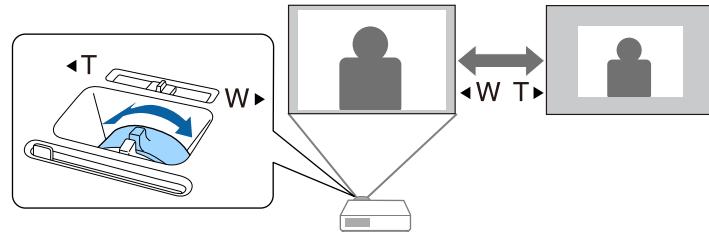
8 手順6と7を繰り返して、調整が必要なすべてのコーナーを調整します。

9 終了したら、【戻る】ボタンを押します。

Quick Corner実行後は、「設定」メニューの【台形補正】が【Quick Corner】に設定されます。操作パネルの台形補正/上下ボタンを押したときは、エリア選択画面が表示されます。

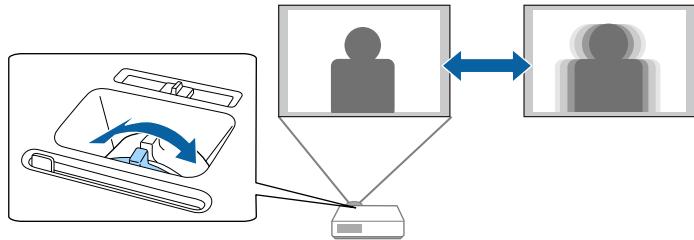
ズームリングで映像の大きさを調整できます。

- 1 本機の電源を入れて、映像を表示します。
- 2 ズームリングを回して、映像を拡大/縮小します。



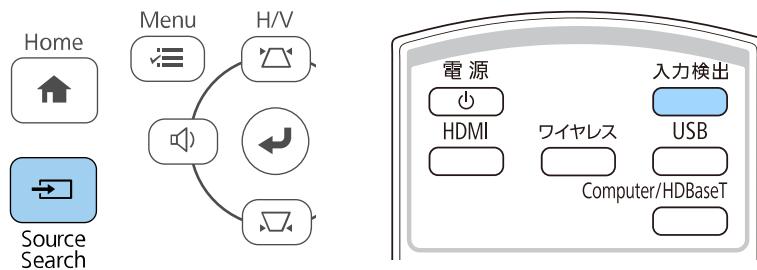
フォーカスリングを使用して、ピントのズレを補正します。

- 1 本機の電源を入れて、映像を表示します。
- 2 フォーカスリングを回して、ピントを合わせます。



コンピューターとDVDプレーヤーなど複数の機器をプロジェクターに接続しているときは、投写する映像を切り替えます。

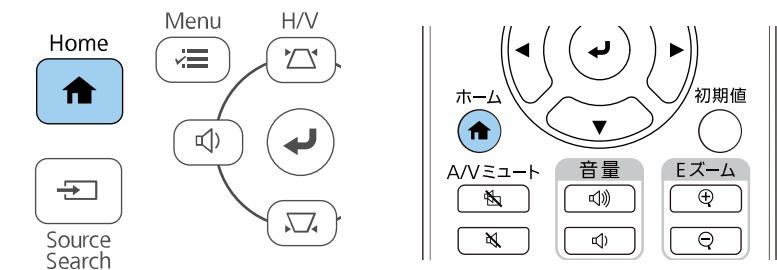
- 1 接続機器の電源が入っていることを確認します。
- 2 ビデオ機器の映像を表示するときは、DVDなどのメディアを挿入して再生します。
- 3 次のいずれかの操作を行います。
 - ・目的の機器からの映像が表示されるまで、操作パネルまたはリモコンの【入力検出】ボタンを押します。



映像信号が検出されないときは、次の画面が表示されます。本機と接続機器が正しく接続されていることを確認してください。



- ・リモコンで、表示したい入力ソースのボタンを押します。押したボタンに対応する入力ソースが複数あるときは、ボタンを再度押して入力ソースを切り替えます。
- ・操作パネルまたはリモコンの【ホーム】ボタンを押します。



投写する入力ソースを選択します。



本機はさまざまな縦横比（アスペクト比）で映像を表示できます。通常は、接続機器からの入力信号によって映像のアスペクト比が決まります。常に特定のアスペクト比で投写するときは、[映像] メニューでアスペクトを設定します。

▶ 関連項目

- 「映像のアスペクト比を変更する」 [p.51](#)
- 「アスペクトモードの種類」 [p.51](#)
- 「各アスペクトモードの投写イメージ」 [p.52](#)
- 「映像メニュー」 [p.120](#)

映像のアスペクト比を変更する

投写する映像のアスペクト比を変更します。

- 1 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 3 [映像] を選択し、【決定】ボタンを押します。



4 [アスペクト] を選択し、【決定】ボタンを押します。

5 表示されたアスペクトモードからいずれかを選択し、【決定】ボタンを押します。

6 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。

▶ 関連項目

- 「映像メニュー」 [p.120](#)

アスペクトモードの種類

接続機器からの入力信号に応じて、以下のアスペクト比を選択できます。



- 選択できるアスペクト比は、接続機器からの入力信号によって異なります。
- 著作権法で保護されている映像をアスペクト機能で圧縮、引き伸ばし、分割などを行い、営利目的で公衆に視聴させた場合は、著作者の権利を侵害するおそれがあります。

アスペクトモード	説明
オート	入力信号に応じて、アスペクト比が自動的に設定されます。
フル	入力信号のアスペクト比を維持せずに、投写エリア全体に映像を表示します。
ズーム	入力信号のアスペクト比を維持して、投写エリアの横幅に合わせて映像を表示します。
リアル	入力信号のアスペクト比と解像度を維持して表示します。

各アスペクトモードの投写イメージ

入力信号のアスペクト比と解像度によっては、特定のアスペクトモードで黒帯が発生したり、映像の端が欠けたりすることがあります。黒帯が発生する領域と映像の欠けが発生する領域は、以下の表をご覧ください。



[リアル] を選択したときのイメージは、入力信号の解像度によって異なることがあります。

アスペクトモード	入力信号のアスペクト比		
	16:10	16:9	4:3
オート			
フル			
ズーム			
リアル			

本機は、投写環境や映像の種類に応じて、明るさ、コントラスト、色を最適化するためのカラー モードを用意しています。環境や映像の種類に合ったカラー モードを選択できます。

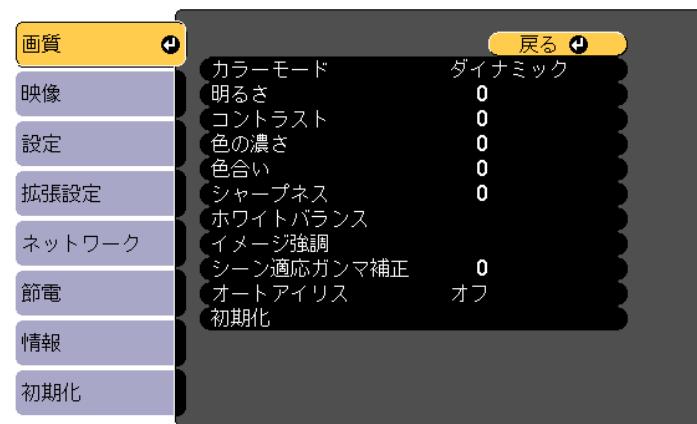
▶ 関連項目

- ・「カラー モードを変更する」 [p.53](#)
- ・「カラー モードの種類」 [p.53](#)
- ・「オートアイリスを設定する」 [p.53](#)

カラー モードを変更する

カラー モードを変更して、映像を最適化します。

- 1 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 3 [画質] を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 4 [カラー モード] を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 5 表示されたカラー モードからいずれかを選択し、【決定】ボタンを押します。

- 6 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。

▶ 関連項目

- ・「画質メニュー」 [p.118](#)

カラー モードの種類

投写している映像の種類に応じて、以下のカラー モードを設定できます。

カラー モード	説明
ダイナミック	最も明るいモードです。明るさを優先したい場合に適しています。
プレゼンテーション	映像を明るく鮮やかに投写したい場合に適しています。
シネマ	映画などのコンテンツを楽しむのに適しています。
sRGB	コンテンツの持つ色表現を忠実に再現したい場合に適しています。
黒板	黒板に直接投写する場合に適しています。

オートアイリスを設定する

表示される映像の明るさに合わせて光量を自動的に設定することで、奥行きと深みのある画像が楽しめます。

- 1 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。

2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。

3 【画質】を選択し、【決定】ボタンを押します。



4 【オートアイリス】を選択し、【決定】ボタンを押します。

5 以下のいずれかを選択し、【決定】ボタンを押します。

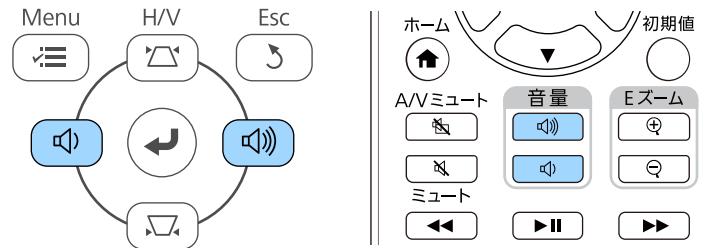


- 【標準】：標準の光量調整を行います。
- 【高速】：シーンが切り替わったとき、すぐに光量を調整します。

6 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。

音量ボタンは、プロジェクターの内蔵スピーカーの音量を調整します。
プロジェクターに接続している外部スピーカーの音量も調整できます。
音量は接続した入力ソースごとに調整する必要があります。

- 1 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【音量】ボタンを押して、音量を調整します。



音量調節画面が表示されます。

- 3 メニューから音量を調整するときは、[設定] メニューの [音量] を設定します。設定値は入力ソースごとに保持されます。

⚠ 注意

初めから音量を上げすぎないでください。突然大きな音が出て、聴力障害の原因となることがあります。

電源を切る前に音量を下げておき、電源を入れた後で徐々に上げてください。

▶ 関連項目

- 「設定メニュー」 p.121

プロジェクターの便利な機能

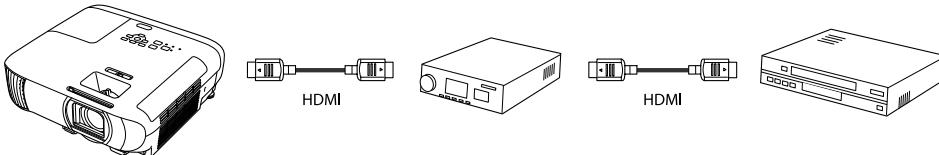
プロジェクターの各機能を使用します。

▶ 関連項目

- ・「HDMIリンク機能」 [p.57](#)
- ・「PC Free機能で投写する」 [p.59](#)
- ・「映像と音声を一時的に遮断する」 [p.64](#)
- ・「音声を一時的に遮断する」 [p.65](#)
- ・「映像を一時的に停止する」 [p.66](#)
- ・「映像を拡大・縮小する（ズーム）」 [p.67](#)
- ・「ユーザー口ゴを設定する」 [p.69](#)
- ・「ユーザーパターンを登録する」 [p.71](#)
- ・「複数台のプロジェクターから投写した映像の色差補正」 [p.72](#)
- ・「セキュリティー機能」 [p.75](#)

本機のHDMI端子にHDMI CEC規格に対応したAV機器を接続すると、接続機器同士の連携動作が本機のリモコンで操作できます。

例：電源オン連動やAVアンプの音量調整など



- AV機器がHDMI CEC規格に対応していれば、中継するAVアンプがHDMI CEC規格に対応していなくてもHDMIリンク機能が利用できます。
- HDMI CEC規格で同時に接続できるプレーヤーは3台までです。

▶ 関連項目

- 「HDMIリンク機能を使って接続機器を操作する」 [p.57](#)

HDMIリンク機能を使って接続機器を操作する

HDMIリンクを利用できる接続機器を選択して、HDMIリンク機能で機器を操作できます。



- HDMIリンク機能を使用するには、[設定]メニューの[HDMIリンク]を[オン]に設定します。
➡ [設定] > [HDMIリンク] > [HDMIリンク]
- 接続機器側の設定も必要です。詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。
- HDMI CEC規格に対応していても動作しない接続機器や、動作しない機能があります。詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。
- ケーブルがHDMIの規格に対応していないと動作しません。

- 1 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 2 [設定]を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 3 [HDMIリンク]を選択して【決定】ボタンを押します。
表示された画面で、[HDMIリンク]が[オン]に設定されていることを確認します。
- 4 [接続機器一覧]を選択して【決定】ボタンを押します。



- 5** HDMIリンクで操作したり、映像を表示したりする機器を選択して【決定】ボタンを押します。



- HDMIリンクされている機器は左側のマークが青色になります。
- 機器名が取得できないときは空欄になります。

- 6** 必要に応じて【戻る】ボタンを押して、HDMIリンクのオプション設定をします。

- [音声出力機器]：音声を出力する機器を選択します。



- 本機から音声を出力するときは、[プロジェクター]を選択します。
- HDMIケーブルで中継しているAVアンプから音声を出力するときは、[AVアンプ]を選択します。

- [電源オン連動]：本機や接続機器の電源を入れたときに連動する操作を設定します。



- 本機の電源を入れたときに、接続機器の電源も入るようになるには、[PJ→接続機器]または[双向]を選択します。
- 接続機器の電源を入れたときに、本機の電源も入るようになるには、[接続機器→PJ]または[双向]を選択します。

- [電源オフ連動]：本機の電源オフに連動して、接続機器の電源も切るかどうかを設定します。

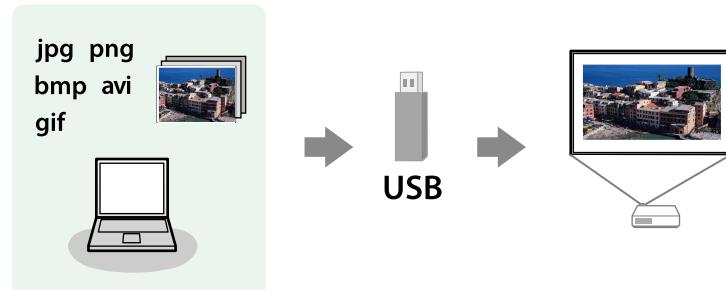


- [電源オフ連動]は、接続機器のCEC電源連動機能を有效地に設定しているときのみ有効です。
- 録画中の機器など、状態によっては電源が切れないことがあります。

- 7** 【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。

本機のリモコンを使って接続機器の再生、停止、早送り、早戻しなどの操作ができます。

PC Free機能は、USB機器を本機に接続して、保存されたファイルを投写できます。素早く簡単に映像を投写でき、リモコンから映像を操作することもできます。



▶ 関連項目

- 「サポートファイル形式」 [p.59](#)
- 「PC Free使用時の注意事項」 [p.59](#)
- 「PC Freeのスライドショーを開始する」 [p.60](#)
- 「PC Freeで動画を投写する」 [p.61](#)
- 「PC Freeの表示オプション」 [p.62](#)

サポートファイル形式

以下の形式のファイルをPC Freeで投写できます。



- FAT16/32でフォーマットされたUSB機器にファイルを保存してください。
- Windows以外のファイルシステムでフォーマットしたUSB機器で投写に問題があるときは、Windowsでフォーマットしてください。

ファイルの内容	ファイルタイプ(拡張子)	詳細
静止画	.jpg	以下のファイル形式は投写できません。 <ul style="list-style-type: none"> CMYK形式 プログレッシブ形式 高压縮 解像度が8192×8192を超えるファイル
	.bmp	以下のファイル形式は投写できません。 <ul style="list-style-type: none"> 解像度が1280×800を超えるファイル
	.gif	以下のファイル形式は投写できません。 <ul style="list-style-type: none"> 解像度が1280×800を超えるファイル アニメーションファイル インターレース形式
	.png	以下のファイル形式は投写できません。 <ul style="list-style-type: none"> 解像度が1920×1200を超えるファイル インターレース形式
動画	.avi (Motion JPEGのみ)	AVI 1.0のみ投写できます。 以下のファイル形式は投写できません。 <ul style="list-style-type: none"> PCM、ADPCM以外の音声コーデックで保存されたファイル 解像度が1280×720を超えるファイル サイズが2 GBを超えるファイル

PC Free使用時の注意事項

PC Free機能を使用するときは、以下の点に注意してください。

- USBキーとして使用しているUSBメモリーは、PC Free機能では使用できません。
- PC Freeで投写中は、USB機器を本機から取り外さないでください。PC Freeが正しく動作しなくなるおそれがあります。
- セキュリティー機能が搭載されているUSB機器は、PC Free機能が使用できないことがあります。
- ACアダプターが付属されているUSB機器を接続するときは、ACアダプターを電源コンセントに接続してください。
- 市販のUSBカードリーダーの中には、本機で使用できないものもあります。
- 本機は、同時に5つまでのメディアを認識できます。
- PC Freeで投写中は映像のゆがみを補正できないため、PC Freeを実行する前に補正してください。
- 以下の機能はPC Freeで投写しているときでも使用できます。
 - 静止
 - A/Vミュート
 - E-Zoom

▶関連項目

- 「映像を一時的に停止する」 [p.66](#)
- 「映像と音声を一時的に遮断する」 [p.64](#)
- 「映像を拡大・縮小する（Eズーム）」 [p.67](#)

PC Freeのスライドショーを開始する

USB機器をプロジェクターに接続した後、入力ソースをUSBに切り替えてスライドショーを開始します。



画面下部の【オプション】を選択し、【決定】ボタンを押して、PC Freeの動作設定を変更したり、画面切替効果を追加したりできます。

1

リモコンの【USB】ボタンを押します。

PC Freeファイル一覧画面が表示されます。



- ドライブの選択画面が表示されたときは、上下左右ボタンでドライブを選択して、【決定】ボタンを押します。
- 別のUSBドライブの画像を表示するには、ファイル一覧画面上部の【ドライブの選択】を選択して、【決定】ボタンを押します。

2

以下の操作で投写するファイルを探します。

- USB機器のサブフォルダーにあるファイルを投写するときは、上下左右ボタンで該当のフォルダーを選択して、【決定】ボタンを押します。

- ひとつ上のフォルダーに戻るときは、【上へ戻る】を選択して、【決定】ボタンを押します。

3 次のいずれかの操作を行います。

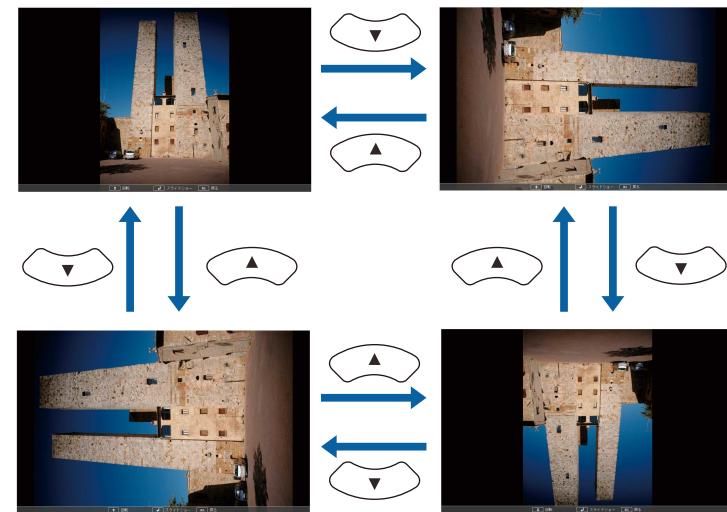
- 投写するファイルを1つずつ選択するときは、上下左右ボタンで画像を選択し、【決定】ボタンを押します。（ファイル一覧画面に戻るには、【戻る】ボタンを押します。）
- 同一フォルダー内のすべての画像をスライドショーで表示するには、上下左右ボタンで画面下部の【スライドショー】を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 画像の切り替え時間を変更できます。画面下部の【オプション】を選択し、【決定】ボタンを押して、表示オプション設定画面で変更してください。
- ファイル名の文字数が表示幅を超える場合や、非対応の記号が含まれている場合は、PC Free機能ではファイル名表示が短縮または変更されます。

4 投写中は、以下の操作ができます。

- 画像の回転：上下ボタンを押して、画像を回転できます。



- 画像の送り戻し：左右ボタンを押して、表示中の画像の前または次の画像を表示します。

5 画像の投写を終了するときは、【戻る】ボタンを押します。

ファイル一覧画面に戻ります。

6 必要に応じてUSB機器の電源を切り、本機から取り外します。

► 関連項目

- 「PC Freeの表示オプション」 p.62
- 「USB機器を接続する」 p.25

PC Freeで動画を投写する

USB機器をプロジェクターに接続した後、入力ソースを切り替えて、動画の投写を開始します。



画面下部の【オプション】を選択し、【決定】ボタンを押して、PC Freeの動作設定オプションを変更できます。

- 1 リモコンの【USB】ボタンを押します。
PC Freeファイル一覧画面が表示されます。



- ドライブの選択画面が表示されたときは、上下左右ボタンでドライブを選択して、【決定】ボタンを押します。
- 別のUSBドライブの動画ファイルを表示するには、ファイル一覧画面上部の【ドライブの選択】を選択して、【決定】ボタンを押します。

- 2 以下の操作で投写するファイルを探します。
- USB機器のサブフォルダーにあるファイルを投写するときは、上下左右ボタンで該当のフォルダーを選択して、【決定】ボタンを押します。
 - ひとつ上のフォルダーに戻るときは、【上へ戻る】を選択して、【決定】ボタンを押します。

- 3 上下左右ボタンでファイルを選択し、【決定】ボタンを押します。



- ファイル名の文字数が表示幅を超える場合や、非対応の記号が含まれている場合は、PC Free機能ではファイル名表示が短縮または変更されます。
- 同一フォルダー内のすべての動画を連続再生するには、画面下部の【スライドショー】を選択します。

- 4 投写を終了するときは、【戻る】ボタンを押し、【終了】を選択して【決定】ボタンを押します。
ファイル一覧画面に戻ります。

- 5 必要に応じてUSB機器の電源を切り、本機から取り外します。

► 関連項目

- 「PC Freeの表示オプション」 [p.62](#)
- 「USB機器を接続する」 [p.25](#)

PC Freeの表示オプション

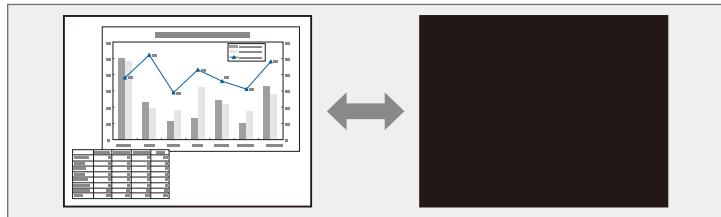
PC Freeでは、以下の表示オプションを設定できます。PC Freeファイル一覧画面下部の【オプション】を選択し、【決定】ボタンを押します。



設定	選択肢	説明
	ワイプ	画像の切り替え時にワイプ効果を入れる
	ディゾルブ	画像の切り替え時にディゾルブ効果を入れる
	ランダム	画像の切り替え時にランダム効果を入れる

設定	選択肢	説明
表示順序設定	ファイル名順	ファイル名順でファイルを表示
	更新日付順	更新日付順でファイルを表示
ソート方向	昇順	数字やアルファベットの小さい順にファイルを並べる
	降順	数字やアルファベットの大きい順にファイルを並べる
繰り返し再生	オン	スライドショーを連続表示
	オフ	スライドショーを1回のみ表示
表示時間設定	なし	画像の自動送りなし
	1秒～60秒	設定した秒数の間画像を表示した後、自動的に次の画像を表示（高解像度の画像は、設定秒数よりも切り替えが遅れることがあります）
画面切替効果	なし	切り替え効果なし

プレゼンテーション中に聴衆の関心を引きたいときなど、投写映像と音声を一時的に消すことができます。遮断中も映像と音声は進んでいるため、遮断した場面から投写を再開することはできません。



リモコンの【A/Vミュート】ボタンを押したときに、ロゴや写真などを表示するには、【拡張設定】メニューの【A/Vミュート】で、表示したい画面を設定します。

👉 [拡張設定] > [表示設定] > [A/Vミュート]

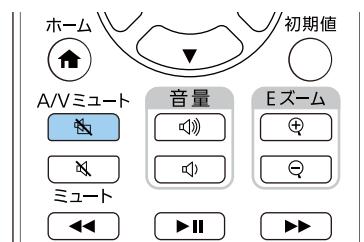


- 本機のレンズカバーを閉じることで、投写を遮断することもできます。
- A/Vミュートの実行後30分経過すると、自動的に本機の電源が切れます。この機能は以下の設定で無効にできます。
👉 [節電] > [A/Vミュートタイマー]
- A/Vミュート中も投写ランプは動作し続けるため、ランプ点灯時間は加算されます。

▶ 関連項目

- 「拡張設定メニュー」 p.124
- 「節電メニュー」 p.138

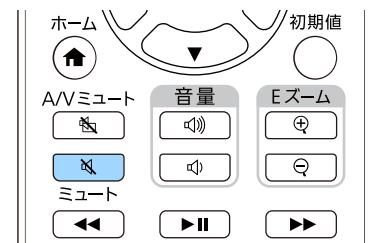
1 リモコンの【A/Vミュート】ボタンを押して、映像と音声を一時的に遮断します。



2 投写を再開するときは、再度【A/Vミュート】ボタンを押します。

投写している映像の音声を一時的に消すことができます。

- 1 リモコンの【ミュート】ボタンを押して、音声を一時的に遮断します。



- 2 解除するときは、再度【ミュート】ボタンを押します。

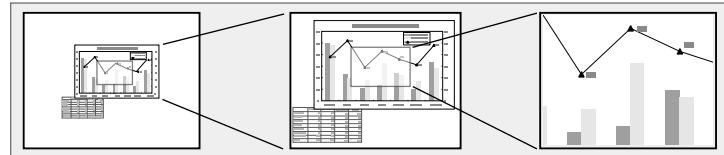
動画やプレゼンテーションスライドを一時的に停止して、静止画像として投写します。停止中も映像と音声は進んでいるため、停止した場面から投写を再開することはできません。

- 1 リモコンの【静止】ボタンを押して、動画を停止します。



- 2 停止を解除するときは、再度【静止】ボタンを押します。

リモコンの【Eズーム】ボタンを使って、映像を拡大/縮小できます。拡大/縮小表示は入力ソースを切り替えたり、プロジェクターの電源を切ったりしても維持されます。

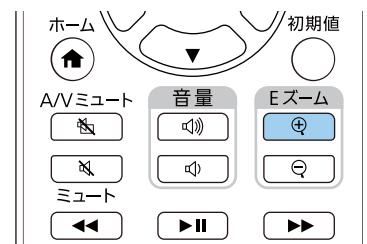


▶ 関連項目

- 「映像を拡大表示する」 [p.67](#)
- 「映像を縮小表示する」 [p.67](#)

映像を拡大表示する

- 1 リモコンの【Eズーム】(+) ボタンを押します。



映像の中央を中心にして、拡大表示されます。1~4倍まで、25段階で拡大できます。

- 2 拡大された映像を調整するには、倍率が表示されている間にリモコンの以下のボタンを使用します。

- ・ズームイン：【Eズーム】(+) ボタンを繰り返し押します。

- ・ズームエリアの移動：ズームイン中に上下左右ボタンを押すと、ズーム表示エリアを移動できます。
- ・ズームアウト：【Eズーム】(-) ボタンを押します。
- ・ズーム解除：【初期値】ボタンを押します。

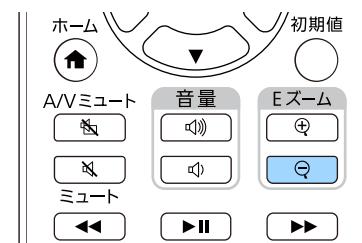


エプソン製書画カメラから映像を投写しているときは、書画カメラの【Eズーム】(+) ボタンを使って、1~8倍まで、57段階で拡大できます。

一定時間が経過すると、倍率表示が消えて表示倍率、表示位置が保存されます。再度調整するときは、【Eズーム】(+/-) ボタンを押します。

映像を縮小表示する

- 1 リモコンの【Eズーム】(-) ボタンを押します。



映像が縮小表示されます。100%から50%まで、段階的に縮小できます。

- 2 縮小された映像を調整するには、倍率が表示されている間にリモコンの以下のボタンを使用します。

- ・ズームアウト：【Eズーム】(-) ボタンを繰り返し押します。

- ・ズームアウトエリアの移動：ズームアウト中に上下左右ボタンを押すと、縮小された映像を移動できます。
- ・ズームイン：【Eズーム】(+) ボタンを押します。
- ・ズーム解除：【初期値】ボタンを押します。



エプソン製書画カメラから映像を投写しているときは、書画カメラの【Eズーム】(-) ボタンでも縮小表示できます。

一定時間が経過すると、倍率表示が消えて表示倍率、表示位置が保存されます。再度調整するときは、【Eズーム】(+/-) ボタンを押します。

プロジェクターの電源投入時に表示する画像を設定します。この画像は、入力信号が未検出のときにも表示できます。この画像をユーザー口ゴと呼びます。

写真、グラフィック、会社のロゴなどをユーザー口ゴとして設定し、プロジェクターの所有者を明示することで、本機の盗難防止などに役立ちます。また、パスワードプロテクトを設定して、ユーザー口ゴを変更できないようにすることができます。



- ・ [パスワードプロテクト] 設定で [ユーザー口ゴ保護] を [オフ] にしているときは、[オフ] にしてからユーザー口ゴを設定してください。
- ・ 一括設定機能を使用して、複数のプロジェクター間でメニュー設定をコピーすると、ユーザー口ゴもコピーされます。複数のプロジェクター間で共有したくない画像は、ユーザー口ゴとして設定しないでください。
- ・ HDCPで保護されたコンテンツは保存できません。
- ・ 入力ソースが AirPlay、LAN、Miracastのときは、この機能は使用できません。

1 ユーザー口ゴとして設定する画像を投写します。

2 【メニュー】ボタンを押し、[拡張設定] を選択して、【決定】ボタンを押します。



3 [ユーザー口ゴ] > [設定開始] の順に選択し、【決定】ボタンを押します。
確認画面が表示されます。



[ユーザー口ゴ] を選択すると、台形補正、ズーム、アスペクトなどの設定が、一時的に無効になります。

4 [はい] を選択して【決定】ボタンを押します。

5 表示されている画像を確認し、[はい] を選択して保存します。
ユーザー口ゴが保存され、完了メッセージが表示されます。

6 【戻る】ボタンを押して、メッセージを閉じます。

7 [拡張設定] を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 8 [表示設定] を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 9 ユーザー口ゴを表示するタイミングを設定します。
 - 入力信号がないときに表示するには、[背景表示] を選択し、[口ゴ] に設定します。
👉 [拡張設定] > [表示設定] > [背景表示]
 - 本機の電源投入時に表示する：[スタートアップスクリーン] を [オン] に設定します。
👉 [拡張設定] > [表示設定] > [スタートアップスクリーン]
 - 【A/Vミュート】ボタンを押したときに表示する：[A/Vミュート] を [口ゴ] に設定します。
👉 [拡張設定] > [表示設定] > [A/Vミュート]

ユーザー口ゴが変更されることを防ぐには、[パスワードプロテクト] 設定画面で [ユーザー口ゴ保護] を [オン] にしてパスワードを設定してください。

▶ 関連項目

- 「映像と音声を一時的に遮断する」 [p.64](#)
- 「パスワードプロテクトの種類を設定する」 [p.76](#)

本機には罫線や格子など4種類のパターン映像が登録されています。投写中に【パターン表示】を選択して、これらのパターン映像を投写できます。

また、現在表示している映像をユーザーパターンとして登録することもできます。



ユーザーパターンは、一度登録すると初期設定には戻せません。

1 ユーザーpatternとして登録したい映像を投写し、操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。

2 【設定】を選択して、【決定】ボタンを押します。



3 【パターン】 > 【ユーザーpattern】の順に選択し、【決定】ボタンを押します。

投写した画像をユーザーpatternとして使用するかどうかを確認するプロンプトが表示されます。



- 【ユーザーpattern】を選択すると、台形補正、Eズーム、アスペクトで調整した設定は一時的に無効になります。
- HDCPで保護されたデジタル映像は、ユーザーpatternとして登録できません。

4 [はい] を選択して【決定】ボタンを押します。

5 【決定】ボタンを押します。

画像をユーザーpatternとして保存するかどうかを確認するプロンプトが表示されます。

6 [はい] を選択して【決定】ボタンを押します。

終了メッセージが表示されます。

本機を複数台並べて投写するときは、それぞれの映像の明るさや色合いの違いを補正します。

プロジェクターごとにリモコンで調整するため、各プロジェクターにプロジェクターIDを設定してから明度と色合いを調整します。



- 補正を行っても、それぞれの映像の明るさと色合いは完全に一致しないことがあります。
- 時間の経過とともに、映像の明るさと色合いの違いが目立つことがあります。その場合は、再度補正を行ってください。

▶ 関連項目

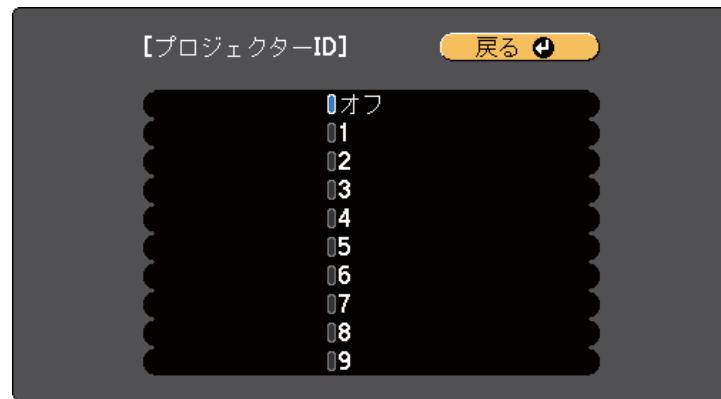
- 「プロジェクターIDの設定」 [p.72](#)
- 「操作対象のプロジェクターIDをリモコンで選択する」 [p.72](#)
- 「複数のプロジェクターの映像品質を合わせる」 [p.73](#)

プロジェクターIDの設定

リモコンで操作するプロジェクターを選択するために、各プロジェクターに一意のIDを指定します。

- 【メニュー】ボタンを押し、【拡張設定】を選択して、【決定】ボタンを押します。
- 【プロジェクターID】を選択して【決定】ボタンを押します。

- 対象のプロジェクターに設定するID番号を選択します。【決定】ボタンを押します。



- 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。
- リモコンから操作するすべてのプロジェクターに対して、同様の手順を繰り返します。

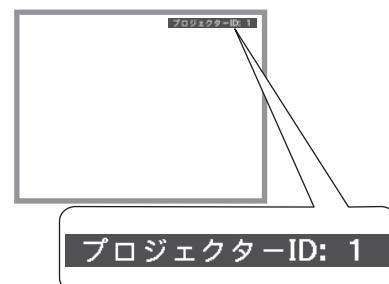
操作対象のプロジェクターIDをリモコンで選択する

プロジェクターのIDを設定した後、リモコンで操作対象のプロジェクターのIDを選択します。

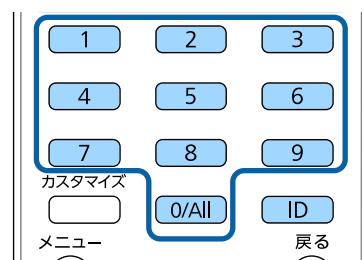
- 1 操作対象のプロジェクターにリモコンを向けて、【ID】ボタンを押します。



プロジェクターに設定されたIDが投写画面に表示されます。表示は約3秒後に消えます。



- 2 【ID】ボタンを押したまま、操作対象のプロジェクターIDと同じ数字のボタンを押します。



選択したIDが設定されたプロジェクターのリモコン操作が有効になります。



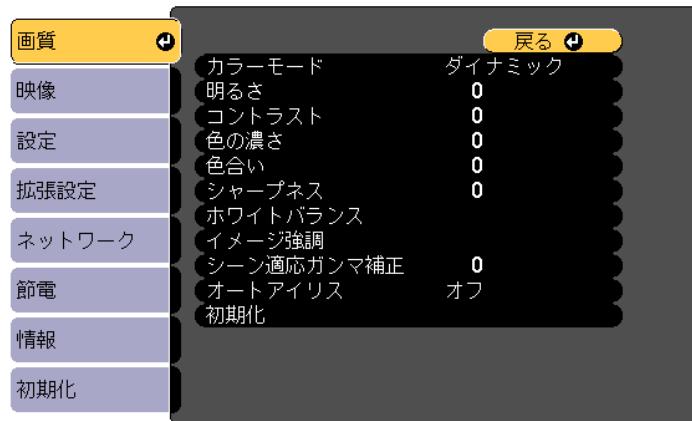
- 【0/AII】を選択したときは、[プロジェクターID] の設定に関わらず、すべてのプロジェクターを操作できます。
- [プロジェクターID] を [オフ] に設定しているときは、リモコンで選択したIDに関わらず、プロジェクターをリモコンで操作できます。
- プロジェクターIDはリモコンに記憶され、電池交換などでリモコンから電池を取り外しても残ります。ただし、長期間電池を取り外したままにすると、IDは初期値（0/AII）に戻ります。
- 複数のリモコンを同時に操作すると、赤外線の干渉により意図しない動作となることがあります。

複数のプロジェクターの映像品質を合わせる

本機を複数台並べて投写するときの、それぞれの映像の色合いを合わせます。

- 1 映像品質を合わせたいすべてのプロジェクターの電源を入れます。
- 2 各プロジェクターにID番号を設定します。
- 3 各プロジェクターのカラーモードが同じ設定であることを確認します。
- 4 1台目のプロジェクターのIDを選択して、リモコン操作を有効にします。

- 5 【メニュー】ボタンを押し、【画質】メニューを選択して、【決定】ボタンを押します。



- 6 必要に応じて、映像品質を調整します。

- 7 2台目以降のプロジェクターのIDを選択して、1台目と映像品質が一致するように画質メニューで調整します。

以下のセキュリティ機能を使用することで、プロジェクターの盗難や誤用・悪用を防止します。

- ・ **パスワードプロテクト**：パスワードを知らないユーザーが本機を使用できないようにします。また、起動時に表示する画面などの設定を変更できないようにします。
本機を使用できるユーザーを制限したり、プロジェクターを持ち出しても使用できないことで盗難防止の効果があります。
- ・ **操作ボタンロック**：操作パネルのボタン操作をできないようにします。イベントや展示会などで投写中にプロジェクターを操作できないようにしたり、学校などで操作できるボタンを制限したいときに便利です。
- ・ **セキュリティケーブル**：プロジェクターを固定して盗難を防ぎます。

▶ 関連項目

- ・ 「パスワードプロテクトの種類」 [p.75](#)
- ・ 「操作パネルのボタン操作を制限する」 [p.78](#)
- ・ 「セキュリティケーブルを取り付ける」 [p.79](#)

パスワードプロテクトの種類

パスワードを1つ設定して、次の種類の操作制限をします。

- ・ **【電源投入時】**：パスワードを知らないユーザーが本機を起動できないようにします。電源コードで本機とコンセントを接続後、最初に電源を入れたときに、事前に設定してあるパスワードの入力が要求されます。[ダイレクトパワーオン] および [オートパワーオン] 機能でプロジェクターが起動したときも、パスワードの入力が必要になります。
- ・ **【ユーザーロゴ保護】**：プロジェクターの電源を入れたときや、入力信号が未検出のとき、A/Vミュート時などに表示されるユーザーロゴの画面設定を変更できないようにします。ユーザーロゴを設定していると、プロジェクターの所有者が特定されるため、盗難防止につながります。

- ・ **【ネットワーク保護】**：[ネットワーク] メニューの設定を変更できないようにします。
- ・ **【スケジュール保護】**：スケジュール設定を変更できないようにします。

▶ 関連項目

- ・ 「パスワードの設定」 [p.75](#)
- ・ 「パスワードプロテクトの種類を設定する」 [p.76](#)
- ・ 「パスワードを入力する」 [p.77](#)

パスワードの設定

初めて本機を使用するときは、パスワードを設定します。



デフォルトのパスワードは設定されていません。新たにパスワードを設定する必要があります。

- 1 リモコンの【静止】ボタンを約5秒間押し続けます。

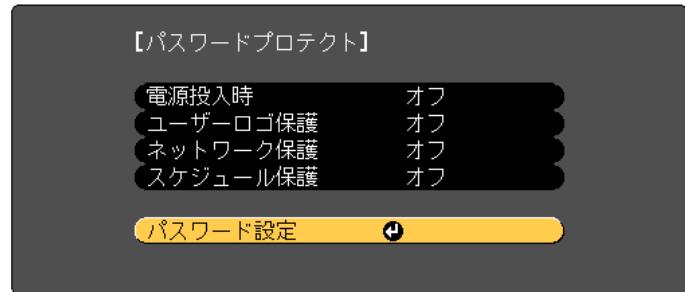


パスワードプロテクト設定メニューが表示されます。



- ・ パスワードが設定されていないときは、[パスワードプロテクト] 設定メニューが表示される前にパスワードの設定を求められます。
- ・ すでに [パスワードプロテクト] が有効になっているときは、[パスワードプロテクト] 設定メニューを表示する前にパスワードの入力が求められます。

2 [パスワード設定] を選択して【決定】ボタンを押します。



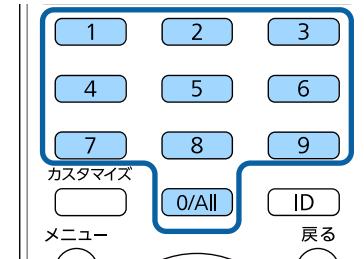
「パスワードを変更しますか？」というメッセージが表示されます。

3 [はい] を選択して【決定】ボタンを押します。



[いいえ] を選択したときは、パスワードプロテクト設定メニューが再度表示されます。

4 リモコンのテンキーを押して4桁のパスワードを入力します。



入力したパスワードは、「****」と表示されます。4桁目を入力すると、確認画面が表示されます。

5 パスワードを再入力します。

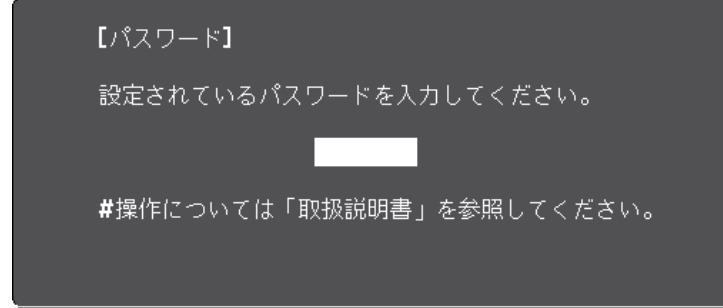
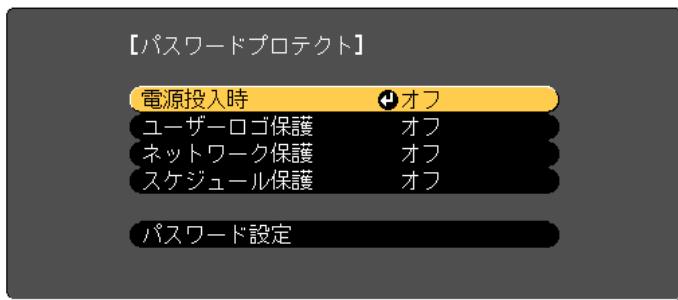
「パスワード設定が終了しました。」というメッセージが表示されます。間違えてパスワードを入力した場合は、メッセージが表示されますのでパスワード設定をやり直してください。

6 【戻る】ボタンを押してメニューに戻ります。

7 パスワードを控えて、安全な場所に保管してください。

パスワードプロテクトの種類を設定する

パスワードの設定後、パスワードプロテクト設定メニューで設定したいパスワードプロテクトの種類を選択します。



このメニューが表示されない場合は、メニューが表示されるまで5秒間ほどリモコンの【静止】ボタンを押し続けてください。

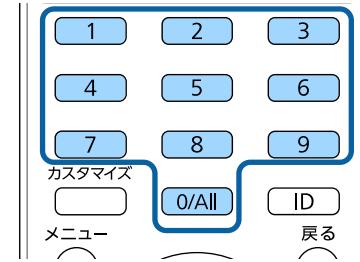
- ・プロジェクトの無断使用を防止したいときは、[電源投入時] を [オン] に設定します。
- ・ユーザーロゴなどの表示設定の変更を防止したいときは、[ユーザーロゴ保護] を [オン] に設定します。
- ・ネットワーク設定の変更を防止したいときは、[ネットワーク保護] を [オン] に設定します。
- ・スケジュール設定の変更を防止したいときは、[スケジュール保護] を [オン] に設定します。

パスワードプロテクトステッカーを本機に貼り付けることで、盗難防止効果を向上できます。



リモコンは必ず安全な場所に保管してください。リモコンを失くすとパスワードを入力できなくなります。

- 1 リモコンのテンキーを押してパスワードを入力します。



パスワード画面が閉じます。

パスワードを入力する

パスワード画面が表示されたときは、正しいパスワードを入力します。

- 2 誤ったパスワードを入力したときは、再入力用の画面が表示されます。正しいパスワードを入力します。

注意

- ・誤ったパスワードを3回連続で入力すると、「プロジェクターの動作を停止します。」というメッセージが約5分間表示され、プロジェクターはスタンバイ状態になります。電源プラグを差し直してから、本機の電源を入れてください。パスワード入力画面が表示されたら、正しいパスワードを入力してください。
- ・パスワードを忘れたときは、画面に表示される「[問い合わせコード] :xxxxx」の番号を控えて、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
- ・上記の操作を繰り返し、誤ったパスワードを連続30回入力したときは、「プロジェクターの動作を停止します。各修理窓口へ修理を依頼してください。」というメッセージが表示され、それ以上パスワードを入力できなくなります。お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
- ・パスワードに関してお問い合わせいただいた際は、お客様のお名前や連絡先などをお聞きし、お客様から返送いただいた『お客様情報+正式保証書発行カード』と照合しご本人様であることを確認させていただきます。同梱の『お客様情報+正式保証書発行カード』に必要事項を記入して、必ず返送してください。

操作パネルのボタン操作を制限する

操作パネルのボタンをロックして、本機の無断使用を防止します。リモコンからは通常どおり操作できます。

- 1 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。

- 2 [設定] を選択して、【決定】ボタンを押します。



- 3 [ロック設定] > [操作ボタンロック] の順に選択し、【決定】ボタンを押します。

- 4 ロックの種類を選択し、【決定】ボタンを押します。

- ・ [全ロック] : 操作パネルのすべてのボタンをロックします。
- ・ [操作ロック] : 電源ボタン以外のすべてのボタンをロックします。

確認メッセージが表示されます。

- 5 [はい] を選択して【決定】ボタンを押します。

[操作ボタンロック] の設定が有効になります。

▶ 関連項目

- ・「操作ボタンロックを解除する」 p.79

操作ボタンロックを解除する

以下の方法で、操作ボタンロックを解除します。

- ・操作パネルの【決定】ボタンを約7秒間押し続けます。メッセージが表示され、ロックが解除されます。
- ・[設定]メニューの【操作ボタンロック】を【オフ】に設定します。
👉 [設定] > [ロック設定] > [操作ボタンロック]

▶ 関連項目

- ・「設定メニュー」 p.121

セキュリティケーブルを取り付ける

盗難防止のために、セキュリティケーブルを本機に取り付けることができます。

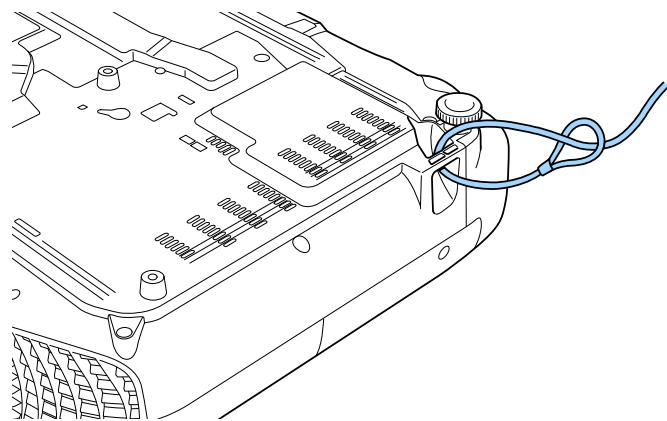
- ・Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティーシステムを本機のセキュリティースロットに取り付けます。



マイクロセーバーセキュリティーシステムの詳細は、Kensington社のWebサイトをご覧ください。

<https://www.kensington.com/>

- ・ワイヤーケーブルを、本機のセキュリティケーブル取付け部に取り付けて、部屋の建具や動かないものに固定します。



市販の盗難防止用ワイヤーロックを使用できます。ワイヤーロックの施錠方法は、ワイヤーロックに添付の取扱説明書をご覧ください。

ネットワーク上のプロジェクターを使用する

ネットワーク経由でプロジェクターから映像を投写するための設定について説明します。

▶ 関連項目

- ・「無線LANでの映像投写」 [p.81](#)
- ・「モバイルデバイスからのワイヤレス投写（Miracast）」 [p.91](#)
- ・「AirPlayを使用する」 [p.95](#)
- ・「セキュアHTTP」 [p.99](#)

無線LAN経由でプロジェクターから映像を投写できます。

[ネットワーク] メニューから、無線LAN設定をすると、本機を無線接続できます。

プロジェクターのネットワーク設定が終わったら、Webサイトからネットワークソフトウェアをインストールします。無線LAN経由で映像を投写するには、以下のネットワークソフトウェアを使用します。

- Epson iProjection (Windows/Mac)を使用すると、ネットワークに接続された複数のコンピューターの映像を同時に投写して、ミーティングをより活発にできます。詳しくは『Epson iProjection操作ガイド(Windows/Mac)』をご覧ください。
- Epson iProjection (iOS/Android)を使用すると、iOSやAndroidなどのモバイルデバイスから映像を投写できます。

Epson iProjectionは、App StoreまたはGoogle Playから無料でダウンロードできます。App Store、Google Playへ接続する際の通信料はお客様の負担となります。

- Epson iProjection (Chromebook)を使用すると、Chromebookから映像を投写できます。

Epson iProjectionは、Chromeウェブストアから無料でダウンロードできます。Chromeウェブストアへ接続する際の通信料はお客様の負担となります。



- [Web制御パスワード] が設定されていないときは、ネットワークの設定を保存する際にパスワード設定を求められます。画面の指示に従ってパスワードを設定してください。
- Epson iProjectionのモデレーター機能を使ってプロジェクターの画面をコンピューター上に表示しているときは、そのコンピューターで画面のキャプチャーができません。

▶関連項目

- 「内蔵の無線LANユニットを安全にお使いいただくために」 [p.81](#)
- 「さまざまなネットワーク投写に対応した接続方法」 [p.81](#)

- 「プロジェクターの無線LANを設定する」 [p.82](#)
- 「Windowsで無線LANを設定する」 [p.84](#)
- 「Macで無線LANを設定する」 [p.85](#)
- 「無線LANのセキュリティーを設定する（シンプルAPモードオン時）」 [p.85](#)
- 「無線LANのセキュリティーを設定する（シンプルAPモードオフ時）」 [p.85](#)
- 「QRコードを使用してモバイルデバイスに接続する」 [p.88](#)
- 「USBキーを使って接続する（Windowsのみ）」 [p.89](#)

内蔵の無線LANユニットを安全にお使いいただくために

本機には無線LANユニットが内蔵されています。以下の注意事項を必ず守ってお使いください。

⚠ 警告

- 心臓ペースメーカー等の医療機器を装着している方は、製品に近づかないでください。また、製品を取り扱うときは、近くに心臓ペースメーカー等の医療機器を装着している方がいないことを確認してください。電磁妨害が生じ、医療機器が誤動作する可能性があります。
- 電磁妨害による誤動作や事故の原因となります。自動ドアや火災報知機などの自動制御機器の近くで使用しないでください。

⚠ 注意

製品から20cm以上離れてお使いください。体調不良の原因となります。

さまざまなネットワーク投写に対応した接続方法

お使いのネットワーク環境に適した接続方法を選択できます。

- ・シンプルAPモードをオンにすると、プロジェクターとスマートフォンやタブレット端末、コンピューターを無線で直接接続できます。Epson iProjectionの【かんたんモード】またはMiracastで接続するときに、このモードを選択します。



プロジェクターの無線LANを設定する

無線LAN経由で映像を投写するには、事前にプロジェクターのネットワーク設定が必要です。



本機の電源がオフの場合でも無線LANを使用することができます。使用する場合は、本手順で無線LANの設定をしてから【拡張設定】メニューで【A/V出力設定】の【A/V出力】を【常時】に設定してください。

☞ [拡張設定] > [A/V出力設定] > [A/V出力]

- 1 【メニュー】ボタンを押し、【ネットワーク】を選択して、【決定】ボタンを押します。



- 2 [無線LAN電源]を【オン】に設定します。

- 3 [ネットワーク設定画面へ]を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 4 [基本設定]を選択し、【決定】ボタンを押します。



5 必要に応じて以下を設定します。

- 【プロジェクト名】：ネットワーク上で本機を識別するための名前を入力します。半角英数字で16文字以内で入力します。
- 【Remote/パスワード】：ベーシックコントロール機能で本機の設定や制御をするときの認証用パスワードを設定します。半角英数字で8文字以上32文字以内で入力します。(ユーザー名はEPSONREMOTEです。デフォルトのパスワードは設定されていません。)
- 【Web制御パスワード】：Web制御で本機の設定や制御をするときの認証用パスワードを設定します。半角英数字で8文字以上32文字以内で入力します。(ユーザー名はEPSONWEBです。デフォルトのパスワードは設定されていません。)
- 【Monitor/パスワード】：Ver.5.30またはそれ以前のEpson Projector Managementを使用したり、スイッチャーやコントローラーと組み合わせてプロジェクターを監視したりするときの認証用パスワードを設定します。半角英数字で16文字以内で入力します。(デフォルトのパスワードは設定されていません。)
- 【モデレーターパスワード】：Epson iProjectionを使って、モデレーターとして本機に接続するときの認証用パスワードを設定します。4桁の数字を入力します。(デフォルトのパスワードは設定されていません。)
- 【プロジェクトーキーワード】：他のユーザーが誤って接続しないように、セキュリティーパスワードを有効にできます。コンピューターやモバイルデバイスの映像を投写するときは、投写画面に表示されるキーワードをEpson iProjectionで入力する必要があります。
- 【キーワード通知】：Epson iProjectionを使って本機に接続するときに、投写画面にプロジェクターキーワードを表示するかどうかを設定します。

- 【LAN情報表示】：本機のネットワーク情報の表示形式を設定します。



名前、パスワード、およびキーワードの入力には、表示されたソフトキーボードを使用します。リモコンの上下左右ボタンを押して文字を選択し、【決定】ボタンを押して入力します。

6 【無線LAN】を選択し、【決定】ボタンを押します。



7 接続方法を選択します。

- シンプルAPモードで接続する場合は、【シンプルAP】を【オン】に設定し、手順11へ進みます。



初めてシンプルAP接続するときは、【パスフレーズ】を設定する必要があります。画面の指示に従ってパスフレーズを設定してください。

- ・シンプルAPモードを使用せず、無線LANアクセスポイント経由で接続する場合は、次の手順へ進みます。

8 [アクセスポイント検索] を行って、接続する無線LANアクセスポイントを選択します。



手動でSSIDを割り当てるときは [SSID] を選択して、SSIDを入力します。

9 必要に応じてプロジェクターにIPアドレスを割り当てます。

- ・DHCPを使用できるネットワークの場合は、[IP設定] を選択し、[DHCP] を [オン] にします。
- ・DHCPを使用できないネットワークの場合は、[IP設定] を選択し、[DHCP] を [オフ] にして、プロジェクターの [IPアドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス] を入力します。

10 設定したSSIDやIPアドレスがLAN待機画面およびホーム画面に表示されないようにするには、[SSID表示] または [IPアドレス表示] を [オフ] に設定します。

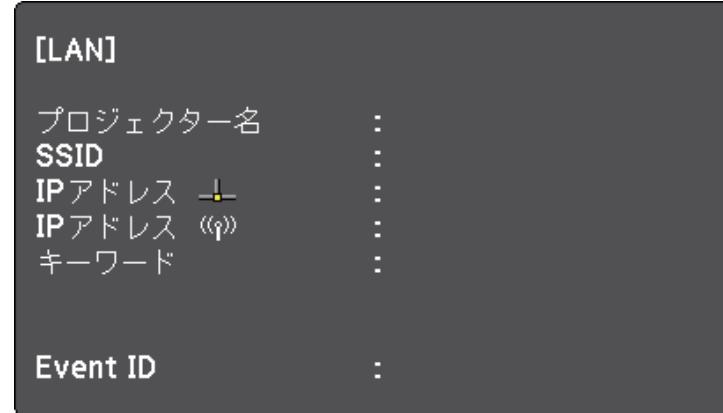
11 設定が終わったら、[設定完了] を選択します。画面の指示に従って設定を保存し、メニューを終了します。



[Web制御パスワード] が設定されていないときは、ネットワークの設定を保存する際にパスワードの設定を求められます。画面の指示に従ってパスワードを設定してください。

12 LAN待機画面が表示されるまでリモコンの【ワイヤレス】ボタンを押します。

LAN待機画面に正しいIPアドレスが表示されれば、設定完了です。



無線LAN設定が完了したら、コンピューターの無線LAN設定をしてください。ネットワークソフトウェアを起動して、無線LAN経由で映像をプロジェクターに送ります。

Windowsで無線LANを設定する

コンピューターとプロジェクターを接続するには、コンピューターで無線LAN設定をします。

- 1 Windowsタスクバーのネットワークアイコンをクリックし、無線ユーティリティソフトウェアを起動します。
- 2 プロジェクターが接続しているネットワークのネットワーク名(SSID)を選択します。
- 3 [接続] をクリックします。

Macで無線LANを設定する

コンピューターとプロジェクターを接続するには、コンピューターで無線LAN設定をします。

- 1 画面上部にあるメニューバーのWi-Fiアイコンをクリックします。
- 2 Wi-Fiがオンに設定されていることを確認し、プロジェクターが接続しているネットワークのネットワーク名 (SSID) を選択します。

無線LANのセキュリティを設定する (シンプルAPモードオン時)

プロジェクターの無線通信に使うセキュリティを設定できます。シンプルAPモードではWPA2-PSKセキュリティを使用します。



無線LANのネットワーク設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

- 1 【メニュー】ボタンを押し、[ネットワーク] を選択して、【決定】ボタンを押します。
- 2 [ネットワーク設定画面へ] を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 3 [無線LAN] を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 4 [シンプルAP] を選択して【決定】ボタンを押します。

- 5 [パスフレーズ] を選択し、【決定】ボタンを押して、パスフレーズを入力します。半角英数字8文字以上63文字以内で入力します。33文字以上の入力をするときは、Webブラウザーを使って入力します。

- 6 設定が終わったら、[設定完了] を選択します。画面の説明に従って設定を保存し、メニューを終了します。

無線LANのセキュリティを設定する (シンプルAPモードオフ時)

プロジェクターの無線通信に使うセキュリティを設定できます。無線LANの設定に合わせて、以下のいずれかのセキュリティを設定します。

- WPA3-PSKセキュリティ

- WPA2/WPA3-PSKセキュリティー
- WPA3-EAPセキュリティー
- WPA2/WPA3-EAPセキュリティー



無線LANのネットワーク設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

- 1 WPA3-EAPまたはWPA2/WPA3-PSKセキュリティーを設定する場合は、本機に対応した形式の証明書をUSBストレージのルートディレクトリーに格納します。
- 2 【メニュー】ボタンを押し、【ネットワーク】を選択して、【決定】ボタンを押します。
- 3 【ネットワーク設定画面へ】を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 4 【無線LAN】を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 5 【セキュリティー】を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 6 無線LANの設定に合わせて、セキュリティーを設定します。
- 7 選択したセキュリティーに応じて、以下のいずれかの操作をします。
 - [WPA3-PSK]、[WPA2/WPA3-PSK] の場合：[パスフレーズ] を選択し、【決定】ボタンを押して、パスフレーズを入力します。半角英数字8文字以上63文字以内で入力します。33文字以上の入力をするときは、Webブラウザーを使って入力します。手順16へ進みます。
 - [WPA3-EAP]、[WPA2/WPA3-EAP] の場合：[EAP設定] を選択し【決定】ボタンを押します。

- 8 [EAP種類] で認証プロトコルを選択します。



- 9 証明書の種類を選択し、【決定】ボタンを押します。

- ・ [クライアント証明書] : [EAP-TLS] 用のクライアント証明書
- ・ [CA証明書] : EAPのすべての種類用のCA証明書用をインポートします。



電子証明書はWebブラウザーからも設定できます。ただし、Webブラウザーとプロジェクターメニューの双方から証明書をインストールすると、正しくインストールされないことがあります。

- 10 [登録] を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 11 画面の指示に従って本機のUSB-A端子にUSBストレージを接続します。

- 12 【決定】ボタンを押して、証明書の一覧を表示します。

- 13 一覧からインポートする証明書を選択します。
パスワードの入力を求めるメッセージが表示されます。

- 14 証明書のパスワードを入力し、【決定】ボタンを押します。
証明書がインストールされ、完了メッセージが表示されます。

- 15 必要に応じてEAPセキュリティーを選択します。
- ・ [ユーザー名] : ユーザー名を入力します。半角英数字64文字以内で入力します。33文字以上の入力をするときは、Webブラウザーを使って入力します。クライアント証明書をインポートしたときは、証明書の発行先が自動で設定されます。
 - ・ [パスワード] : [PEAP] の認証用パスワードを入力します。半角英数字64文字以内で入力します。33文字以上の入力をするときは、Webブラウザーを使って入力します。
 - ・ [認証サーバー名] : 認証サーバー名を入力します。



- 16 設定が終わったら、[設定完了] を選択します。画面の説明に従って設定を保存し、メニューを終了します。

▶ 関連項目

- 「サポートするクライアント・CA証明書の一覧」 [p.88](#)
- 「ネットワーク設定 - 無線LANメニュー」 [p.130](#)

* パスワードは半角英数字で64文字以内で設定できます。33文字以上の入力をするときは、Webブラウザーを使って入力します。

サポートするクライアント・CA証明書の一覧

以下の種類の電子証明書を設定できます。

クライアント証明書 (EAP-TLS)

項目	説明
フォーマット	PKCS#12
拡張子	PFX、P12
暗号	RSA
ハッシュ	MD5/SHA-1/SHA-256/SHA-384/SHA-512
鍵長	512/1024/2048/4096 bit
パスワード*	設定が必要。64文字以内の半角英数字。

クライアント証明書 (PEAP/EAP-TLS)

項目	説明
フォーマット	X509v3
拡張子	DER/CER/PEM
暗号	RSA
ハッシュ	MD5/SHA-1/SHA-256/SHA-384/SHA-512
鍵長	512/1024/2048/4096 bit
エンコード	BASE64/バイナリー

QRコードを使用してモバイルデバイスに接続する

プロジェクトの無線LAN設定が完了したら、画面に投写されるQRコードをEpson iProjection (iOS/Android) で読み取って、スマートフォンやタブレット端末などのモバイルデバイスを接続できます。



- お使いのモバイルデバイスに、最新版のEpson iProjectionがインストールされていることを確認してください。
- Epson iProjectionは、App StoreまたはGoogle Playから無料でダウンロードできます。App Store、Google Playへ接続する際の通信料はお客様の負担となります。
- かんたんモードでEpson iProjectionを使うときは、セキュリティの設定をすることをお勧めします。

1 リモコンの【ワイヤレス】ボタンを押します。

QRコードが投写画面に表示されます。



- QRコードが表示されないときは、[ネットワーク] メニューの [LAN情報表示] を [テキストとQRコード] に設定します。
👉 [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [基本設定] > [LAN情報表示]
- QRコードを非表示にしたいときは、【戻る】ボタンを押してください。
- QRコードが表示されないときは、【決定】ボタンを押してください。

- モバイルデバイスにインストールされているEpson iProjectionを起動します。
- 投写されているQRコードをEpson iProjectionで読み取って、プロジェクターに接続します。



投写画面に近づいて、正面からQRコードを読み取ります。QRコードがモバイルデバイスのQRコードリーダーのガイド内に収まっていることを確認します。画面から離れすぎると、正しく読み取れないことがあります。

接続が完了したら、**三**から【コンテンツ】メニューを選択し、投写するファイルを選択してください。

USBキーを使って接続する（Windowsのみ）

USBメモリーをUSBキーとして設定し、無線LANに対応したWindowsコンピューターとプロジェクターを簡単に無線接続します。USBキーを使うと、お使いのコンピューターの無線LAN設定を自動で選択し、ワイヤレスに映像を投写できます。

- Epson iProjection (Windows)でUSBキーを設定します。



詳しくは『Epson iProjection操作ガイド (Windows/Mac)』をご覧ください。

- 本機の電源を入れます。

- LAN待機画面が表示されるまでリモコンの【ワイヤレス】ボタンを押します。
- LAN待機画面が表示されます。SSIDおよびIPアドレスが表示されていることを確認します。
- USBキーをプロジェクターのUSB-A端子に接続します。
- ネットワーク情報の更新が始まり、完了したことを通知するメッセージが表示されます。
- USBキーを取り外します。
- コンピューターのUSB端子にUSBキーを接続します。
- 画面の指示に従って、必要なアプリケーションのインストールを進めます。



- Windowsファイアウォールのメッセージが表示されたときは、【はい】をクリックしてファイアウォールを無効にします。
- コンピューターにソフトウェアをインストールするには、管理者権限が必要です。
- 自動的にインストールされないときは、USBキー内の【MPPLaunch.exe】をダブルクリックします。

しばらくすると、コンピューターの映像がプロジェクターから投写されます。

- 8 投写が終了したら、Windowsタスクバーの「ハードウェアの安全な取り外し」を選択し、コンピューターからUSBキーを取り外します。



USBキーを使用する前に接続していたアクセスポイントに接続するには、コンピューターの再起動が必要になることがあります。

Miracastを搭載したノートパソコン、スマートフォン、タブレットPCなどのモバイルデバイスからプロジェクターに映像を送信できます。

Miracastに準拠しているデバイスであれば、ソフトウェアを追加でインストールする必要はありません。Windowsコンピューターをお使いのときは、Miracast接続に必要なアダプターが利用可能なことを確認してください。

Miracast機能を使用するときは、以下の制限事項があります。

- ・インターレース映像は再生できません。
- ・3チャンネル以上のマルチチャンネルオーディオは再生できません。
- ・解像度1920×1080、フレームレート30fpsを超える映像は投写できません。
- ・3D映像は再生できません。
- ・本機では、著作権保護されたコンテンツはMiracast接続では再生できません。
- ・Miracastでの投写中にMiracastの設定は変更しないでください。設定を変更すると、接続が切断され、再接続までに時間がかかることがあります。
➡ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [無線LAN] > [Miracast]
- ・Miracastでの投写中は、電源ブレーカーで直接本機の電源を切らないでください。



- ・Miracastは、主にAndroid端末やWindows 8.1以降のWindowsに搭載されています。デバイスによって、Miracastを搭載していないことがあります。お使いのAndroid端末の取扱説明書をご確認ください。
- ・[Web制御パスワード]が設定されていないときは、ネットワークの設定を保存する際にパスワード設定を求められます。画面の指示に従ってパスワードを設定してください。

▶ 関連項目

- ・「Miracastを設定する」 p.91
- ・「Miracast接続する」 p.92

Miracastを設定する

モバイルデバイスから映像を投写するには、プロジェクターのMiracastを設定します。

- 1 【メニュー】ボタンを押し、[ネットワーク]を選択して、【決定】ボタンを押します。



- 2 [ネットワーク設定画面へ]を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 3 [無線LAN]を選択して【決定】ボタンを押します。

- 4 [シンプルAP]を選択して【決定】ボタンを押します。

5 [シンプルAP] を [オン] に設定します。



[パスフレーズ] が設定されていないときは、[パスフレーズ] を設定する画面が表示されます。画面の指示に従って [パスフレーズ] を設定してください。

6 [無線LAN] の画面に戻り、[Miracast] を選択し、【決定】ボタンを押します。

7 [Miracast] を [オン] に設定します。



8 必要に応じて設定を変更します。

- ・ [アクセス制御] : Miracastでのほかのユーザーによる投写の許可を確認するかどうかを選択します。
- ・ [セカンダリ接続] : Miracast接続中に接続を試みるデバイスの接続動作を選択します。

- ・ [パフォーマンス調整] : Miracastの映像表示速度および品質を調整します。品質を上げるには小さい値を選択し、速度を上げるには大きい値を選択します。
- ・ [Miracast情報表示] : Miracastの情報を表示するかどうか選択します。

9 設定が終わったら、[設定完了] を選択します。画面の指示に従つて設定を保存し、メニューを終了します。



[Web制御パスワード] が設定されていないときは、ネットワークの設定を保存する際にパスワードの設定を求められます。画面の指示に従ってパスワードを設定してください。

10 リモコンの【ホーム】ボタンを押して、ホーム画面にディスプレイ名が表示されれば設定完了です。

Miracast接続する

Miracastが搭載されたスマートフォンなどのモバイルデバイスをお使いのときは、Miracast機能を使ってワイヤレスに映像を投写できます。Miracastで接続すると、映像と音声を本機から出力できます。

1 必要に応じて本機の [Miracast] 設定を設定します。

2 リモコンの【ワイヤレス】ボタンを押して、Miracastソースに切り替えます。

Miracast待機画面が表示されます。

3 モバイルデバイスでMiracast機能を使用してプロジェクターを検索します。

接続可能なデバイスの一覧が表示されます。

4 一覧から本機のディスプレイ名を選択します。

プロジェクトにMiracast投写を許可するかどうかの確認画面が表示されたときは、画面に表示されている端末名を確認し、投写を許可するかどうか選択します。

モバイルデバイスからの映像がプロジェクトに表示されます。



- 接続が確立されるまで時間がかかることがあります。接続が完了するまでプロジェクターの電源コードを抜かないでください。電源コードを抜くと、デバイスが反応しなくなったり、誤作動する原因になります。
- モバイルデバイスによっては、接続時にデバイスの削除が必要になることがあります。モバイルデバイスの画面の指示に従って操作してください。
- Miracast投写の確認画面で【ブロックリストに登録】にチェックを入れて【いいえ】を選択すると、端末名とIPアドレスがブロックリストに登録されます。
- ブロックリストに登録された端末名では、Miracast接続の待ち受け画面が表示されたままで、映像が投写されません。ブロックリストは一覧で表示することはできません。以下の方法でブロックリストを全削除してください。
 - ホーム画面で【ブロックリスト削除】を選択する
 - 本機の電源をオフにする
 - ネットワーク設定を更新する
 - 待ち受け画面で【決定】ボタンを押して表示された画面で【はい】を選択する

Windows 10でMiracast接続する

お使いのコンピューターでワイヤレスに映像を投写するための設定ができます。Miracastで接続すると、映像と音声を本機から出力できます。

1 必要に応じて本機の【Miracast】設定を設定します。

2 リモコンの【ワイヤレス】ボタンを押して、Miracastソースに切り替えます。

Miracast待機画面が表示されます。

3 コンピューターで【アクションセンター】を表示し、【接続】を選択します。



接続可能なデバイスの一覧が表示されます。

▶ 関連項目

- 「Windows 10でMiracast接続する」 [p.93](#)
- 「Windows 11でMiracast接続する」 [p.94](#)

- 4 一覧から本機のディスプレイ名を選択します。



- 5 プロジェクターにMiracast投写を許可するかどうかの確認画面が表示されたときは、画面に表示されている端末名を確認し、投写を許可するかどうか選択します。

コンピューターからの映像がプロジェクターに表示されます。



接続が確立されるまで時間がかかることがあります。接続が完了するまでプロジェクターの電源コードを抜かないでください。電源コードを抜くと、デバイスが反応しなくなったり、誤作動する原因になります。

Windows 11でMiracast接続する

お使いのコンピューターでワイヤレスに映像を投写するための設定ができます。Miracastで接続すると、映像と音声を本機から出力できます。

- 1 必要に応じて本機の [Miracast] 設定を設定します。

- 2 リモコンの【ワイヤレス】ボタンを押して、Miracastソースに切り替えます。

ネットワーク情報画面が表示されます。

- 3 コンピューターのタスクバーでスピーカーのアイコンをクリックします。

- 4 [キャスト] をクリックします。

接続可能なデバイスの一覧が表示されます。



[キャスト] が表示されない場合や、その他のメッセージが表示される場合は、コンピューターに付属の取扱説明書をご覧ください。

- 5 一覧から本機のプロジェクターナー名を選択します。

- 6 プロジェクターにMiracast投写を許可するかどうかの確認画面が表示されたときは、画面に表示されている端末名を確認し、投写を許可するかどうか選択します。

コンピューターからの映像がプロジェクターに表示されます。



接続が確立されるまで時間がかかることがあります。接続が完了するまでプロジェクターの電源コードを抜かないでください。電源コードを抜くと、デバイスが反応しなくなったり、誤作動する原因になります。

AirPlayに対応しているAppleデバイスを使って、プロジェクトでビデオや音楽、写真などのメディアをストリーミングすることができます。また、Appleデバイスの画面全体をミラーリングして表示することもできます。

本機はHomeKitに対応しています。プロジェクトをAppleデバイスのHomeKitに登録すると、AppleデバイスのApple Home appでプロジェクトの操作ができるようになります。



- 無線LANでネットワークに接続している場合は、[拡張設定] メニューで [A/V出力設定] の [A/V出力] を [常時] に設定すると、本機がスタンバイ状態（電源オフ）のときも、AirPlayの接続ができます。
- AirPlay利用可能にするには、インターネットに接続する必要があります。[ネットワーク] メニューでネットワークの設定をしてください。インターネットに接続したことがない場合は、AirPlayの接続を試みたときにネットワークの設定が必要である旨の画面が表示されます。
- AirPlayを使用する場合は、DNSサーバーを設定している必要があります。使用しているネットワークに応じて [無線LAN] メニューの [IP設定] で [DHCP] を [オン] に設定してください。[DHCP] を [オフ] に設定している、またはDNSサーバーのアドレスを別に設定したい場合は、[DNSサーバー1] または [DNSサーバー2] でIPアドレスを入力してください。
👉 [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [無線 LAN]
- 最大の表示解像度は1920×1080です。
- 著作権保護されたコンテンツはAirPlayで再生できないことがあります。
- 音声は最大2チャンネル、サンプリング周波数44.1kHzまで対応します。

▶ 関連項目

- 「AirPlayの設定をする」 [p.95](#)
- 「AirPlay接続でメディアをストリーミング/ミラーリングする」 [p.97](#)

AirPlayの設定をする

AirPlayを使用する場合は、使用するAppleデバイスとプロジェクトが同じネットワークを使用していることを確認してください。

AirPlayの設定は、プロジェクトのAirPlayとHomeKitの設定画面から行います。



- プロジェクトに設定された日時にずれがある場合、AirPlayが途中で切斷されることがあります。[拡張設定] メニューの [日付 & 時刻] と [夏時間設定] で正しい日時を設定してください。
👉 [拡張設定] > [動作設定] > [日付 & 時刻]
- AirPlay使用時の待機画面などで約10分間操作がない場合に、パネルの焼き付き防止のため画面が黒くなることがあります。

1

入力ソースを AirPlay以外にします。

- 2 【メニュー】ボタンを押し、【ネットワーク】を選択して、【決定】ボタンを押します。



- 3 【ネットワーク】メニューで【AirPlayとHomeKit】を選択し、【決定】ボタンを押す。

AirPlayとHomeKitの設定画面が表示されます。



- 4 AirPlayをオンにします。



- 入力ソースがAirPlayのときは、【ネットワーク】メニューで【AirPlayとHomeKit】を選択できません。設定を変更したい場合は、一度Appleデバイスで再生を停止してください。表示される以下の画面からAirPlayとHomeKitの設定画面を表示してください。



- AirPlayをオフにしているときは、入力ソースをAirPlayにするとAirPlayとHomeKitの設定画面が表示されます。

5 必要に応じて他の設定を変更します。

HomeKitに登録する場合は、投写されるQRコードをAppleデバイスで読み取ります。

HomeKitに登録すると、AppleデバイスのHome appでプロジェクトターの操作やデバイス名の変更ができるようになります。



AirPlay使用時の待機画面などで約10分間操作がない場合に、パネルの焼き付き防止のため画面が黒くなることがあります。

1

AppleデバイスでAirPlay接続するメディアを選択し、AirPlayアイコン (◀または⟳) を選択します。

ミラーリングする場合は、コントロールセンターを開いて画面ミラーリングアイコン (□) を選択します。



Home appでデバイス名を変更するときは、ソフトキーボードで入力可能な文字だけが使用できます。他の文字は使用できません。

► 関連項目

- 「ソフトキーボードで入力可能な文字」 p.117

AirPlay接続でメディアをストリーミング/ミラーリングする

AirPlayに対応しているAppleデバイスをお使いのときは、プロジェクトターでビデオや音楽、写真などのメディアをストリーミングすることができます。また、Appleデバイスの画面全体をミラーリングして表示することもできます。

- 2 Appleに表示されたリストからプロジェクターのデバイス名を選択します。



- プロジェクターのデバイス名を確認する場合は、Appleデバイスでメディアの再生を停止し、リモコンの【ワイヤレス】ボタンを押し続けると表示される以下の画面で確認してください。ホーム画面またはLAN待機画面でも確認できます。



AirPlay
iPhone、iPad、またはMacからコンテンツをワイヤレスで共有します
このデバイスを選択
EB070E90
AirPlayの利用方法 >
AirPlayとHomeKitの設定 >
MacまたはiOSデバイスがこのデバイスと同じWi-Fiネットワークに接続されていることを確認してください。詳しくは apple.com/jp/airplay をご覧ください

- 3 4桁のPINコードが投写された場合は、Appleデバイスで入力します。メディアのストリーミングまたはAppleデバイス画面のミラーリングが始まります。



ストリーミングしている場合は、プロジェクターのリモコンで再生、一時停止、早送り、早戻し、音量の変更、ミュートができます。

- 4 AirPlay接続を終了するときは、【戻る】ボタンを押します。接続開始前の画面が投写されます。



- Appleデバイス側で接続先の変更操作や、ミラーリング停止操作を行ってもAirPlay接続を終了できます。
- プロジェクターのホーム画面を表示させるなど、AirPlay再生中の画面から他の画面に切り替えるとAirPlay接続が終了します。



HTTPSプロトコルを用いて、プロジェクトとWebブラウザー間の通信のセキュリティーを強固にできます。HTTPSプロトコルを用いたセキュリティーを適用するには、Webブラウザーから信頼性を検証できるサーバー証明書を作成してプロジェクトにインストールし、[セキュアHTTP]設定をオンにします。

● [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [その他] > [セキュアHTTP]

サーバー証明書がないときは、プロジェクト内部で自己署名証明書を自動作成して通信します。自己署名証明書はWebブラウザーから信頼性を検証できないため、Webブラウザーからプロジェクトにアクセスしたときにサーバーの信頼性に関する警告が表示されます。この警告を無視することで通信を継続できます。

▶ 関連項目

- 「メニューからWebサーバー証明書を設定する」 p.99

メニューからWebサーバー証明書を設定する

プロジェクトメニューとUSBメモリーを使って、作成したWebサーバー証明書を本機にインストールします。



電子証明書はWebブラウザーからも設定できます。ただし、Webブラウザーとプロジェクトメニューの双方から証明書をインストールすると、正しくインストールされないことがあります。

- 1 本機に対応した形式の証明書をUSBストレージのルートディレクトリーに格納します。
- 2 【メニュー】ボタンを押し、[ネットワーク]を選択して、【決定】ボタンを押します。

3 [ネットワーク設定画面へ]を選択し、【決定】ボタンを押します。

4 [その他]を選択し、【決定】ボタンを押します。



5 [セキュアHTTP]を[オン]に設定します。

6 [Webサーバー証明書]を選択し、【決定】ボタンを押します。

7 [登録]を選択し、【決定】ボタンを押します。

8 画面の指示に従って本機のUSB-A端子にUSBストレージを接続します。

9 【決定】ボタンを押して、証明書の一覧を表示します。

10 一覧からインポートする証明書を選択します。
パスワードの入力を求めるメッセージが表示されます。

11 証明書のパスワードを入力し、【決定】ボタンを押します。
証明書がインストールされ、完了メッセージが表示されます。

▶ 関連項目

- 「サポートするWebサーバー証明書の一覧」 [p.100](#)

サポートするWebサーバー証明書の一覧

以下の種類の電子証明書を設定できます。

Webサーバー証明書（セキュアHTTP）

項目	説明
フォーマット	PKCS#12
拡張子	PFX、P12
暗号	RSA
ハッシュ	MD5/SHA-1/SHA-256/SHA-384/SHA-512
鍵長	512/1024/2048/4096 bit
Common Name	ネットワークホスト名
Organization	任意
パスワード*	設定が必要。64文字以内の半角英数字。

* パスワードは半角英数字で64文字以内で設定できます。33文字以上の入力をするときは、Webブラウザを使って入力します。

プロジェクターを監視および制御する

ネットワーク経由でプロジェクターの監視と制御を行う方法について説明します。

▶ 関連項目

- ・「Epson Projector Management Connected / Epson Projector Management」 [p.102](#)
- ・「Webブラウザーを使ってネットワークプロジェクターを制御する」 [p.103](#)
- ・「Webブラウザーで証明書を設定する」 [p.107](#)
- ・「メールでプロジェクターの異常を通知する」 [p.108](#)
- ・「SNMPを使ってプロジェクターを監視する」 [p.110](#)
- ・「プロジェクターのイベントスケジュールを設定する」 [p.111](#)
- ・「Web API」 [p.114](#)

Epson Projector Management ConnectedとEpson Projector Managementは、ネットワークに接続されたプロジェクターの状態を監視したり、制御するためのソフトウェアです。

Epson Projector Management Connectedはプロジェクター情報をクラウドサーバー上で管理するため、どんなデバイスからでも遠隔で監視・制御が可能です。

Epson Projector ManagementはWindows専用ソフトウェアで、コンピューターから同一ネットワーク内のプロジェクターの監視・制御が可能です。お客様の使用環境や使用目的に応じていずれかをお選びください。詳しくは以下Webサイトにアクセスしてご確認ください。

<https://www.projection-service.epson.com/epm-connected/>



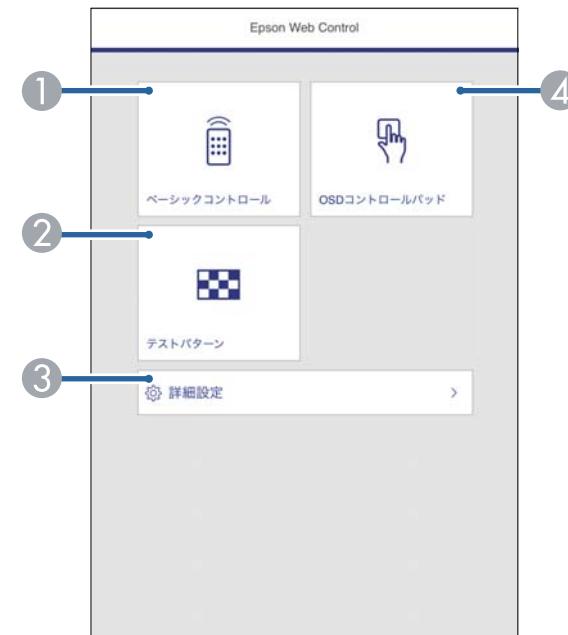
- プロジェクター登録時の認証方法は、Epson Projector Managementのバージョンによって異なります。
 - Ver.5.30またはそれ以前：Monitorパスワード
 - Ver.5.40またはそれ以降：Web制御パスワード最良の結果を得るには、最新バージョンのEpson Projector Managementを使用することをお勧めします。
- [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [その他]
 - [A/V出力] を [投写時] に設定している場合は、本機がスタンバイ状態のときにEpson Projector Management Connected / Epson Projector Managementで監視・制御ができなくなります。

コンピューターのWebブラウザーを使って、ネットワークに接続されたプロジェクターのメニュー設定や制御ができます。遠隔からの操作に適しています。



- コンピューターとプロジェクターをネットワークに接続できる状態にしておきます。無線LANで接続するときは、無線LANアクセスポイント経由で接続してください。
- 以下のWebブラウザーを使用できます。
 - Microsoft Edge (Windows)
 - Safari (Mac、iOS)
 - Chrome (Android)
- 無線LANでネットワークに接続している場合は、[拡張設定]メニューで[A/V出力設定]の[A/V出力]を[常時]に設定すると、本機がスタンバイ状態（電源オフ）のときも、Webブラウザーを使って設定や制御ができます。
👉 [拡張設定] > [A/V出力設定] > [A/V出力]
- お使いのWebブラウザーで、接続にプロキシサーバーを使用しないように設定してください。メニュー設定の中には、Webブラウザーからは設定できない項目があります。

- 1 本機の電源がオンになっていることを確認します。
- 2 お使いの機器を、接続先のプロジェクターと同じネットワークに接続します。
- 3 お使いの機器でWebブラウザーを起動します。
- 4 ブラウザーのアドレス入力部にプロジェクターのIPアドレスを入力し、Epson Web Control画面に接続します。
Epson Web Control画面が表示されます。



- 1 本機をリモート操作します。
- 2 テストパターンを表示します。
- 3 本機の詳細設定をします。
- 4 指やマウスで本機のメニューを操作します。

5 操作したい項目を選択します。

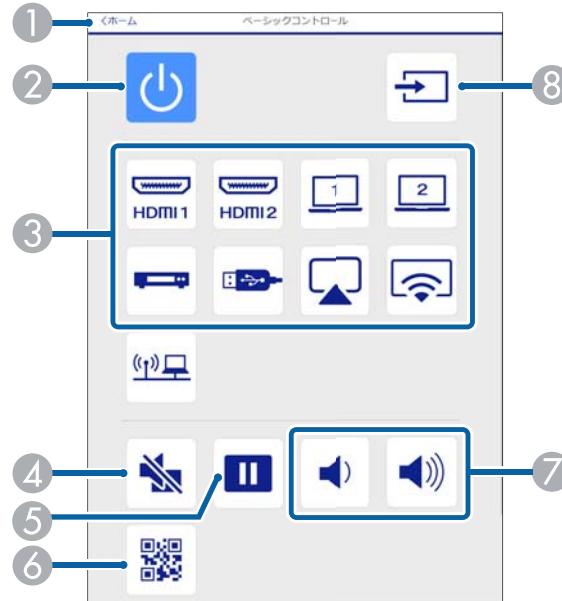


[Epson Web Control] 画面のオプション設定をするためにログインを求められる場合があります。あらかじめ以下のパスワードを設定してください。

- ・ [ベーシックコントロール] にアクセスするときは、ユーザー名 **EPSONREMOTE** と [Remote/パスワード] を入力します。(デフォルトのパスワードは設定されていません。)
[ネットワーク] メニューで [ベーシックコントロール] を [オン] にして、パスワードを設定してください。
- ・ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [その他] > [ベーシックコントロール]
- ・ その他の画面にアクセスして設定を保存するときは、ユーザー名 **EPSONWEB** と [Web制御パスワード] を入力します。(デフォルトのパスワードは設定されていません。)
[ネットワーク] メニューでパスワードを設定してください。
- ・ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [基本設定] > [Web制御パスワード]

Web Controlのオプション設定

ベーシックコントロール

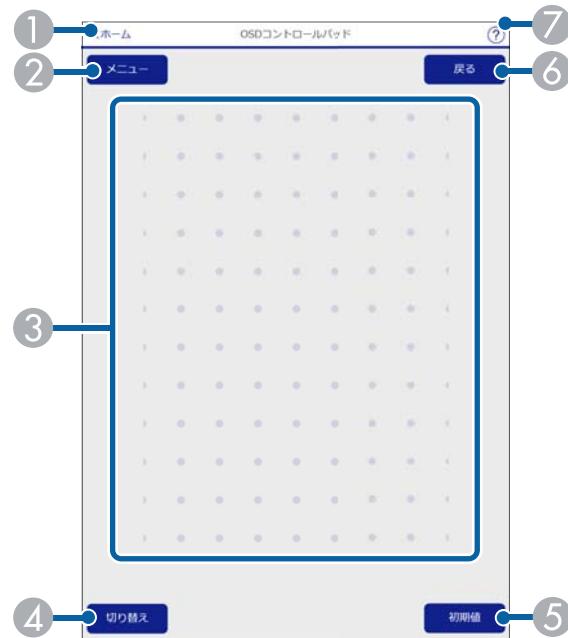


- ① Epson Web Controlのホーム画面に移動します。
- ② 本機の電源をオン/オフします。
- ③ 入力ソースを選択します。
- ④ 映像と音声を一時的に遮断します。
- ⑤ 映像を一時停止/解除します。
- ⑥ QRコードを表示します。
- ⑦ スピーカーの音量を調整します。
- ⑧ 映像の入力を検出します。

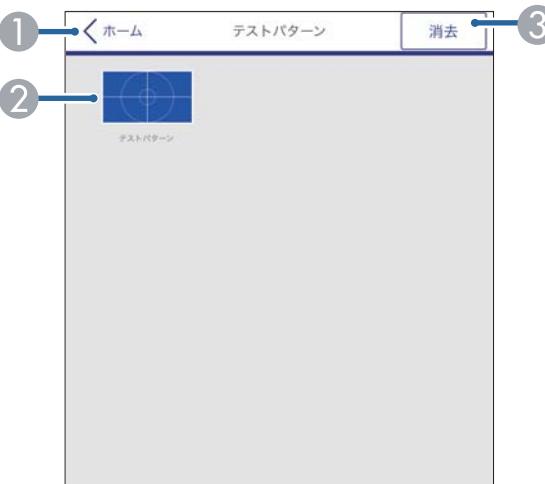
関連項目

- ・ 「Web Controlのオプション設定」 [p.104](#)
- ・ 「節電メニュー」 [p.138](#)
- ・ 「ネットワークメニュー - 基本設定メニュー」 [p.128](#)

OSDコントロールパッド



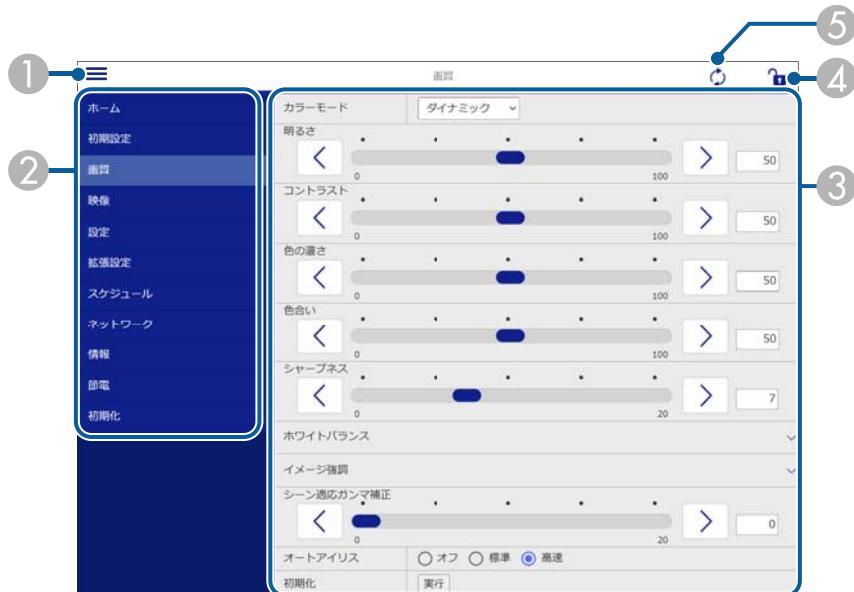
テストパターン



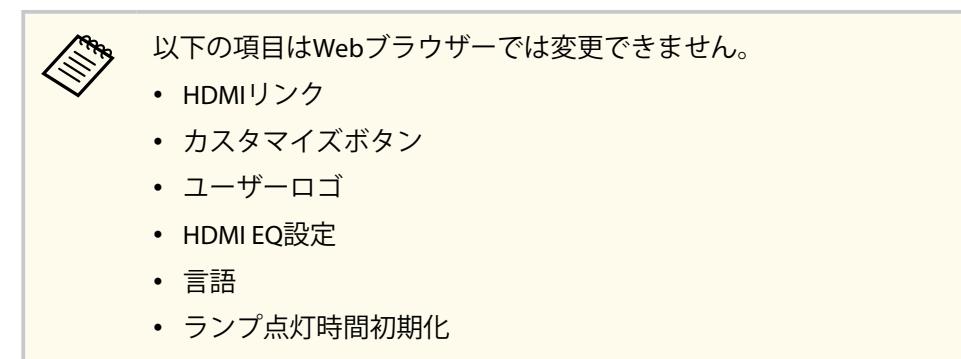
- ① Epson Web Controlのホーム画面に移動します。
- ② 表示可能なテストパターン一覧から、表示したいパターンを選択します。
- ③ テストパターンの表示を終了します。

- ① Epson Web Controlのホーム画面に移動します。
- ② 本機のメニューを表示します。
- ③ 指やマウスでメニューを操作します。
- ④ 操作方法をボタン操作に切り替えます。
- ⑤ 選択した設定を初期値に戻します。
- ⑥ 前のメニュー項目に戻ります。
- ⑦ ヘルプを表示します。

[詳細設定]



- ① メニューを開きます。
- ② 選択しているメニュー名を表示します。
- ③ 本機の設定をします。
- ④ 本機の設定をロックまたはアンロックします。
- ⑤ 本機の設定を更新します。



セキュリティ設定に用いる電子証明書を本機に設定します。



本機への電子証明書のインストールは、[ネットワーク] メニューからも行うことができます。ただし、Webブラウザーとプロジェクターメニューの双方から証明書をインストールすると、正しくインストールされないことがあります。

- ☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [無線LAN] > [EAP設定] > [クライアント証明書]
- ☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [無線LAN] > [EAP設定] > [CA証明書]
- ☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [その他] > [Webサーバー証明書]

1 本機に対応した形式の証明書を用意します。

2 本機の電源がオンになっていることを確認します。

3 ネットワークに接続されているコンピューターまたはモバイルデバイスでWebブラウザーを起動します。

4 ブラウザーのアドレス入力部にプロジェクターのIPアドレスを入力し、Epson Web Control画面に接続します。

Epson Web Control画面が表示されます。

5 [詳細設定] を選択します。



- 詳細設定画面を表示するには、ログインが必要です。ログイン画面が表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力します。(ユーザー名は**EPSONWEB**です。デフォルトのパスワードは設定されていません。)
- パスワードは、[ネットワーク] メニューの [Web制御パスワード] で変更できます。
 - ☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [基本設定] > [Web制御パスワード]

6 [ネットワーク] から [証明書] を選択します。

7 登録する証明書を選択します。

8 [パスワード] ボックスにパスワードを入力し、[送信] をクリックします。

9 設定が終了したら、[反映] をクリックします。

プロジェクターが異常/警告状態になったとき、異常状態が電子メールで通知されるようにメール通知機能を設定できます。

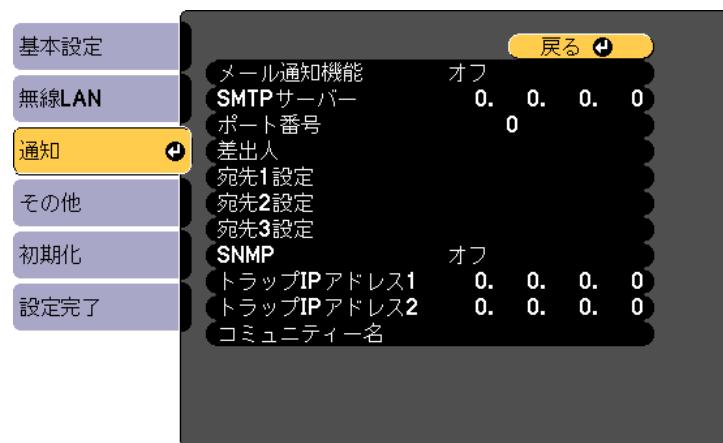
無線LANでネットワークに接続している場合は、[拡張設定] メニューで [A/V出力設定] の [A/V出力] を [常時] に設定すると、本機がスタンバイ状態（電源オフ）のときも、Webブラウザーを使って設定や制御ができます。

👉 [拡張設定] > [A/V出力設定] > [A/V出力]

1 【メニュー】ボタンを押し、【ネットワーク】を選択して、【決定】ボタンを押します。

2 【ネットワーク設定画面へ】を選択し、【決定】ボタンを押します。

3 【通知】を選択し、【決定】ボタンを押します。



4 [メール通知機能] を [オン] に設定します。

5 [SMTPサーバー] にIPアドレスを入力します。



127.x.x.xのIPアドレスは使用できません（xは0～255の数値）。

6 [ポート番号] にSMTPサーバーのポート番号を1～65535の数値で入力します（デフォルトは25）。

7 送信者として表示されるメールアドレスを [差出人] に入力します。

8宛先を選択し、メールアドレスとメール通知する異常/警告の種類を選択します。宛先は3つまで設定できます。



メールアドレスは半角英数字64文字以内で入力します。33文字以上の入力をするときは、Webブラウザーを使って入力します。

9 設定が終わったら、[設定完了] を選択します。画面の指示に従つて設定を保存し、メニューを終了します。



本機に致命的な異常が発生し、瞬時に起動停止状態になったときは、メールを送信できないことがあります。

▶ 関連項目

- ・「異常通知メールの見方」 p.109
- ・「拡張設定メニュー」 p.124

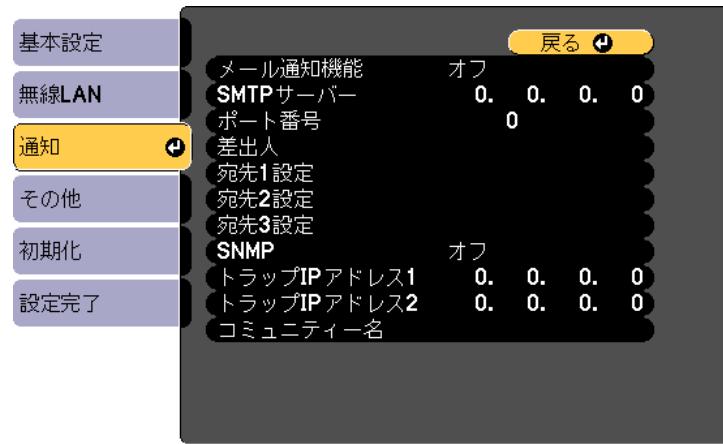
異常通知メールの見方

通知メールを送信する設定をしているとき、本機が異常/警告状態になると、以下の情報を含むメールが送信されます。

- ・メール差出人： [差出人] のメールアドレス
- ・メール件名： [Epson Projector]
- ・1行目：異常が生じたプロジェクター名
- ・2行目：異常が生じたプロジェクターのIPアドレス
- ・3行目：異常の内容

コンピューターにSNMP（Simple Network Management Protocol）ソフトウェアをインストールして、プロジェクターを監視できます。SNMPによる管理は、ネットワーク管理者が行います。SNMPソフトウェアを使用するときは、本機のSNMP設定をします。

- 【メニュー】ボタンを押し、【ネットワーク】を選択して、【決定】ボタンを押します。
- 【ネットワーク設定画面へ】を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 【通知】を選択し、【決定】ボタンを押します。



- [SNMP] を [オン] にします。
- SNMPの【コミュニティ名】を半角英数字32文字以内で入力します。

- トラップIPアドレスに、SNMP通知を受信するIPアドレスを入力します。0～255の数字を入力します。



以下のアドレスは使用できません。224.0.0.0～255.255.255.255 (xは0～255の数字)。本機のSNMPエージェントはバージョン1 (SNMPv1) に対応しています。

- 設定が終わったら、【設定完了】を選択します。画面の指示に従って設定を保存し、メニューを終了します。

プロジェクターの電源オン/オフや入力ソースの切り替えなど、最大30件のイベントをプロジェクターにスケジュール登録できます。設定した日時に選択したイベントが自動的に実行されます。

⚠ 警告

燃えやすいものをプロジェクターのレンズの前に置かないでください。スケジュール機能によりプロジェクターの電源が自動でオンになり、火災の原因となることがあります。



- ・ パスワードプロテクト画面で【スケジュール保護】をオンにしているときは、事前に【スケジュール保護】をオフにします。

1 [日付&時刻] メニューで日時を設定します。
☞ [拡張設定] > [動作設定] > [日付&時刻]

2 【メニュー】ボタンを押し、[拡張設定]を選択して、【決定】ボタンを押します。

3 [スケジュール設定画面へ]を選択し、【決定】ボタンを押します。

4 [スケジュール] を選択し、【決定】ボタンを押します。

5 [新規追加] を選択し、【決定】ボタンを押します。



6 イベント実行時のプロジェクターの動作内容を設定します。



- 7 イベントを実行する日付や曜日、時刻を選択します。



- 8 【保存】を選択し、【決定】ボタンを押します。

登録したイベントが画面に表示されます。イベントのステータスや時刻はアイコンやインジケーターで示されます。



① : 有効なイベント

: 定期的なイベント

: 無効なイベント

② 選択している日付（黄色で強調表示）

③ : 1回限りのイベント

: 定期的なイベント

: 通信監視のオン/オフ

: 無効なイベント

- 9 登録されているイベントを編集するには、イベントを選択し、【戻る】ボタンを押します。

10 表示されたメニューから操作を選択します。

- ・ [有効] / [無効]：選択したイベントを有効または無効にできます。
- ・ [編集]：イベントの動作内容または日時を変更できます。
- ・ [削除]：登録したイベントを一覧から削除できます。

11 [設定完了] を選択して、[はい] を選択します。

登録したイベントをすべて削除するには、[スケジュール初期化] を選択します。

► 関連項目

- ・ 「日時を設定する」 [p.36](#)
- ・ 「パスワードの設定」 [p.75](#)

詳しくは『プロジェクト用Web API仕様書』をご覧ください。



- Web API通信には、API認証（Digest認証）を使用できます。
- API認証のユーザー名は**EPSONWEB**、パスワードは【Web制御パスワード】で設定されているパスワードを入力してください。
👉 [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [基本設定] > [Web制御パスワード]

▶ 関連項目

- 「Web APIを有効にする」 [p.114](#)

Web APIを有効にする

Web APIはプロジェクトのメニューから有効にできます。

- 1 【メニュー】ボタンを押し、[ネットワーク]を選択して、【決定】ボタンを押します。
- 2 [ネットワーク設定画面へ]を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 3 [その他]を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 4 [Web API設定]を選択します。
- 5 [Web API]を【オン】にします。
- 6 設定が終わったら、[設定完了]を選択します。画面の指示に従って設定を保存し、メニューを終了します。

メニューの設定

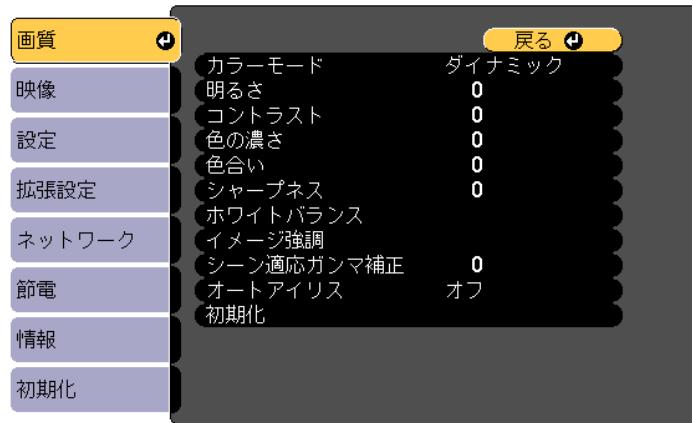
プロジェクトメニューの機能と設定について説明します。

▶ 関連項目

- ・「プロジェクトメニューを操作する」 [p.116](#)
- ・「ソフトキーボードを操作する」 [p.117](#)
- ・「画質メニュー」 [p.118](#)
- ・「映像メニュー」 [p.120](#)
- ・「設定メニュー」 [p.121](#)
- ・「拡張設定メニュー」 [p.124](#)
- ・「ネットワークメニュー」 [p.127](#)
- ・「節電メニュー」 [p.138](#)
- ・「情報メニュー」 [p.140](#)
- ・「初期化メニュー」 [p.144](#)
- ・「メニュー設定を別のプロジェクトにコピーする（一括設定機能）」 [p.145](#)

投写画面に表示されるメニューを使って、本機の各種動作を設定します。

- 1** 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
[画質] メニューが表示されます。



- 2** 上下ボタンを押して、左側に表示されるメニュー項目を選択します。各メニューの設定が右側に表示されます。



現在投写している入力ソースによって設定できる項目が異なります。

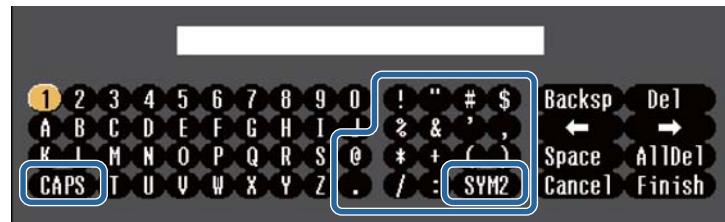
- 3** 設定を変更するには、【決定】ボタンを押します。
- 4** 上下ボタンを押して、設定項目を選択します。
- 5** メニュー画面の下に表示されるナビゲーションに従って、設定を変更します。
- 6** メニュー設定をすべて初期値に戻すには、[初期化] を選択します。

- 7** メニューの設定が終わったら、【戻る】ボタンを押します。

- 8** 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。

数字や文字の入力が必要なときはソフトキーボードが表示されます。

- 1 リモコンまたは操作パネルの上下左右ボタンを使って、入力する数字や文字を選択し、【決定】ボタンを押します。



CAPSキーを選択すると、大文字小文字が切り替わります。
SYM1/2キーを選択すると、枠に囲まれている記号が変わります。

- 2 テキストの入力後、キーボードのFinishを選択して入力を確定します。Cancelを選択すると、テキストの入力を取り消します。



コンピューターのWebブラウザーを使って、ネットワークに接続されたプロジェクトの設定や制御ができます。
プロジェクトメニューのソフトキーボードでは入力できない文字があります。ソフトキーボードで入力できない文字はWebブラウザーを使って入力してください。

▶ 関連項目

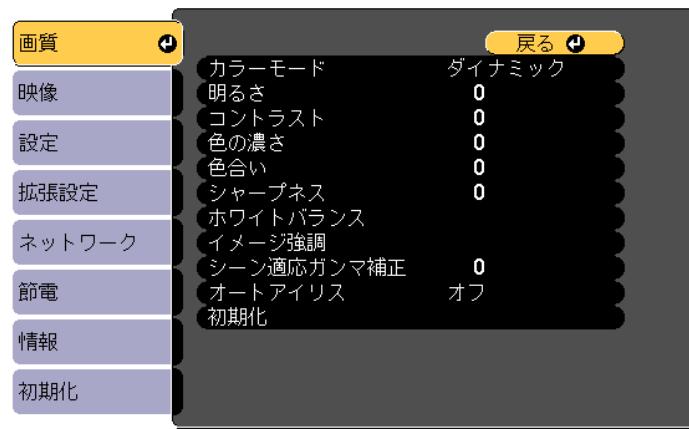
- 「ソフトキーボードで入力可能な文字」 [p.117](#)
- 「Webブラウザーを使ってネットワークプロジェクトを制御する」 [p.103](#)

ソフトキーボードで入力可能な文字

ソフトキーボードでは、以下の文字を入力できます。

文字タイプ	詳細
数字	0123456789
アルファベット	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
記号	!"#\$%&'()*+,-./:;<=>?@[\\]^_`{ }~

[画質] メニューでは、現在投写している入力ソースの映像の画質を調整できます。現在投写している入力ソースによって設定できる項目が異なります。



設定を変更するには、変更したい入力ソースの映像が投写されていることを確認してください。

設定	選択肢	説明
カラー モード	カラー モードの一覧を参照	映像の種類や使用環境に応じて、適切なカラー モードを選択します。
明るさ	レベル調整	映像の明るさを調整します。
コントラスト	レベル調整	映像のコントラストを調整します。
色の濃さ	レベル調整	映像の色の濃さを調整します。
色合い	レベル調整	映像の色合いを調整します。
シャープネス	レベル調整	映像のシャープ感を調整します。
ホワイトバランス		映像全体の色合いを調整します。

設定	選択肢	説明
	色温度	[色温度] : 選択したカラー モードに応じて設定します。値を高くすると青みがかった映像になり、値を低くすると赤みがかった映像になります。
	カスタム	[カスタム] : R (赤)、G (緑)、B (青) の各色ごとにオフセットとゲインを調整します。
イメージ強調		映像全体の鮮やかさを調整します。
	ノイズリダクション	[ノイズリダクション] : アナログ映像のざらつきを抑えます。
	プログレッシブ変換 (インターレース 信号[480i/576i/ 1080i]入力時)	[プログレッシブ変換] : インターレース信号をプログレッシブ信号に変換します。 <ul style="list-style-type: none"> [オフ] : 動きの速いビデオ映像に適しています。 [ビデオ] : 一般的なビデオ映像に適しています。 [フィルム/オート] : 映画フィルムやCG、アニメーションに適しています。
シーン適応ガンマ 補正	レベル調整	シーンに応じて階調表現を最適化して、メリハリのある映像にします。コントラストを強調したいときは、大きい値を選択します。
オートアイリス	オフ 標準 高速	映像の明るさに合わせて投写時の光量を調整します。
初期化	—	選択されているカラー モードの [画質] メニューで調整したすべての値を初期値に戻します。



[明るさ] の設定はランプの明るさには影響しません。ランプの明るさを変更するには、[節電] メニューで [明るさ切替] を設定します。

▶ 関連項目

- ・「カラー モードの種類」 [p.53](#)

本機は入力信号方式を自動的に検出し、映像設定を最適化します。詳細な設定が必要なときは、[映像] メニューで設定します。現在投写している入力ソースによって設定できる項目が異なります。



設定を変更するには、変更したい入力ソースの映像が投写されていることを確認してください。

設定	選択肢	説明
アスペクト	アスペクト比の一覧を参照	映像のアスペクト比（縦横比）を設定します。
アドバンスト	ビデオレンジ	ビデオレンジ：HDMI端子に接続された機器の設定に合わせて、本機のビデオレベルを設定します。
初期化	—	[映像] メニューで調整したすべての値を初期値に戻します。

▶ 関連項目

- 「アスペクトモードの種類」 [p.51](#)

[設定] メニューでは、プロジェクターの各種設定ができます。



設定	選択肢	説明
Eズーム	レベル調整	投写映像のサイズを調整します。
台形補正	タテヨコ	[タテ補正]：縦方向のゆがみを補正します。 [ヨコ補正]：横方向のゆがみを補正します。 [自動タテ補正]：縦方向の自動補正のオン/オフを設定します。 [スライド式ヨコ補正]：[スライド式ヨコ補正]のオン/オフを設定します。
	Quick Corner	[Quick Corner]：投写画面のコーナーの形状を個別に補正します。

設定	選択肢	説明
音量	レベル調整	本機のスピーカーの音量を調整します。 また、外部スピーカーの音量も調整できます。 設定した内容は入力ソースごとに保持されます。
HDMIリンク	接続機器一覧	HDMI端子に接続されている機器の一覧を表示します。 [HDMIリンク] が [オン] のときに表示されます。
HDMIリンク	[オン]	[オン] にすると、HDMIリンク機能が有効になります。
音声出力機器	音声の出力先を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> [プロジェクター]：本機のスピーカーまたは本機の音声出力端子と接続した外部スピーカーから音声を出力します。 [AVアンプ]：HDMIケーブルで中継しているAVアンプに接続したスピーカーから音声を出力します。 	

設定	選択肢	説明
	電源オン連動	<p>本機または接続機器の電源をオンにしたときの動作を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 【双方向】：本機の電源オンに連動して接続機器の電源をオンに、また、接続機器の電源オンに連動して本機の電源をオンにします。 【接続機器→PJ】：接続機器の電源オンに連動して、本機の電源をオンにします。 【PJ→接続機器】：本機の電源オンに連動して、接続機器の電源をオンにします。
	電源オフ連動	本機の電源オフに連動して、接続機器の電源をオフにするかしないかを設定します。
ロック設定	操作ボタンロック	<p>プロジェクターのボタン操作制限を設定します。</p> <p>【全ロック】：すべてのボタンをロックします。</p> <p>【操作ロック】：電源ボタンを除くすべてのボタンをロックします。</p> <p>【オフ】：ボタンをロックしません。</p>
リモコン受光部	フロント・リア フロント リア オフ	リモコンからの操作信号を受信する受光部を制限します。【オフ】にすると、リモコンからの操作ができなくなります。

設定	選択肢	説明
カスタマイズボタン	明るさ切替 情報 テストパターン パターン表示 QRコード表示	リモコンの【カスタマイズ】ボタンに割り当てるメニュー項目を設定します。ボタンを押すと、割り当てたメニュー項目がワンタッチで表示されます。
パターン		パターン表示に関する設定をします。
		<p>注意</p> <p>長時間パターンを表示していると投写映像に残像が現れることがあります。</p>
パターン表示		【パターン表示】：投写画面にパターン映像を表示させます。
パターン種類		【パターン種類】：パターン1~4と、【ユーザーパターン】の5種類が選べます。パターン1~4には、罫線や格子などのパターンが登録されています。
ユーザーパターン		【ユーザーパターン】：現在投写している映像を、パターン映像として登録します。
テストパターン		【テストパターン】：機器を接続せずに映像のピントやズーム、映像のゆがみを調整できるように、テストパターンを表示します。（【戻る】ボタンを押すと表示を終了します。）

設定	選択肢	説明
初期化	—	<p>[設定] メニューで調整した、以下を除くすべての値を初期値に戻します。</p> <ul style="list-style-type: none">• [Eズーム]• [HDMIリンク] ([HDMIリンク] の [オン] [オフ] を除く)• [カスタマイズボタン]

[拡張設定] メニューでは、プロジェクターの詳細な設定ができます。



設定	選択肢	説明
ホーム画面設定	ホーム画面設定	ホーム画面の表示オプションを選択します。
	ホーム画面自動表示	[ホーム画面自動表示]：本機を起動したとき入力信号がない場合に、ホーム画面を自動的に表示するかしないかを選択します。
	カスタム機能1 カスタム機能2	[カスタム機能1] / [カスタム機能2]：よく使う機能や設定メニューをホーム画面に割り当てます。
表示設定		表示に関する設定をします。

設定	選択肢	説明
メッセージ表示	—	[メッセージ表示]：[オン] にすると、入力ソース名、カラー モード名、アスペクト比、映像信号が入力されていないときのメッセージや高温警告などのメッセージが投写画面に表示されます。メッセージを表示させたくないときは [オフ] を選択します。
背景表示	—	[背景表示]：映像信号が入力されていないときに投写する画面の背景色、またはロゴ表示を選択します。
スタートアップスクリーン	—	[スタートアップスクリーン]：[オン] にすると、投写開始時にユーザー ロゴ、または EPSON ロゴを表示します。
A/Vミュート	—	[A/Vミュート]：A/Vミュート時に表示する画面の背景色またはロゴ表示を選択します。
ユーザーLOGO	—	本機の識別やセキュリティ向上のために、本機で表示するユーザー ロゴを登録します。
設置モード	フロント フロント・天吊り リア リア・天吊り	映像が正しい方向で投写されるように、スクリーンに対する本機の設置方法を選択します。
動作設定	—	本機の動作に関する設定をします。
ダイレクトパワーオン	—	[ダイレクトパワーオン]：電源プラグを差し込むだけで、本機の電源が入ります。
高地モード	—	[高地モード]：標高約1500m以上の場所で本機を使えるように動作を制御します。

設定	選択肢	説明
	自動入力検出	[自動入力検出] : [オン] にすると、現在の入力ソースからの映像信号がないときに、自動的に他の入力ソースからの信号を検出して映像を投写します。
	オートパワーオン	[オートパワーオン] : 本機がスタンバイ状態のときに、選択した入力ソースからの映像信号を検出すると、自動的に本機の電源が入ります。 以下の入力ソースに対応しています。 <ul style="list-style-type: none">HDMI1
	起動条件	[オートパワーオン] が [HDMI1] に設定されているときの本機の起動方法を設定します。 [接続検出] : 接続機器の起動を検出すると、自動的に本機の電源が入ります。 [信号検出] : HDMIビデオ信号を検出すると、自動的に本機の電源が入ります。 [信号検出] に設定すると待機電力が上がります。使用環境を考慮のうえ、設定してください。
	USB給電	[常時オン] に設定すると、本機が映像を投写していないときもメディアストリーミング端末に給電を続けます。 [常時オン] に設定すると待機電力が上がります。

設定	選択肢	説明
	HDMI EQ設定	[HDMI EQ設定] : HDMI入力端子に接続している映像機器に応じてHDMI受信レベルを変更します。映像にノイズが入ったり、映らないときは、設定を変更してください。 ステイック型端末を接続して映らないときは、設定を [1] に変更してください。
	アドバンスト	[ログ保存先] : エラーログや操作ログの保存先を設定します。 [一括設定範囲] : 一括設定機能を使って、すべてのメニュー設定をコピーするときは [すべて] を選択します。以下の設定をコピーしたくないときは [一部] を選択します。 <ul style="list-style-type: none">[パスワードプロテクト] 設定[ネットワーク] メニュー
	日付 & 時刻	[日付 & 時刻] : 本機の日付と時刻を設定します。 <ul style="list-style-type: none">[夏時間設定] : [夏時間] を [オン] にすると、夏時間が有効になります。[インターネット時刻] : [オン] にすると、インターネット時刻サーバーから時刻を自動的に更新します。
A/V出力設定	A/V出力	[常時] に設定すると、本機がスタンバイ状態のときも、外部機器に音声と映像を出力します。
プロジェクターID	オフ 1~9	複数のプロジェクターをリモコンから操作するときに使う本機のIDを設定します。

設定	選択肢	説明
スケジュール設定画面へ	スケジュール設定画面へ移動	プロジェクターにイベントスケジュールを登録して、設定した日時に選択したイベントを自動的に実行します。
言語	言語設定	メニュー、メッセージに表示する言語を選択します。
初期化	—	[拡張設定] メニューで調整した、以下を除くすべての値を初期値に戻します。 <ul style="list-style-type: none">・ [ユーザーロゴ]・ [設置モード]・ [高地モード]・ [自動入力検出]・ [USB給電]・ [HDMI EQ設定]・ [日付 & 時刻]・ [A/V出力]・ [プロジェクターID]・ [スケジュール設定]・ [言語]



[パスワードプロテクト] で [ユーザーロゴ保護] を [オン] にすると、ユーザーロゴに関する設定 ([表示設定] メニューの [背景表示]、[スタートアップスクリーン]、[A/Vミュート]) は変更できません。事前に [ユーザーロゴ保護] を [オフ] に設定します。

▶ 関連項目

- ・「パスワードプロテクトの種類を設定する」 [p.76](#)

[ネットワーク] メニューでは、ネットワーク情報の表示、ネットワーク経由で本機を使うための設定ができます。

[パスワードプロテクト] で [ネットワーク保護] を [オン] にすると、ネットワーク設定は変更できません。事前に [ネットワーク保護] を [オフ] に設定します。



[Web制御パスワード] が設定されていないときは、ネットワークの設定を保存する際にパスワード設定を求められます。画面の指示に従ってパスワードを設定してください。

設定	選択肢	説明
無線LAN電源	オン オフ	無線LAN接続を設定します。 無線LAN経由で映像を投写するには [オン]を選択します。無線LANで接続 しないときは、第三者の不正アクセス を防ぐためにオフに設定してください。

設定	選択肢	説明
AirPlayとHomeKit	—	AirPlayとHomeKitの設定画面を表示します。 入力ソースがAirPlayのときは選択できません。
ネットワーク情報	シンプルAP 無線LAN	ネットワーク接続のステータス、詳細情報を表示します。[無線LAN] は、[無線LAN電源] を [オン] に設定しているときのみ有効です。 [シンプルAP] は [無線LAN電源] を [オン]、[無線LAN] メニューの [シンプルAP] を [オン] に設定しているときのみ有効です。 以下の項目は、[IPv6] を [オン] に設定しているときに表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> IPv6アドレス(自動) <ul style="list-style-type: none"> 一時アドレス リンクローカルアドレス ステートレスアドレス ステートフルアドレス
QRコード表示	—	Epson iProjectionを使って、iOSまたはAndroid機器を接続するときに読み取るQRコードを表示します。
ネットワーク設定画面へ	ネットワーク設定画面へ移動	ネットワークの詳細設定をします。

設定	選択肢	説明
EPMC監視制御	EPMC設定 EPMC設定書き出し EPMC設定読み込み	<p>〔EPMC設定〕：Epson Projector Connected Agentを介さずに、Epson Projector Management Connectedのクラウドサーバーと直接通信する場合は、〔EPMC監視制御〕を〔オン〕にしてください。</p> <p>詳しくは『Epson Projector Management Connected操作ガイド』をご確認ください。</p> <p>https://www.projection-service.epson.com/pages/epm-connected/online-manual/web-front/JA/index.html</p> <p>〔EPMC設定書き出し〕：Epson Projector Management Connectedの設定を書き出します。</p> <p>〔EPMC設定読み込み〕：Epson Projector Management Connectedの設定を読み込みます。</p>
ファームウェア更新設定	通知する 通知しない 深夜に自動更新 オフ	<p>ファームウェアアップデートの通知をするかしないかの設定および、深夜に自動で更新するかを選択します。</p> <p>本機のネットワーク経由でファームウェアを更新しない場合は、〔オフ〕に設定します。</p> <p> Epson Projector Management Connectedを使用している場合は、〔オフ〕に設定することをお勧めします。</p>



コンピューターのWebブラウザーを使って、ネットワークに接続されたプロジェクターのメニュー設定や制御ができます。遠隔からの操作に適しています。

▶ 関連項目

- 「ネットワークメニュー - 基本設定メニュー」 p.128
- 「ネットワーク設定 - 無線LANメニュー」 p.130
- 「ネットワークメニュー - 通知メニュー」 p.134
- 「ネットワークメニュー - その他メニュー」 p.135
- 「ネットワークメニュー - 初期化メニュー」 p.136
- 「パスワードプロテクトの種類を設定する」 p.76

ネットワークメニュー - 基本設定メニュー

〔基本設定〕メニューでは、ネットワークの基本設定ができます。

◀ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [基本設定]



設定	選択肢	説明
プロジェクター名	16文字以内の半角英数字 (* * + , / : ; < = > ? [\] ` スペースは使用不可)	ネットワーク上で本機を識別するための名前を入力します。
Remote/パスワード	8文字以上32文字以内の半角英数字 (*: スペースは使用不可)	ベーシックコントロール機能で本機の制御をするときの認証用パスワードを設定します。(ユーザー名は EPSONREMOTE です。デフォルトのパスワードは設定されていません。)
Web制御パスワード	8文字以上32文字以内の半角英数字 (*: スペースは使用不可)	Web制御で本機の設定や制御をするときの認証用パスワードを設定します。(ユーザー名は EPSONWEB です。デフォルトのパスワードは設定されていません。)
Monitorパスワード	16文字以内の半角英数字 (@以外の記号とスペースは使用不可)	Ver.5.30またはそれ以前のEpson Projector Managementを使用したり、スイッチャーやコントローラーと組み合わせてプロジェクターを制御・監視したりするときの認証用パスワードを設定します。(デフォルトのパスワードは設定されていません。) Monitorパスワードはスイッチャーやコントローラーで使用するパスワードと一致させてください。 [コマンド通信] を [互換] に設定したときのみ設定できます。 ➡ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [その他]

設定	選択肢	説明
モデレーターパスワード	4桁の数字	Epson iProjectionを使って、モデレーターとして本機に接続するときの認証用パスワードを入力します。(デフォルトのパスワードは設定されていません。)
プロジェクターキーワード	オン オフ	[オン] にすると、他のユーザーが誤って映像を投写しないように、セキュリティーパスワードを有効にできます。コンピューターやモバイルデバイスの映像を投写するときは、投写画面に表示されるキーワードをEpson iProjectionで入力する必要があります。
キーワード通知	オン オフ	[オン] にすると、Epson iProjectionでプロジェクターに接続したときに、投写画面にプロジェクターキーワードを表示します。 [プロジェクターキーワード] が [オン] のときに設定できます。
LAN情報表示	テキストとQRコード テキスト	本機のネットワーク情報の表示形式を設定します。 QRコードを表示させると、Epson iProjectionでQRコードを読み取るだけで本機とモバイルデバイスをネットワーク接続できます。初期値は [テキストとQRコード] です。
プロキシ	IPアドレス ポート番号	プロキシサーバーを利用する場合に、プロキシサーバーのIPアドレスとポート番号を入力します。
IPv6	オン オフ	IPv6を使用してプロジェクターをネットワークに接続するときは、[オン] にします。

ネットワーク設定 - 無線LANメニュー

[無線LAN] メニューでは、無線LANの設定ができます。

☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [無線LAN]



設定	選択肢	説明
シンプルAP		シンプルAPで無線LANネットワーク接続する場合の設定を選択します。
シンプルAP		シンプルAPで接続する場合は、[オン]に設定します。
SSID		本機が接続している無線LANシステムのSSID（ネットワーク名）が表示されます。 シンプルAPでは、無線LANシステムを自動で検知して接続します。

設定	選択肢	説明
セキュリティー		シンプルAPでは、セキュリティーは [WPA2-PSK] に固定されます。WPA2によるセキュリティーを使って通信します。暗号化にはAES方式を使用します。コンピューターからプロジェクターに接続するときは、パスフレーズに設定した値を入力してください。
パスフレーズ (8~32文字のパスフレーズ (Webブラウザーから入力する場合: 8~63文字のパスフレーズ))		シンプルAP接続で使用するプロジェクターのパスフレーズを入力します。初めてシンプルAP接続するときは、[パスフレーズ] を設定する必要があります。パスフレーズを入力し、[決定] ボタンを押すと、値が設定されます。設定された値はアスタリスク (*) で表示されます。
チャンネル設定		シンプルAPでは、セキュリティーは [オート(5GHz)] に固定されます。
アクセスポイント検索		周囲の無線LANアクセスポイントを検索します。アクセスポイントの設定によっては、一覧に表示されないアクセスポイントがあります。
SSID	32文字以内の半角英数字	本機のSSID（ネットワーク名）を設定します。本機が接続する無線LANシステムでSSIDが定められているときは、そのSSIDを設定します。

設定	選択肢	説明
セキュリティー		無線LANの設定に合わせてセキュリティーの種類を選択します。 セキュリティーの設定については、ネットワーク管理者の指示に従ってください。
なし		セキュリティーを設定しません。
WPA3-PSK		WPA3によるセキュリティーを使って通信します。暗号化にはAES方式を使用します。コンピューターからプロジェクターに接続するときは、パスフレーズに設定した値を入力してください。
WPA2/WPA3-PSK		WPA2/WPA3/パーソナルモードで接続します。暗号化方式はアクセスポイントの設定に応じて自動的に選択されます。アクセスポイントと共にパスフレーズを設定します。
WPA3-EAP		WPA3エンタープライズモードで接続します。暗号化方式はアクセスポイントの設定に応じて自動的に選択されます。
WPA2/WPA3-EAP		WPA2/WPA3エンタープライズモードで接続します。暗号化方式はアクセスポイントの設定に応じて自動的に選択されます。

設定	選択肢	説明
パスフレーズ	8~32文字のパスフレーズ (Webブラウザーから入力する場合: 8~63文字のパスフレーズ)	セキュリティーの設定で「WPA3-PSK」、または「WPA2/WPA3-PSK」を選択したときは、ネットワークに接続するためのパスフレーズを入力します。パスフレーズを入力し、【決定】ボタンを押すと、値が設定されます。設定された値はアスタリスク (*) で表示されます。 セキュリティー強化のため、パスフレーズは定期的に変更することをお勧めします。ネットワーク設定を初期化すると、パスフレーズは初期値に戻ります。
EAP設定		[WPA3-EAP] および [WPA2/WPA3-EAP] セキュリティーのEAPを設定します。
EAP種類		[EAP種類] : 認証プロトコルを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> 【PEAP】: Windows Serverで広く使われている認証プロトコルです。 【EAP-TLS】: 一般的に広く使われている、クライアント証明書を使用する認証プロトコルです。

設定	選択肢	説明
	ユーザー名	[ユーザー名]：半角英数字64文字以内で入力します。プロジェクターのメニューで入力できる文字数は最大32文字です。33文字以上の入力をするときは、Webブラウザーを使って入力します。ドメイン名を含めて入力する必要があるときは、ユーザー名の前にバックスラッシュで区切ってドメイン名を追加します（ドメイン名\ユーザー名）。
	パスワード	[パスワード]：[EAP種類] が [PEAP] に設定されているときに、認証用パスワードを半角英数字64文字以内で入力します。プロジェクターのメニューで入力できる文字数は最大32文字です。33文字以上の入力をするときは、Webブラウザーを使って入力します。パスワードを入力し、[設定] を選択すると、パスワードはアスタリスク (*) で表示されます。
	クライアント証明書	[クライアント証明書]：[EAP種類] が [EAP-TLS] に設定されているときに、クライアント証明書をインポートします。
	CA証明書	[CA証明書]：CA証明書をインポートします。

設定	選択肢	説明
	認証サーバー名	[認証サーバー名]：認証サーバー名を入力します。半角英数字で64文字まで入力できます。33文字以上の入力をするときは、Webブラウザーを使って入力します。
IP設定	DHCP IPアドレス サブネットマスク ゲートウェイアドレス	[DHCP]：DHCPを使用できるネットワークの場合は、[オン] にします。DHCPを使用できないネットワークの場合は、[オフ] にして、プロジェクターの [IPアドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス] を入力します。0～255の数字を入力します。 0.0.0.0、127.x.x.x、192.0.2.x、192.168.48.x、192.168.88.x、224.0.0.0～255.255.255.255のアドレスはIPアドレスに使用できません（xは0～255の数値）。255.255.255.255、0.0.0.0～254.255.255.255のアドレスはサブネットマスクに使用できません。0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255のアドレスはゲートウェイアドレスに使用できません。
DNSサーバー1 DNSサーバー2	IPアドレス	DNSサーバーのIPアドレスを入力します。0～255の数字を入力します。DNSサーバーは、ホスト名とIPアドレスの対応関係を管理するコンピューターです。以下のIPアドレスは使用できません。127.x.x.x（xは0～255の数字） この設定をしないで0.0.0.0のままにしておくと、DNSサーバーの情報はDHCPから取得されます。

設定	選択肢	説明
SSID表示	オン オフ	LAN待機画面やホーム画面にSSIDを表示するかしないかを選択します。
IPアドレス表示	オン オフ	LAN待機画面やホーム画面にIPアドレスを表示するかしないかを選択します。
Miracast	Miracast	Miracast機能を使用するときは、[オン]に設定します。
	アクセス制御	[オン]に設定すると、投写を許可するかどうかの確認画面がMiracastで接続するたびに表示されます。

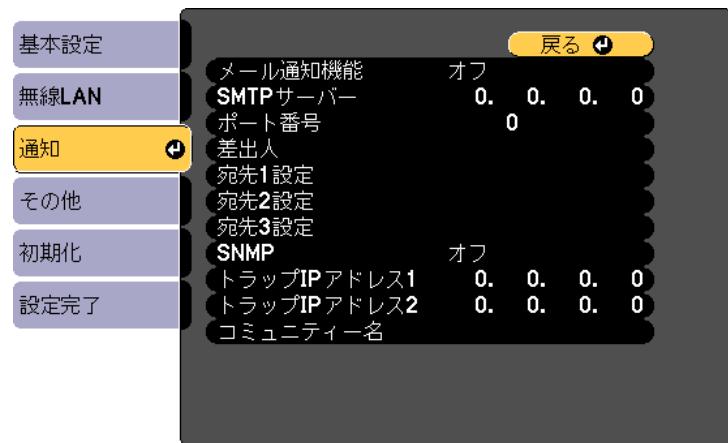
設定	選択肢	説明
	セカンダリ接続	<p>Miracast接続中に接続を試みるデバイスの接続動作を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 【割り込み接続許可】：後から接続したデバイスからの映像がMiracast1ソースとして投写されます。 【アクセス制御】が【オン】に設定されているときは、後から接続したデバイスとの接続が切断されると、先に接続していたデバイスからの映像がMiracast1ソースとして投写されます。同時に接続できるのは2台までです。 【アクセス制御】が【オフ】に設定されているときは、先に接続していたデバイスとの接続は切断されます。 <ul style="list-style-type: none"> 【割り込み接続不可】：先に接続していたデバイスからの映像がMiracast1ソースとして投写されたまま、2台目のデバイスが接続されます。入力ソースをMiracast2に切り替えると、2台目のデバイスからの映像が投写されます。同時に接続できるのは2台までです。 【オフ】：Miracast接続中に他のデバイスは本機に接続できません。

設定	選択肢	説明
	パフォーマンス調整	Miracastの映像表示速度および品質を調整します。 [1] (きれい) から [4] (速い) まで選択できます。 [1] : 表示品質が向上します。 [4] : 表示速度が向上します。
	Miracast情報表示	[オン] にすると、Miracastソースを投写しているときに、機器の接続に必要な情報を表示します。

ネットワークメニュー-通知メニュー

[通知] メニューでは、本機が異常/警告状態になったとき、異常状態を電子メールで通知するための設定ができます。

👉 [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [通知]



設定	選択肢	説明
メール通知機能	オン オフ	[オン] に設定すると、本機が異常/警告状態になったとき、設定した宛先に異常状態を通知するメールを送信します。
SMTPサーバー	IPアドレス	SMTPサーバーのIPアドレスを入力します。0~255の数字を入力します。以下のアドレスは使用できません。127.x.x.x、192.0.2.x、224.0.0.0~255.255.255.255 (xは0~255の数字)。
ポート番号	1~65535 (デフォルトは25)	SMTPサーバーのポート番号を選択します。
差出人	32文字以内の半角英数字	送信者のメールアドレスを入力します。個人情報を含まないメールアドレスを指定してください。
宛先1設定 宛先2設定 宛先3設定	Webブラウザーからは64文字以内の半角英数字 ("(),:;<>[\] スペースは使用不可)	メールアドレスとメール通知する本機の異常/警告を選択します。宛先は3つまで設定できます。個人情報を含まないメールアドレスを指定してください。
SNMP	オン オフ	[オン] に設定すると、SNMPを使用して本機を監視します。本機を監視するには、コンピューターにSNMPマネージャープログラムがインストールされている必要があります。SNMPによる管理は、必ずネットワーク管理者が行ってください。

設定	選択肢	説明
トラップIPアドレス1 トラップIPアドレス2	IPアドレス	SNMP通知を受信するIPアドレスを入力します。0~255の数字を入力します。 以下のアドレスは使用できません。 127.x.x.x、224.0.0.0~255.255.255.255 (xは0~255の数字)。
コミュニティ名	32文字以内の半角英数字 (記号とスペースは使用不可)	SNMPコミュニティ名を入力します。

ネットワークメニュー-その他メニュー

[その他] メニューでは、ネットワークの詳細な設定ができます。

👉 [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [その他]



設定	選択肢	説明
コマンド通信		パソコンやコントローラーなど外部機器からネットワーク経由でプロジェクターとコマンド通信を行う際の認証方法を選択します。
プロテクト		ダイジェスト認証を用いて [Web制御パスワード] で認証を行うときに選択します。最新のEpson Projector Managementを使用してください。
互換		[Monitorパスワード] (半角英数字16文字以内) を使って平文認証を行うときに選択します。



Ver.5.30またはそれ以前のEpson Projector Managementを使用したり、スイッチャーとコントローラーと組み合わせるときは [互換] を選択してください。

[Monitorパスワード] はスイッチャーとコントローラーで使用するパスワードと一致させてください。

設定	選択肢	説明
セキュアHTTP	オン オフ	Web制御でのプロジェクターとコンピューターの通信を暗号化し、セキュリティーを強化します。セキュリティーの設定をWeb制御で行う場合は、[オン]に設定することをお勧めします。
Webサーバー証明書	—	セキュアHTTP機能のWebサーバー証明書を本機にインポートします。
Web API設定	Web API	Web APIでプロジェクターを制御するときは[オン]を選択します。
	認証タイプ	Web API通信を行うときの認証方法を選択します。 [Open]：認証を設定しません。 [Digest]：API認証（ダイジェスト認証）を使用します。 詳しくは『プロジェクター用Web API仕様書』をご覧ください。
ベーシックコントロール	オン オフ	[Epson Web Control]の[ベーシックコントロール]で本機の制御をするときは、[オン]に設定します。
メッセージ配信	オン オフ	[オン]に設定すると、Epson Projector Managementで配信したメッセージが受信できます。詳しくは『Epson Projector Management操作ガイド』をご確認ください。

ネットワークメニュー - 初期化メニュー

[初期化]メニューでは、ネットワーク設定をすべて初期化できます。

👉 [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [初期化]



設定	選択肢	説明
初期化	はい いいえ	[はい]を選択すると、ネットワーク設定をすべて初期化します。 入力ソースがAirPlayのときは選択できません。

注意

初期化を実行すると[ネットワーク]メニューで設定したすべてのパスワードが初期化され、パスワードの再設定が必要になります。第三者によるパスワードの初期化を防ぐためには、[パスワードプロジェクト]で[ネットワーク保護]を[オン]に設定してください。

設定	選択肢	説明
システム全初期化	はい いいえ	<p>[はい] を選択すると、ネットワークファームウェアで保持しているアプリやネットワーク設定などを初期化します。</p> <p>入力ソースがAirPlayのときは選択できません。</p> <p>[システム全初期化] は、ネットワーク関連で問題があったときなどに使用してください。</p> <p>注意</p> <p>初期化を実行すると [ネットワーク] メニューで設定したすべてのパスワードが初期化され、パスワードの再設定が必要になります。第三者によるパスワードの初期化を防ぐためには、[パスワードプロテクト] で [ネットワーク保護] を [オン] に設定してください。</p>

[節電] メニューでは、本機の消費電力を抑えるための設定ができます。節電効果が有効な設定をしているときは、メニュー項目の横に葉っぱのアイコンが表示されます。



設定	選択肢	説明
明るさ切替	高 低	ランプの明るさを選択します。高地または高温になりやすい場所で本機をお使いのときは、設定が変更できないことがあります。 [低]：投写映像が明るすぎるとときにランプの明るさを抑えます。投写中の消費電力とファン回転音が低下します。

設定	選択肢	説明
ライトオプティマイザー	オン オフ	[オン] に設定すると、投写する映像に応じてランプの明るさを調整します。ランプを低輝度で動作させることにより、消費電力を軽減できます。 設定値はカラーモードごとに保存されます。 この項目は以下の場合のみ設定可能です。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [明るさ切替] を [高] に設定しているとき ・ [オートアイリス] を [オフ] に設定しているとき <ul style="list-style-type: none"> ➡ [画質] > [オートアイリス]
スリープモード	オン オフ	[オン] に設定すると、一定時間映像信号の入力がないときに、自動的に本機の電源が切れます。
スリープモード時間	15秒間～30分	スリープモードで電源が自動で切れるまでの時間を設定します。
レンズカバータイマー	オン オフ	[オン] に設定すると、スライド式レンズカバーを閉じてから30分後に、自動的に本機の電源が切れます。
A/Vミュートタイマー	オン オフ	[オン] に設定すると、[A/Vミュート]を実行してから30分後に、自動的に本機の電源が切れます。
節電表示	オン オフ	[オン] に設定すると、ランプの明るさが通常状態と低輝度状態で切り替わるときに、投写画面の左下に節電状態を示す葉っぱのアイコンを表示します。

設定	選択肢	説明
初期化	—	[節電] メニューで調整したすべての値を初期値に戻します。

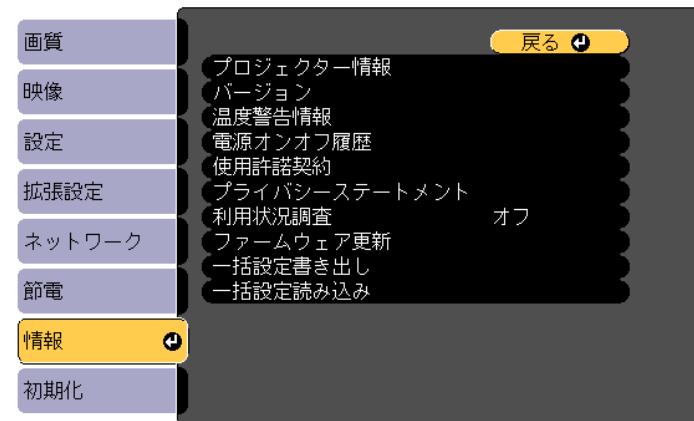


- ・ [スリープモード時間] がオンに設定されているときは、入力信号がない間はランプの明るさを抑えて動作します。
- ・ [レンズカバータイマー] または [A/Vミュートタイマー] がオンに設定されているときは、レンズカバーが閉じているときや [A/Vミュート] を実行してから電源が切れるまで、ランプの明るさを抑えて動作します。レンズカバーを開けたときやA/Vミュートを解除したときは、通常どおり動作します。

▶ 関連項目

- ・ 「拡張設定メニュー」 p.124

[情報] メニューでは、本機の情報やバージョンを確認できます。このメニューの設定は変更できません。



項目	説明
プロジェクター情報	プロジェクターの情報を表示します。
バージョン	ファームウェアバージョンを表示します。
温度警告情報	高温警告を表示します。
電源オンオフ履歴	電源オン/オフの履歴を表示します。
使用許諾契約	使用許諾契約を表示します。
プライバシーステートメント	プライバシーステートメントを表示します。
利用状況調査	本機の利用状況をエプソンが調査することを許可するかどうかを選択します。

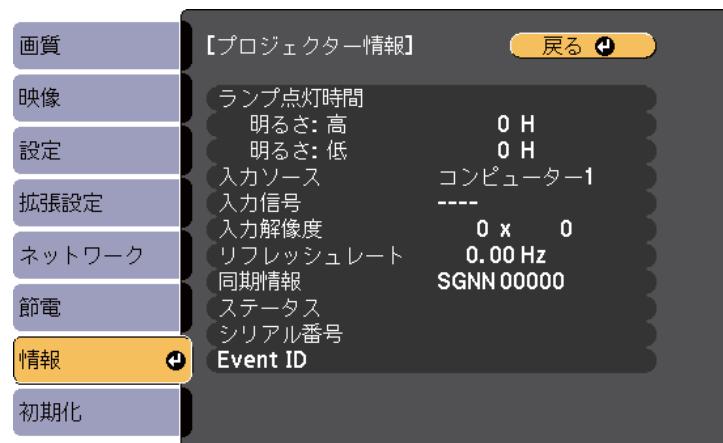
項目	説明
ファームウェア更新	ファームウェア更新モードになります。USB-Aまたはネットワーク経由でのアップデートができます。 ネットワーク経由でのファームウェア更新は、サーバー上で最新のファームウェアがアップロードされている場合に選択できます。ただし、[ファームウェア更新設定] を [オフ] に設定していると選択できません。 ➡ [ネットワーク] > [ファームウェア更新設定]
一括設定書き出し	本機で設定したメニューの内容を、USBメモリーやコンピューターに書き出します。書き出したメニュー設定は、同じ型番のプロジェクターにコピーできます。
一括設定読み込み	USBメモリーやコンピューターに保存されたメニュー設定を読み込みます。

► 関連項目

- 「情報メニュー - プロジェクター情報」 [p.140](#)
- 「ファームウェアを更新する」 [p.161](#)

情報メニュー - プロジェクター情報

[情報] メニューの [プロジェクター情報] では、本機の状態や投写している映像信号の情報を確認できます。



現在投写している入力ソースによって設定できる項目が異なります。
ランプ点灯時間は、ランプを10時間以上使用するまで加算されません。

項目	説明
ランプ点灯時間	[明るさ切替] の各モードでランプを使用した時間([H])を表示します。黄色で情報が表示される場合は、エプソン純正の交換用ランプを早めに入手してください。 👉 [節電] > [明るさ切替]
入力ソース	現在の入力ソースを表示します。
入力信号	現在の入力ソースの入力信号方式を表示します。
入力解像度	現在の入力ソースの解像度を表示します。
リフレッシュレート	現在の入力ソースのリフレッシュレートを表示します。
同期情報	サービス技術者が必要とする情報を表示します。

項目	説明
ステータス	サービス技術者が必要とするプロジェクターの問題に関する情報を表示します。
シリアル番号	本機のシリアル番号を表示します。
Event ID	ネットワーク接続の問題に対応するEvent ID番号を表示します。Event IDコードの一覧を参照してください。

▶ 関連項目

- 「Event ID一覧」 [p.141](#)

Event ID一覧

[プロジェクター情報] メニューの [Event ID] に番号が表示されるときは、番号を確認して以下のとおり対処してください。

問題が解決しないときは、ネットワーク管理者にお問い合わせいただき、お問い合わせ先に記載の連絡先にお問い合わせください。

Event ID	原因と対処法
0432	ネットワークソフトウェアの起動に失敗しました。プロジェクターの電源を一度切ってから、再度電源を入れます。
0435	
0433	転送した映像を表示できません。ネットワークソフトウェアを再起動してください。
0434	ネットワークの通信状態が不安定です。ネットワークの通信状態を確認し、しばらくしてから再接続します。
0481	
0482	
0485	
0483	ネットワークソフトウェアが予期せず終了しました。ネットワークの通信状態を確認してから、プロジェクターの電源を一度切り、再度電源を入れます。
04FE	

Event ID	原因と対処法
0484	コンピューターから通信が切断されました。ネットワークソフトウェアを再起動してください。
0479 04FF	プロジェクターにシステムエラーが発生しました。プロジェクターの電源を一度切ってから、再度電源を入れます。
0523	Miracast接続時に、WPSでの接続がタイムアウトしました。プロジェクターとモバイルデバイスを近づけて再度接続してください。
0524	Miracast接続時に、プロジェクターとモバイルデバイス間のWPS処理で不明なエラーが発生しました。[ネットワーク]メニューの[無線LAN]で[Miracast]を[オフ]に設定し、再度[オン]に設定してからプロジェクターを再起動してください。
0525	Miracast接続時に、プロジェクターとモバイルデバイス間のセキュリティ設定が一致していません。[ネットワーク]メニューの[無線LAN]で[Miracast]を[オフ]に設定し、再度[オン]に設定してからプロジェクターを再起動してください。
0526	Miracast接続時に、WPA2のハンドシェイクが正しく行われませんでした。[ネットワーク]メニューの[無線LAN]で[Miracast]を[オフ]に設定し、再度[オン]に設定してからプロジェクターを再起動してください。
0527	Miracast接続時に、WPA2の4ウェイハンドシェイクが失敗し、接続が確立できませんでした。[ネットワーク]メニューの[無線LAN]で[Miracast]を[オフ]に設定し、再度[オン]に設定してからプロジェクターを再起動してください。
0528	Miracast接続後のIPアドレスの取得に失敗したか、プロジェクターが正しくIPアドレスを提供できませんでした。[ネットワーク]メニューの[無線LAN]で[Miracast]を[オフ]に設定し、再度[オン]に設定してからプロジェクターを再起動してください。
0529	Miracastの制御通信(RTSPメッセージのやり取り)に失敗しました。Miracast接続を一度解除し、再度接続してください。

Event ID	原因と対処法
0530	Miracast接続時に、映像または音声のストリーミングが正常にできませんでした。プロジェクターとモバイルデバイスを近づけて再度接続してください。
0532	Miracast接続するモバイルデバイスとプロジェクターの間で、H.264/H.265の違いや、サポートされていないフォーマットを使用しているなど、ビデオまたはオーディオコーデックの互換性がありません。モバイルデバイス側の解像度やコーデック設定などがMiracast仕様に対応しているか確認してください。
0535	Miracastのセッションが異常終了しました。プロジェクターとモバイルデバイス両方を再起動し、再度接続してください。
0536	Miracast接続時に、アプリのクラッシュなど、異常な通信の切断がありました。プロジェクターを再起動し再度Miracast接続してください。
0542	Miracast接続時に、不明なP2P接続異常がありました。プロジェクターとモバイルデバイス両方を再起動し、再度接続してください。
0543	Miracast接続時のビデオフォーマット異常です。解像度やフレームレート非対応により、プロジェクターへの投写ができません。モバイルデバイスがMiracastの仕様に対応しているか確認してください。
0544	Miracast接続を試みたモバイルデバイスがブロックリストに登録されていて接続が拒否されています。ブロックリストを削除して再度接続してください。
0891	プロジェクターに設定したアクセスポイント(SSID)が見つかりません。詳しくは、「ネットワークに関するトラブル」をご覧ください。
0892	プロジェクターとアクセスポイントのセキュリティ/認証形式に一致しません。詳しくは、「ネットワークに関するトラブル」をご覧ください。

Event ID	原因と対処法
0893	プロジェクトとアクセスポイントの暗号形式またはパスフレーズが一致しません。詳しくは、「ネットワークに関するトラブル」をご覧ください。
0894	接続中のプロジェクトがネットワークから切断されました。詳しくは、「ネットワークに関するトラブル」をご覧ください。
0895	接続中の機器から通信が切断されました。詳しくは、「ネットワークに関するトラブル」をご覧ください。
0898	DHCPサーバーからIPアドレスが取得できません。詳しくは、「ネットワークに関するトラブル」をご覧ください。
0899	その他、接続に関するエラー。詳しくは、「ネットワークに関するトラブル」をご覧ください。
089A	EAP種類が一致しません。詳しくは、「ネットワークに関するトラブル」をご覧ください。
089B	EAPのサーバー認証に失敗しました。詳しくは、「ネットワークに関するトラブル」をご覧ください。
089C	EAPのクライアント認証に失敗しました。詳しくは、「ネットワークに関するトラブル」をご覧ください。
089D	鍵交換が失敗しました。詳しくは、「ネットワークに関するトラブル」をご覧ください。
089E	TLS通信が確立していません。詳しくは、「ネットワークに関するトラブル」をご覧ください。

▶ 関連項目

- ・「ネットワークに関するトラブル」 [p.178](#)

[初期化] メニューでは、本機の設定を初期化できます。



- ランプ点灯時間

- パスワード

* [パスワードプロテクト] 設定画面で、[ユーザーロゴ保護] を [オフ] にしているときのみ。

設定	選択肢	説明
ランプ点灯時間初期化	—	ランプを交換したときにランプ点灯時間をゼロに戻します。
全初期化	—	本機の設定を初期化します。

以下の設定は、[全初期化] を実行しても初期値に戻りません。

- ズーム
- ユーザーロゴ
- 背景表示 *
- スタートアップスクリーン *
- A/Vミュート *
- スケジュール設定
- 言語
- 日付 & 時刻
- ネットワークメニューの項目

本機で設定したメニューの内容を、以下の方法で他の複数台のプロジェクターにコピーできます（一括設定機能）。一括設定機能は同じ型番のプロジェクター間でのみ使用できます。

- USBメモリーを使って設定する
- コンピューターとプロジェクターをUSBケーブルで接続して設定する
以下の内容は一括設定機能ではコピーされません。
- [ネットワーク] メニュー（[通知] メニュー、[その他] メニューを除く）
- [プロジェクター情報] メニューの [ランプ点灯時間]、[ステータス]



- 台形補正などの投写画面の調整をする前に一括設定機能を実行してください。一括設定機能では、タテヨコ補正などの投写画面の調整値もコピーされます。投写画面の調整後に一括設定を行うと、調整した投写画面が変わってしまうことがあります。
- 一括設定機能を実行すると、ユーザーロゴもコピーされます。複数のプロジェクター間で共有したくない画像は、ユーザーロゴとして設定しないでください。
- 以下の設定をコピーしたくないときは、[一括設定範囲] を [一部] に設定してください。
 - [パスワードプロテクト] 設定
 - [ネットワーク] メニュー（[通知] メニュー、[その他] メニューを除く）
- [拡張設定] > [動作設定] > [アドバンスト] > [一括設定範囲]

⚠ 注意

一括設定は、お客様の責任において行ってください。停電や通信異常などが原因で一括設定に失敗したときは、有償修理となることがあります。

▶ 関連項目

- 「USBメモリーを使って一括設定する」 [p.145](#)
- 「コンピューターを使って一括設定する」 [p.146](#)

USBメモリーを使って一括設定する

USBメモリーを使用して、同じ型番のプロジェクターにメニュー設定をコピーできます。



- FAT16/32形式でフォーマットされ、セキュリティ機能のついていないUSBメモリーを使用してください。また、空のUSBメモリーを使用してください。一括設定ファイル以外のデータが入っていると、設定が正しく保存されません。
- 本機のメニューからもメニューの一括設定ができます。

- 1 プロジェクターから電源コードを外し、すべてのインジケーターが消えていることを確認します。
- 2 空のUSBメモリーを、コピー元のプロジェクターのUSB-A端子に直接接続します。
- 3 リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押したまま、電源コードをプロジェクターに接続します。
- 4 インジケーターがすべて点灯したら、【戻る】ボタンを離します。インジケーターが点滅に変わると、一括設定ファイルがUSBメモリーに書き込まれます。書き込みが正常に終了すると、プロジェクターがスタンバイ状態になります。

⚠ 注意

ファイルの書き込み中は、プロジェクターから電源コードやUSBメモリーを取り外さないでください。電源コードやUSBメモリーを取り外すと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。

5 USBメモリーを取り外します。

一括設定ファイルのファイル名はPJCONFDATA.binです。ファイル名を変更するときは、半角英数字のみを使用してPJCONFDATAの後に文字列を追加します。ファイル名のPJCONFDATAの部分を変更すると、ファイルが正しく認識されないことがあります。

6 コピー先のプロジェクターから電源コードを外し、すべてのインジケーターが消えていることを確認します。**7** 一括設定ファイルが保存されているUSBメモリーを、コピー先のプロジェクターのUSB-A端子に接続します。**8** リモコンまたは操作パネルの【メニュー】ボタンを押したまま、電源コードをプロジェクターに接続します。**9** インジケーターがすべて点灯したら、【メニュー】ボタンを離します。

インジケーターが点滅に変わると、一括設定の書き込みが始まります。書き込みが正常に終了すると、プロジェクターがスタンバイ状態になります。

⚠ 注意

ファイルの書き込み中は、プロジェクターから電源コードやUSBメモリーを取り外さないでください。電源コードやUSBメモリーを取り外すと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。

10 USBメモリーを取り外します。

コンピューターを使って一括設定する

コンピューターとプロジェクターをUSBケーブルで接続して、同じ型番のプロジェクターにメニュー設定をコピーできます。



- USBケーブルを使用した一括設定機能は、以下のバージョンで使用できます。
 - Windows 10以降
 - macOS 12.x以降
- 本機のメニューからもメニューの一括設定ができます。

1 プロジェクターから電源コードを外し、すべてのインジケーターが消えていることを確認します。**2** コンピューターのUSB端子とコピー元のプロジェクターのUSB-B端子を、USBケーブルで接続します。**3** リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押したまま、電源コードをプロジェクターに接続します。**4** インジケーターがすべて点灯したら、【戻る】ボタンを離します。コンピューター上で、プロジェクターがリムーバブルディスクとして認識されます。

- 5** リムーバブルディスクを開き、一括設定ファイルをコンピューターにコピーして保存します。



一括設定ファイルのファイル名はPJCONFDATA.binです。ファイル名を変更するときは、半角英数字のみを使用してPJCONFDATAの後に文字列を追加します。ファイル名のPJCONFDATAの部分を変更すると、ファイルが正しく認識されないことがあります。

- 6** コンピューター上でUSB機器の取り外し（Windows）、またはリムーバブルディスクの取り出し（Mac）をします。

- 7** USBケーブルを取り外します。
プロジェクターがスタンバイ状態になります。

- 8** コピー先のプロジェクターから電源コードを外し、すべてのインジケーターが消えていることを確認します。

- 9** USBケーブルを、コンピューターのUSB端子とコピー先のプロジェクターのUSB-B端子に接続します。

- 10** リモコンまたは操作パネルの【メニュー】ボタンを押したまま、電源コードをプロジェクターに接続します。

- 11** インジケーターがすべて点灯したら、【メニュー】ボタンを離します。
コンピューター上で、プロジェクターがリムーバブルディスクとして認識されます。

- 12** コンピューターに保存した一括設定ファイル（PJCONFDATA.bin）を、リムーバブルディスクの最上位のフォルダーにコピーします。



一括設定ファイル以外のファイルやフォルダーをリムーバブルディスクにコピーしないでください。

- 13** コンピューター上でUSB機器の取り外し（Windows）、またはリムーバブルディスクの取り出し（Mac）をします。

- 14** USBケーブルを取り外します。
インジケーターが点滅に変わると、一括設定の書き込みが始まります。書き込みが正常に終了すると、プロジェクターがスタンバイ状態になります。

⚠ 注意

ファイルの書き込み中は、プロジェクターから電源コードを外さないでください。電源コードを外すと、プロジェクターが正常に起動しないことがあります。

► 関連項目

- 「一括設定でエラーが発生したときは」 [p.147](#)

一括設定でエラーが発生したときは

一括設定でエラーが発生したときは、インジケーターでお知らせします。インジケーターの状態をご確認ください。

インジケーターの状態	状態と対処方法
<ul style="list-style-type: none">ランプ：橙 速点滅温度：橙 速点滅	一括設定ファイルに異常があるか、USBメモリーまたはUSBケーブルが正しく接続されていない可能性があります。 USBメモリーまたはUSBケーブルを取り外し、プロジェクターの電源コードを抜いて差し直してから、もう一度お試しください。
<ul style="list-style-type: none">電源：青 速点滅ステータス：青 速点滅ランプ：橙 速点滅温度：橙 速点滅	一括設定ファイルの書き込みに失敗して、プロジェクターのファームウェアに異常が生じた可能性があります。 ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

▶ 関連項目

- 「インジケーターの見方」 [p.167](#)

プロジェクターをメンテナンスする

プロジェクターのメンテナンス方法について説明します。

▶ 関連項目

- ・「プロジェクターのメンテナンス」 [p.150](#)
- ・「レンズを清掃する」 [p.151](#)
- ・「本機を清掃する」 [p.152](#)
- ・「エアフィルターと吸排気口をメンテナンスする」 [p.153](#)
- ・「ランプをメンテナンスする」 [p.156](#)
- ・「ファームウェアを更新する」 [p.161](#)

プロジェクターのレンズは定期的に掃除する必要があります。また、エアフィルターや吸排気口も掃除して、本機の内部温度が上昇しないようにしてください。

交換が必要な部品は、ランプ、エアフィルター、およびリモコンの電池のみです。他の部品を交換する必要があるときは、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

⚠ 警告

掃除をするときは、本機の電源をオフにして電源コードを抜いてから行ってください。また、取扱説明書で指示している場合を除き、本機のケースを開けないでください。内部には電圧の高い部分が数多くあり、火災・感電・事故の原因となります。

プロジェクターのレンズは定期的に掃除し、表面に付着したホコリや汚れに気付いたときにも掃除してください。

- レンズのホコリや汚れは、清潔で乾いた市販のメガネ拭きなどで軽く拭き取ってください。
- ホコリやゴミが多いときは、プロアーで取り除いてからレンズを拭いてください。

⚠ 警告

- レンズを掃除するときは、本機の電源をオフにして電源コードを抜いてから行ってください。
- レンズに付着したゴミ・ホコリの除去にエアダスターなどの可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。本機の内部は高温になっているため、引火による火災の原因となります。

注意

- 光源消灯後すぐにレンズを拭かないでください。レンズが傷つく原因になります。
- レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。

本機の掃除をするときは、本機の電源をオフにして電源コードを抜いてください。

- ・ホコリや汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。
- ・汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくしぼり、軽くふき取ってから乾いた布で仕上げてください。本機に液体を直接スプレーしないでください。

注意

ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください。ケースが変質、変色することがあります。エアダスターを使用しないでください。可燃性の物質が残留するおそれがあります。

エアフィルターは定期的にメンテナンスしてください。プロジェクターの内部温度が高くなっていることを示すメッセージが表示されたら、エアフィルターを掃除してください。エアフィルターの掃除は10,000時間を目安に行ってください。ホコリの多い環境でお使いの場合は、より短い周期で掃除してください。

注意

定期的にメンテナンスをしないと、プロジェクターの内部温度が高くなったりときにメッセージが表示されます。内部の温度が上昇すると、故障や光学部品の早期劣化の原因となります。メッセージが表示されたらすみやかにエアフィルターを掃除してください。

▶関連項目

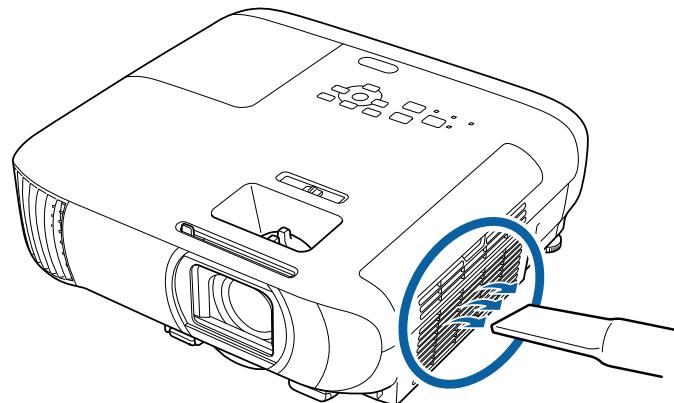
- 「エアフィルターと吸排気口を清掃する」 p.153
- 「エアフィルターを交換する」 p.153

エアフィルターと吸排気口を清掃する

エアフィルターおよび吸排気口は、汚れたときや掃除を促すメッセージが表示されたときに掃除してください。

- 1 本機の電源を切り、電源コードを抜きます。

- 2 コンピューター用の小型掃除機か、柔らかいブラシでホコリを丁寧に取り除きます。



エアフィルターは取り外しできるため、両面を掃除できます。エアフィルターは水洗いできません。洗剤や溶剤も使わないでください。

注意

エアダスターは使用しないでください。可燃性の物質が残留したり、精密部分にホコリが入り込むおそれがあります。

- 3 ホコリを取り除くことができない場合や、エアフィルターが破損している場合は、新しいエアフィルターと交換してください。

エアフィルターを交換する

以下の場合は、エアフィルターを交換してください。

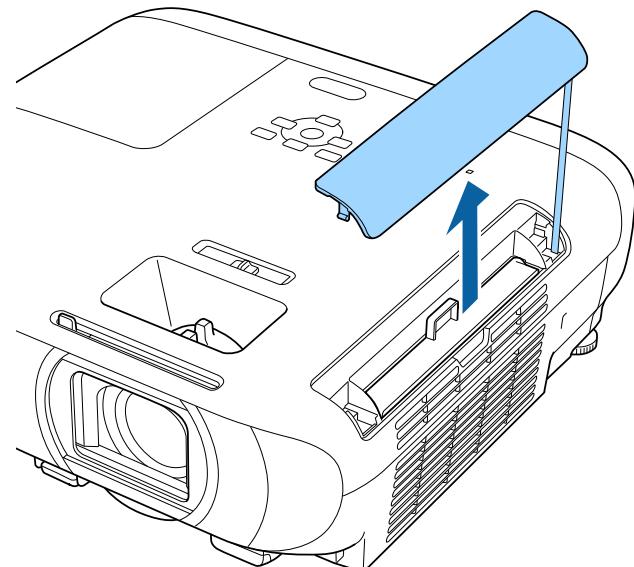
- エアフィルターの清掃後に、清掃または交換を促すメッセージが表示される

- エアフィルターが破損している

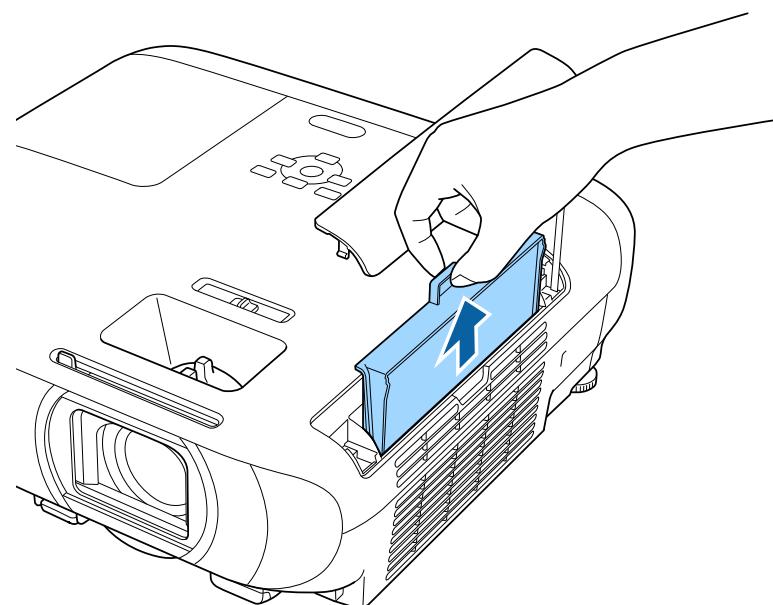
本機は天吊り設置したままでもエアフィルターの交換ができます。

1 本機の電源を切り、電源コードを抜きます。

2 エアフィルターカバーを開けます。



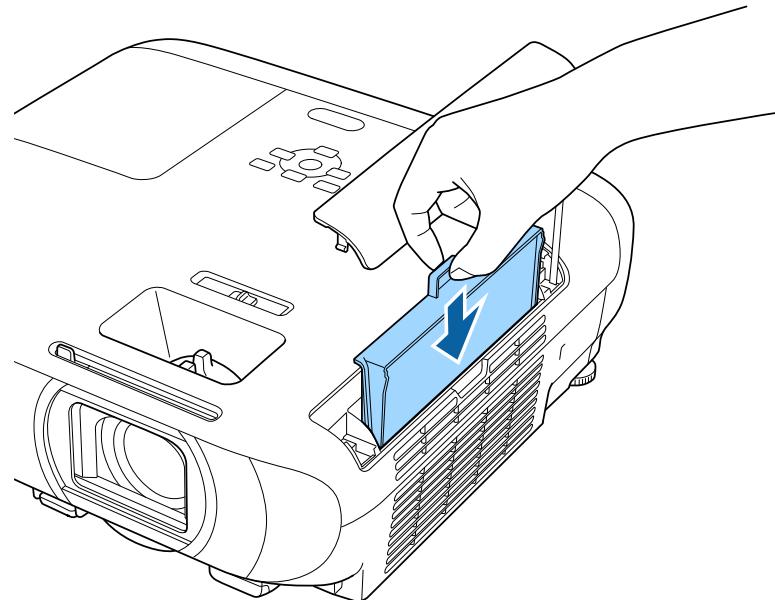
3 エアフィルターを取り外します。



使用済みのエアフィルターは、国や地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。

- フィルターの枠：ABS
- フィルター：ポリウレタンフォーム

- 4** 新しいエアフィルターを差し込み、カチッと音がするまで丁寧に押し込みます。



- 5** エアフィルターカバーを閉めます。

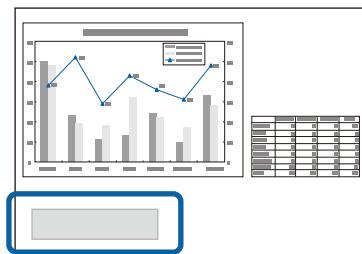
► 関連項目

- ・「消耗品」 p.189

ランプの点灯時間は情報メニューで確認できます。

以下の場合は、ランプを交換してください。

- 初期に比べ、明るさや画質が落ちたとき
- ランプの交換を促すメッセージが表示されたとき（メッセージはランプ寿命の100時間前に到達したときに表示され、30秒経過すると消えます）



- 電源インジケーターが青色に点滅して、ランプインジケーターが橙色に点滅したとき

注意

- ランプ寿命を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性があります。ランプ交換のメッセージが表示されたら、まだランプが点灯する状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。
- 電源オフ直後に電源をオンにする操作を繰り返さないでください。頻繁に電源オフ/オンを繰り返すと、ランプ寿命が短くなるおそれがあります。
- 個々のランプの特性や使用条件などで、ランプ交換のメッセージが表示される前に暗くなったり、点灯しなくなることがあります。交換用ランプをあらかじめ準備しておくことをお勧めします。
- プロジェクターの性能を十分に発揮するために、エプソン純正品の交換用ランプをお使いください。純正品以外のランプを使用すると、プロジェクター本体に品質面、安全面で悪影響を及ぼす可能性があります。純正品以外のランプを使用して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内でも有償修理となります。

▶ 関連項目

- 「ランプを交換する」 [p.156](#)
- 「ランプ点灯時間を初期化する」 [p.159](#)
- 「本機仕様」 [p.193](#)
- 「インジケーターの見方」 [p.167](#)

ランプを交換する

本機は天吊り設置したままでもランプの交換ができます。

⚠ 警告

- ランプが十分冷えてからランプカバーを外してください。熱で、やけど・けがの原因となることがあります。ランプが十分冷えるには、電源を切つてから約1時間必要です。
- ランプの分解・改造は、絶対にしないでください。分解・改造したランプをセットして本機を使用すると、火災・感電・事故の原因となります。

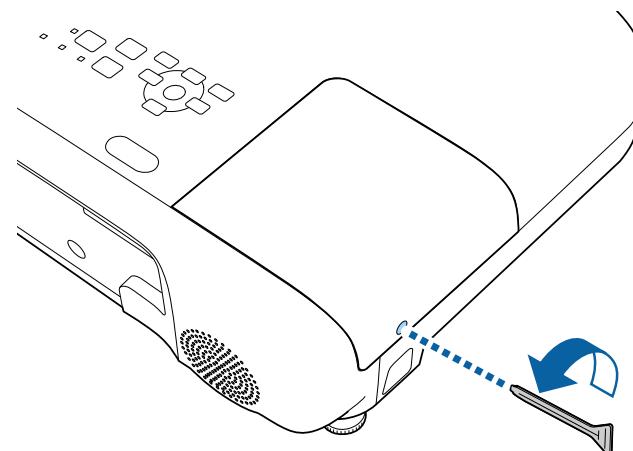
1 本機の電源を切り、電源コードを抜きます。

2 ランプを最低1時間冷します。

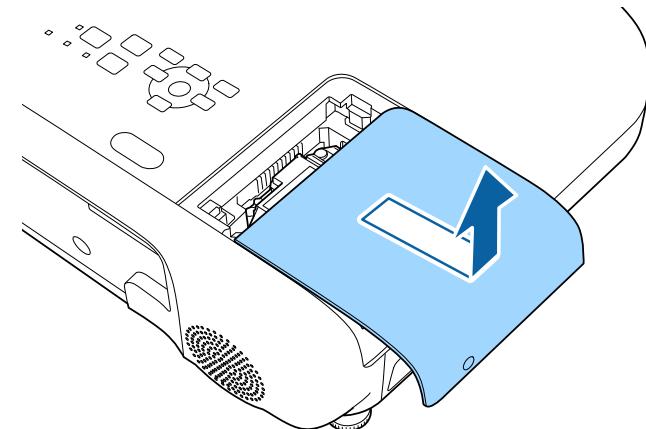
- 3 ランプカバーの固定ネジを、交換用ランプに同梱のドライバーまたは+のドライバーでゆるめます。

警告

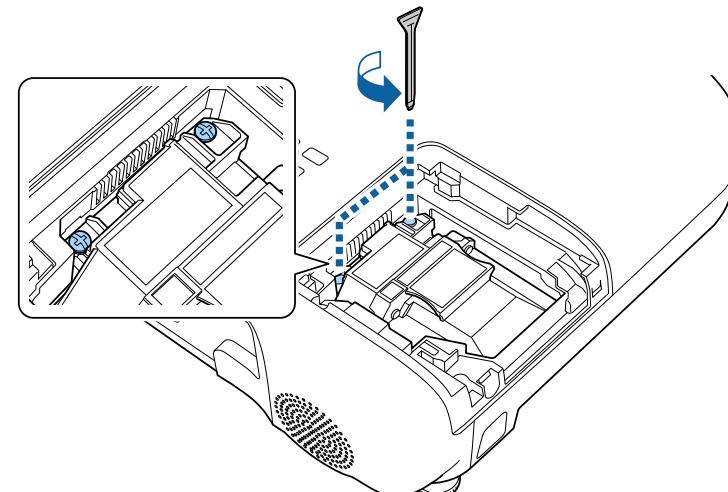
ランプが点灯しなくなつて交換するときは、ランプが割れている可能性があります。本機を天吊り設置した状態でランプ交換を行うときは、ランプが割れていることを想定し、ランプカバーの真下に立たず横から作業してください。また、ランプカバーをそつと取り外してください。ランプカバーを取り外す際に細かいガラス破片が落ちてくる可能性があり、けがの原因となります。万一、目や口にガラス破片が入ったときは、直ちに医師の診察を受けてください。



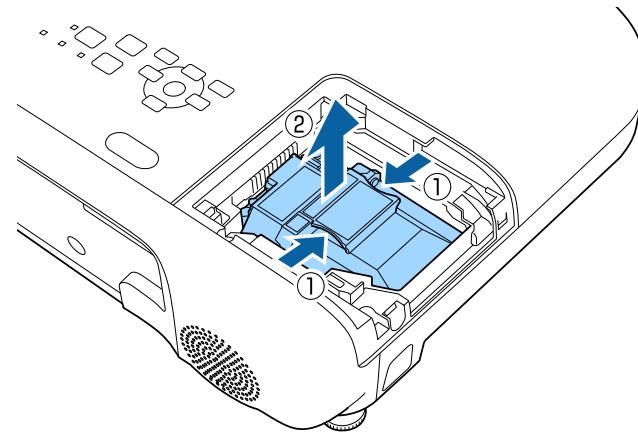
- 4 ランプカバーをまっすぐスライドさせて、持ち上げて外します。



- 5 ランプ固定ネジをゆるめます。ネジが完全に外れることはあります。

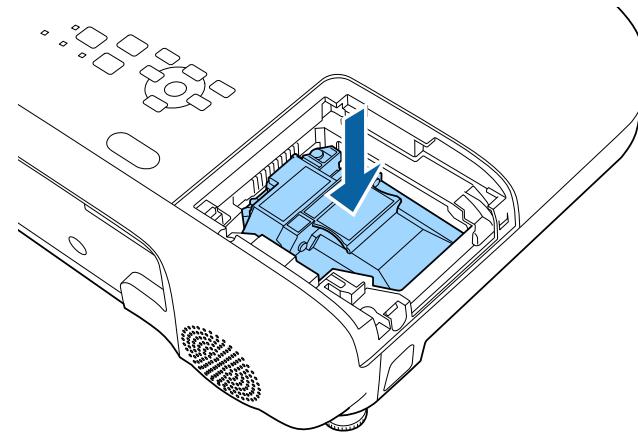


6 ランプの突起部をつまんで取り出します。



- ランプが割れているときは、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
- 本製品のランプには水銀（Hg）が含まれています。国や地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。一般ゴミに混ぜないでください。

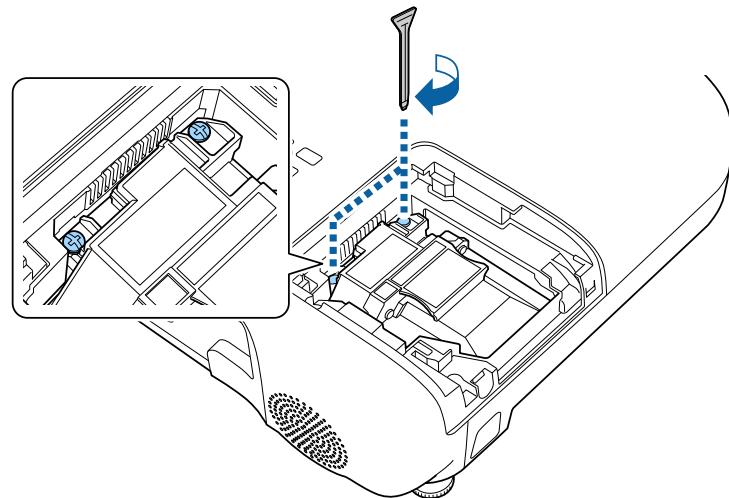
7 新しいランプを取り付けます。ランプを収納部の形に合う向きでガイドレールに沿って入れ、しっかりと押し込みます。



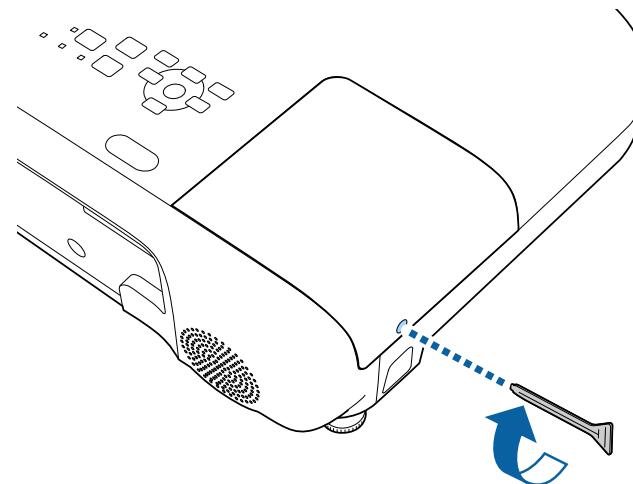
注意

ランプのガラス部分に触れないでください。

8 ランプ固定ネジを締めます。



9 ランプカバーを取り付けます。



- ・ランプは確実に取り付けてください。本機は安全のため、ランプカバーを外すと自動的にランプが消灯します。ランプやランプカバーの取り付けが不十分だと点灯しません。
- ・ランプカバーの浮きや変形がないことを確認してから使用してください。

ランプ点灯時間をゼロに初期化して、新しいランプの点灯時間をカウントします。

► 関連項目

- ・「消耗品」 p.189

ランプ点灯時間を初期化する

本機はランプ点灯時間を記憶し、累計が交換時間に達するとメッセージやインジケーターでお知らせします。ランプ交換を実施した後は、初期化メニューでランプ点灯時間の累計を初期化してください。



ランプ点灯時間の初期化は、ランプを交換したとき以外は行わないでください。ランプの交換時期が正しく表示されなくなります。

1 本機の電源を入れます。

2 【メニュー】ボタンを押し、【初期化】を選択して、【決定】ボタンを押します。

3 【ランプ点灯時間初期化】を選択し、【決定】ボタンを押します。



ランプ点灯時間を初期化するかを確認するメッセージが表示されます。

4 [はい] を選択して【決定】ボタンを押します。

5 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。



ソフトウェアやファームウェアを更新すると、今まで起こっていたトラブルの解消、機能の改善や追加などができます。最新版のソフトウェアやファームウェアをお使いください。

ソフトウェアやファームウェアの最新バージョンは、EPSONのWebサイトからダウンロードできます。

epson.jp/support/download/

▶ 関連項目

- 「USBストレージを使ってファームウェアを更新する」 p.161
- 「ネットワーク経由でファームウェアを更新する」 p.162

USBストレージを使ってファームウェアを更新する

USBストレージを使って、プロジェクターのファームウェアを更新します。



- ファームウェアの更新は、お客様の責任において行ってください。停電や通信異常などが原因でファームウェアの更新に失敗したときは、修理費用が有償となることがあります。
- USBストレージを使ってファームウェアを更新する場合は、[ログ保存先] を [内部メモリー] に設定する必要があります。
👉 [拡張設定] > [動作設定] > [アドバンスト] > [ログ保存先]

1 エプソンのホームページからお使いのプロジェクター用のファームウェアファイルをダウンロードします。

2 ダウンロードしたファームウェアファイルを、USBストレージのルート（最上位のフォルダー）にコピーします。



- USBストレージはFAT形式でフォーマットしたものを使用してください。
- USBストレージ内に、ファームウェアファイル以外のファイルをコピーしないでください。
- ファームウェアファイルのファイル名は変更しないでください。ファイル名を変更すると、ファームウェアの更新が開始されません。
- ダウンロードしたファームウェアファイルが、お使いのプロジェクター用のファイルであることを確認してください。ファームウェアファイルが正しくないときは、ファームウェアの更新は始まりません。

3 本機のUSB-A端子にUSBストレージを接続します。



USBストレージは、プロジェクターに直接接続してください。USBハブを介してUSBストレージを接続すると、ファームウェアの更新が正常に行われないことがあります。

4 【メニュー】ボタンを押し、[情報] を選択して【決定】ボタンを押します。

- 5 [ファームウェア更新] を選択して【決定】ボタンを押します。



ネットワークファームウェアの更新中は [ファームウェア更新] を選択できません。選択できたとしても、[USB経由で実行] から [はい] を選択しても本体ファームウェアの更新は始まりません。ネットワークファームウェアの更新が完了するまでお待ちください。本体ファームウェアの更新が実行できるようになります。

- 6 [USB経由で実行] を選択して【決定】ボタンを押します。

- 7 [はい] を選択して、ファームウェア更新を開始します。

ファームウェア更新画面が表示されます。

- 8 [List update] を選択して【決定】ボタンを押します。

- 9 リストに表示されたファイルを選択して【決定】ボタンを押します。

- 10 [Transfer] を選択して【決定】ボタンを押し、ファームウェアの更新を開始します。



- ファームウェアの更新中は、プロジェクターから電源コードを外さないでください。電源コードを外すと、プロジェクターが正常に起動しないことがあります。
- ファームウェアの更新中は、プロジェクターからUSBストレージを外さないでください。USBストレージを取り外すと、ファームウェアの更新が正常に行われないことがあります。

プロジェクターのインジケーターがすべて点灯から点滅に変わり、ファームウェアの更新が始まります。

- 11 更新が完了したら [Reboot] が表示されます。[Reboot] を選択して【決定】ボタンを押します。

更新が終わったら、[情報] メニューの [バージョン] が正しく更新されているかを確認します。



- すべてのインジケーターが高速で点滅するときは、ファームウェアの更新が失敗した可能性があります。プロジェクターから電源コードを抜いて、もう一度差し直してください。電源コードを差し直しても点滅するときは、コンセントから電源プラグを抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
- ファームウェアの更新がタイムアウトするなどしてうまくいかないときは、以下について確認してください。
 - USBストレージに十分な空き容量があるか
 - USBストレージが書き込み禁止になっていないか

ネットワーク経由でファームウェアを更新する

サーバー上に最新のファームウェアがアップロードされると、ネットワーク経由でプロジェクター本体のファームウェア更新ができるようになります。

ファームウェア更新の手順は、[ネットワーク] メニューの [ファームウェア更新設定] の設定により異なります。

- [通知する]：プロジェクターの電源を入れたときにファームウェア更新の確認画面を表示します。
[OK] ボタンを選択して更新を開始します。
- [通知しない]：[情報] メニューからファームウェアの更新ができます。

- ・ [深夜に自動更新]：プロジェクターがスタンバイ状態のとき、0:00～4:00の間に自動でファームウェアの更新をします。
- ・ [オフ]：ネットワーク経由でファームウェアの更新ができません。



- ・ ネットワーク経由でファームウェアを更新するには、DNSサーバーを設定している必要があります。

使用しているネットワークに応じて [無線LAN] メニューの [IP設定] で [DHCP] を [オン] に設定してください。[DHCP] を [オフ] に設定している、またはDNSサーバーのアドレスを別に設定したい場合は、[DNSサーバー1] または [DNSサーバー2] でIPアドレスを入力してください。

👉 [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [無線LAN]

- ・ Epson Projector Management Connectedを使用している場合は、[ネットワーク] メニューの [ファームウェア更新設定] を [オフ] に設定することをお勧めします。

[ネットワーク] メニューの [ファームウェア更新設定] を [通知しない] に設定しているときは、以下の手順でファームウェアを更新します。[ファームウェア更新設定] を [通知する] に設定していて、プロジェクターの電源オン時に [OK] を選択しなかった場合や、[深夜に自動更新] に設定していてもプロジェクターの電源が入っていたため更新されなかった場合も同様の手順でファームウェアを更新できます。

1 【メニュー】ボタンを押し、[情報] を選択して【決定】ボタンを押します。

2 [ファームウェア更新] を選択して【決定】ボタンを押します。

- 3** [ネットワーク経由で実行] を選択して【決定】ボタンを押します。



- ・ サーバー上に最新のファームウェアがアップロードされていない場合は、[ネットワーク経由で実行] を選択できません。
- ・ [ネットワーク] メニューの [ファームウェア更新設定] を [オフ] に設定している場合は [ネットワーク経由で実行] を選択できません。

- 4** [はい] を選択して、ファームウェア更新を開始します。



ファームウェアの更新中は、プロジェクターから電源コードを外さないでください。電源コードを外すと、プロジェクターが正常に起動しないことがあります。

プロジェクターのインジケーターがすべて点灯から点滅に変わり、ファームウェアの更新が始まります。更新が正常に終了すると、プロジェクターがスタンバイ状態になります。[拡張設定] メニューの [ダイレクトパワーオン] が [オン] に設定されているときは、更新後に自動で電源が入ります。

更新が終わったら、[情報] メニューの [バージョン] が正しく更新されているかを確認します。



すべてのインジケーターが高速で点滅するときは、ファームウェアの更新が失敗した可能性があります。プロジェクターから電源コードを抜いて、もう一度差し直してください。電源コードを差し直しても点滅するときは、コンセントから電源プラグを抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

▶ 関連項目

- ・「ネットワークメニュー」 [p.127](#)
- ・「情報メニュー」 [p.140](#)

困ったときに

想定されるトラブルと、その対処方法について説明します。

▶ 関連項目

- ・「トラブルの対処方法」 [p.166](#)
- ・「インジケーターの見方」 [p.167](#)
- ・「ヘルプの見方」 [p.170](#)
- ・「映像や音声に関するトラブル」 [p.171](#)
- ・「プロジェクター、リモコンの操作に関するトラブル」 [p.176](#)
- ・「ネットワークに関するトラブル」 [p.178](#)
- ・「HDMIリンクで操作できない」 [p.187](#)

プロジェクターが正しく動作しないときは、一度電源を切り、電源コードを差し直してから再度電源を入れます。

問題が解決しないときは、以下を確認します。

- ・インジケーターで本機の状態を確認する。
- ・ヘルプでトラブル発生時の解決方法を確認する。
- ・本書に記載の対処方法を確認する。

問題が解決しないときは、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

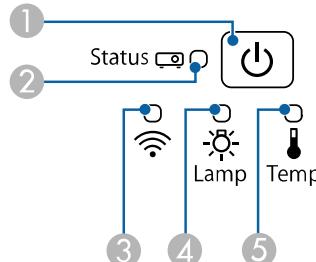


本機を修理に出された場合、初期化してお返しすることがあります。各種オンラインサービスのアカウント情報を必ずお控えの上、修理をご依頼ください。

インジケーターは、本機の状態をお知らせします。インジケーターの色と状態を確認し、以下の表から対処方法を確認してください。



各インジケーターがこの表にない状態のときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。



- ① 電源インジケーター
- ② ステータスインジケーター
- ③ 無線LANインジケーター
- ④ ランプインジケーター
- ⑤ 温度インジケーター

プロジェクターの状態

インジケーターの状態	状態と対処方法
電源：青点灯 ステータス：青点灯 ランプ：消灯 温度：消灯	投影中の状態です。

インジケーターの状態	状態と対処方法
電源：青点灯 ステータス：青点滅 ランプ：消灯 温度：消灯	ウォームアップ中、シャットダウン中、またはクールダウン中です。 ウォームアップ中の場合は、約30秒経つと映像が表示されます。 ウォームアップ中、シャットダウン中、またはクールダウン中は、すべてのボタン操作が無効になります。
電源：青点灯 ステータス：消灯 ランプ：消灯 温度：消灯	スタンバイ状態、スリープモード、ネットワーク監視状態のいずれかの状態です。 電源ボタンを押すと、投写を開始します。
電源：青点滅 ステータス：消灯 ランプ：消灯 温度：消灯	ネットワーク監視の準備状態のため、すべての操作が無効になります。
電源：青点滅 ステータス：状態依存 ランプ：状態依存 温度：橙点滅	内部温度が高くなっています。 <ul style="list-style-type: none"> エアフィルターや排気口がふさがっていないか、周辺の物や壁で通気が妨げられていないか確認します。 エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除または交換します。 高温にならない環境で使用するようにします。

インジケーターの状態	状態と対処方法
電源：消灯 ステータス：青点滅 ランプ：消灯 温度：橙点灯	<p>内部高温異常（オーバーヒート）状態です。自動的に消灯し、投写できなくなります。電源を切った状態で5分間待ち、温度を下げます。</p> <ul style="list-style-type: none"> エアフィルターや排気口がふさがれていなか、周辺の物や壁で通気が妨げられていないか確認します。 高温にならない環境で使用するようにします。 エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除または交換します。 標高1,500m以上の場所でお使いのときは、[高地モード]を[オン]に設定します。 👉 [拡張設定] > [動作設定] > [高地モード] 問題が解決しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

インジケーターの状態	状態と対処方法
電源：消灯 ステータス：青点滅 ランプ：橙点灯 温度：消灯	<p>ランプ異常、ランプ点灯失敗状態です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ランプを取り出して、ランプが割れていないか確認します。必要に応じて、ランプを取り付け直すか、交換します。 エアフィルターを掃除します。 標高1,500m以上の場所でお使いのときは、[高地モード]を[オン]に設定します。 👉 [拡張設定] > [動作設定] > [高地モード] 問題が解決しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。 <p>ランプカバー開放状態です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ランプとランプカバーが確実に取り付けられているか確認してください。ランプとランプカバーの取り付けが不完全なときはランプが点灯しません。
電源：青点滅 ステータス：状態依存 ランプ：橙点滅 温度：状態依存	ランプの交換勧告です。新しいランプに交換します。ランプ寿命を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性があります。
電源：消灯 ステータス：青点滅 ランプ：消灯 温度：橙点滅	ファン異常またはセンサー異常状態です。 ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
電源：消灯 ステータス：青点滅 ランプ：橙点滅 温度：消灯	内部異常状態です。 ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

インジケーターの状態	状態と対処方法
電源：消灯 ステータス：青点滅 ランプ：橙点滅 温度：橙点滅	オートアイリス異常状態です。ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
電源：消灯 ステータス：青点滅 ランプ：橙点灯 温度：橙点灯	電源系異常（バラスト）状態です。ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

無線LANの状態

無線LANインジケーターの状態	状態と対処方法
青点灯	無線LANを使用できます。
速い青点滅	機器に接続中です。
遅い青点滅	異常状態です。本機の電源を切り、再度電源を入れます。
消灯	無線LANを使用できません。無線LANの設定が正しいことを確認してください。

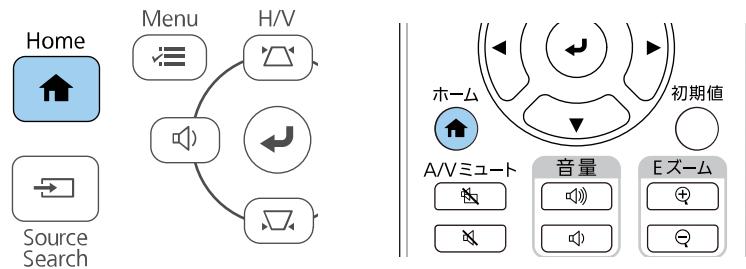
▶ 関連項目

- 「エアフィルターと吸排気口を清掃する」 [p.153](#)
- 「エアフィルターを交換する」 [p.153](#)
- 「ランプを交換する」 [p.156](#)

トラブルの解決方法を表示します。

1 本機の電源を入れます。

2 操作パネルまたはリモコンの【ホーム】ボタンを押します。



3 ホーム画面で【ヘルプ】を選択します。



ヘルプメニューが表示されます。

4 上下ボタンを使用して、解決したい問題を選択します。

【ヘルプ】

- 映像が小さい。 ↗
- 映像が台形に投写される。
- 色合いがおかしい。
- 音が出ない・小さい。

5 【決定】ボタンを押して、対処方法を表示します。

6 確認が終わったら、以下のいずれかの操作をします。

- 他の問題を選ぶ場合は【戻る】ボタンを押します。
- ヘルプを終了する場合は【メニュー】ボタンを押します。

投写映像や音声に関するトラブルの対処方法を確認してください。

▶ 関連項目

- ・「映像が表示されない」 [p.171](#)
- ・「「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示される」 [p.171](#)
- ・「この信号は本プロジェクターでは受けられません」というメッセージが表示される」 [p.172](#)
- ・「映像の一部が表示されない」 [p.173](#)
- ・「映像がゆがむ」 [p.173](#)
- ・「映像にノイズが入る、乱れる」 [p.173](#)
- ・「映像がぼやける」 [p.174](#)
- ・「映像の明るさや色合いが違う」 [p.174](#)
- ・「音が出ない、小さい」 [p.175](#)
- ・「PC Freeで画像ファイル名が正しく表示されない」 [p.175](#)

映像が表示されない

映像が表示されないときは、次の対処方法を確認してください。

- ・レンズカバーを完全に開けます。
- ・リモコンの【A/Vミュート】ボタンを押して、映像が一時的に消されていないか確認します。
- ・必要なケーブルがすべて接続されていること、本機の電源が入っていること、接続された映像機器の電源が入っていることを確認します。
- ・メディアストリーミング端末から投写するときは、USB給電ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
- ・接続機器がHDMI CEC規格に準拠しているか確認します。詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。
- ・スタンバイ状態、スリープモードから復帰するには、本機の電源ボタンを押します。また、接続されたコンピューターがスリープ状態でないか、黒一色のスクリーンセーバーが表示されていないか確認します。

- ・操作パネルのボタンを押してもプロジェクターが反応しないときは、ボタン操作がロックされている可能性があります。【操作ボタンロック】を解除するか、リモコンを使用して本機の電源を入れます。
☞ [設定] > [ロック設定] > [操作ボタンロック]
- ・【画質】メニューの【明るさ】を調整します。
- ・【明るさ切替】を【高】に設定します。
☞ [節電] > [明るさ切替]
- ・【拡張設定】メニューの【表示設定】で、【メッセージ表示】を【オフ】に設定します。
- ・著作権保護された動画をコンピューターで再生すると、プロジェクターから投写されないことがあります。詳しくはコンピューターの取扱説明書をご覧ください。
- ・Windows Media Centerで映像を投写するときは、全画面表示を使用せず、縮小画面表示にしてください。
- ・Windows DirectXを使用するアプリケーションは、正しく表示されないことがあります。

▶ 関連項目

- ・「映像メニュー」 [p.120](#)
- ・「画質メニュー」 [p.118](#)
- ・「節電メニュー」 [p.138](#)
- ・「拡張設定メニュー」 [p.124](#)
- ・「操作ボタンロックを解除する」 [p.79](#)

「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示される

「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示されるときは、次の対処方法を確認してください。

- ・【入力検出】ボタンを押し、映像が表示されるまで数秒待ちます。
- ・接続された映像機器の電源を入れ、必要な場合はプレゼンテーションや動画の再生を開始します。
- ・投写に必要なケーブルがすべて接続されているか確認します。
- ・ノートパソコンから投写するときは、コンピューターの画面出力を切り替えて、プロジェクターに映像を表示します。
- ・必要に応じて、本機および接続された映像機器の電源を一度切ってから、再度電源を入れます。
- ・ビデオ機器のCEC電源運動機能を有効にして、電源を入れ直します。
- ・HDMIケーブルで接続しているときは、より短いケーブルに交換して試してください。

▶ 関連項目

- ・「Windowsのノートパソコンから映像を出力する」 [p.172](#)
- ・「Macのノートパソコンから映像を出力する」 [p.172](#)

Windowsのノートパソコンから映像を出力する

ノートパソコンから投写時に「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示されるときは、コンピューターの画面出力を切り替えて、プロジェクターに映像を表示します。

- 1 ノートパソコンの [Fn] キーを押しながら、モニターのアイコンや [CRT/LCD] が印字されているキーを押します。映像が表示されるまで数秒待ちます。
- 2 ノートパソコンの画面とプロジェクターの両方で映像を表示するには、もう一度同じキーを押します。

3 ノートパソコンとプロジェクターで同じ映像が表示されないときは、Windowsの [ディスプレイ] ユーティリティで、外部モニター端子が有効であるか、拡張ディスプレイが無効になっているかを確認します。

4 必要に応じて、ビデオカードの設定を確認し、マルチディスプレイオプションを [クローン] または [ミラー] に設定します。

Macのノートパソコンから映像を出力する

Macのノートパソコンからの投写時に、「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示されるときは、コンピューターの設定でディスプレイをミラーリングします。(詳しくはお使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。)

- 1 [システム環境設定] を開き、[ディスプレイ] を選択します。
- 2 必要に応じて、[ディスプレイ] または [カラーLCD] を設定します。
- 3 [調整] または [アレンジメント] をクリックします。
- 4 [ディスプレイをミラーリング] を選択します。

「この信号は本プロジェクターでは受けられません」というメッセージが表示される

「この信号は本プロジェクターでは受けられません」というメッセージが表示されるときは、次の対処方法を確認してください。

- ・[映像]メニューで正しい入力信号方式が選択されているか確認します。
- ・コンピューターのディスプレイ解像度が本機の対応解像度、周波数と合っているか確認します。必要に応じて、コンピューターのディスプレイ解像度を変更します。

▶関連項目

- ・「映像メニュー」 [p.120](#)
- ・「対応解像度」 [p.192](#)

映像の一部が表示されない

映像が部分的にしか表示されないときは、次の対処方法を確認してください。

- ・[映像]メニューの【アスペクト】でアスペクト比を変更します。
- ・【Eズーム】ボタンで映像を拡大/縮小したときは、【初期値】ボタンを押してEズームを解除します。
- ・コンピューターのディスプレイ設定でデュアルディスプレイが無効になっているか、本機の対応解像度に合った設定がされているか確認します。
- ・プレゼンテーションファイルが本機の対応解像度を超えていないか確認します。
- ・正しい設置モードを選択していることを確認します。【拡張設定】メニューの【設置モード】で選択できます。

▶関連項目

- ・「映像メニュー」 [p.120](#)
- ・「拡張設定メニュー」 [p.124](#)
- ・「対応解像度」 [p.192](#)

映像がゆがむ

投写画面がゆがむときは、次の対処方法を確認してください。

- ・投写面に対してプロジェクターを平行に設置します。
- ・[設定]メニューで、【自動タテ補正】を【オン】にします。本機を動かすと、自動的に投写映像が補正されます。
☞ [設定] > [台形補正] > [タテヨコ] > [自動タテ補正]
- ・[設定]メニューで、【スライド式ヨコ補正】を【オン】にします。スライダーを左右に移動させて、映像が長方形に表示されるように調整します。
☞ [設定] > [台形補正] > [タテヨコ] > [スライド式ヨコ補正]
- ・操作パネルの台形補正ボタンを押して映像のゆがみを補正します。
- ・Quick Cornerを使って、コーナーの形状を個別に補正します。
☞ [設定] > [台形補正] > [Quick Corner]

▶関連項目

- ・「自動タテ補正」 [p.43](#)
- ・「台形補正ボタンで映像のゆがみを補正する」 [p.44](#)
- ・「Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する」 [p.45](#)
- ・「ヨコ補正スライダーで映像のゆがみを補正する」 [p.43](#)

映像にノイズが入る、乱れる

投写映像に電子的な干渉（ノイズ）や妨害が入るときは、次の対処方法を確認してください。

- ・本機と映像機器を接続しているケーブルの状態を確認します。ケーブルが以下の状態であることを確認してください。
 - ・干渉を受けないように、電源コードから離れている
 - ・ケーブルの両端が確実に接続されている

- ・延長ケーブルを使用していない
- ・[映像] メニューの設定が、接続している機器に合っているか確認します。
- ・[画質] メニューの「プログレッシブ変換」と「ノイズリダクション」が設定できる入力ソースのときは、これらの設定をします。
 - 👉 [画質] > [イメージ強調] > [ノイズリダクション]
 - 👉 [画質] > [イメージ強調] > [プログレッシブ変換]
- ・コンピューターのディスプレイ解像度やリフレッシュレートが本機の対応解像度、リフレッシュレートと合っているか確認します。
- ・映像のゆがみを補正したときは、[画質] メニューで「シャープネス」を低い値に設定し、投写映像の画質を向上させます。
- ・延長ケーブルを使用して電源に接続しているときは、延長ケーブルを使わずに投写して、映像にノイズが入らないか確認します。

▶ 関連項目

- ・「映像メニュー」 [p.120](#)
- ・「画質メニュー」 [p.118](#)
- ・「対応解像度」 [p.192](#)

映像がぼやける

投写映像がぼやけるときは、次の対処方法を確認してください。

- ・映像のピントを合わせます。
- ・投写距離の推奨範囲内に設置します。
- ・映像の高さ調整のために本機の傾斜角度を大きくすると映像がゆがみます。傾斜角度を小さくして補正時の調整値を小さくします。
- ・本機のレンズを掃除します。



寒い場所から暖かい場所に持ち込んだときは、レンズの表面が結露して映像がぼやけることがあります。お使いになる1時間くらい前に、通電しない状態で本機を設置するようにします。

- ・[画質] メニューで「シャープネス」を調整して、投写映像の画質を上げます。
- ・コンピューターから映像を投写しているときは、解像度を下げるか、本機の解像度に合わせて解像度を変更します。

▶ 関連項目

- ・「自動タテ補正」 [p.43](#)
- ・「映像メニュー」 [p.120](#)
- ・「画質メニュー」 [p.118](#)
- ・「対応解像度」 [p.192](#)
- ・「フォーカスリングで映像のピントを調整する」 [p.48](#)
- ・「レンズを清掃する」 [p.151](#)

映像の明るさや色合いが違う

投写映像が暗すぎたり明るすぎるとき、また色合いが正しく表示されないときは、次の対処方法を確認してください。

- ・[画質] メニューの「カラーモード」で、映像と投写環境に合うカラーモードを選択します。
- ・お使いのビデオ機器の設定を確認します。
- ・[画質] メニューで「明るさ」、「コントラスト」、「色合い」、「色の濃さ」などを設定します。
- ・[映像] メニューで「ビデオレンジ」を正しく設定します。
 - 👉 [映像] > [アドバンスト] > [ビデオレンジ]
- ・必要なケーブルが本機とビデオ機器に確実に接続されていることを確認します。ケーブルが長いときは、短いケーブルで接続します。

- ・ [明るさ切替] で [低] を選択しているときは、[高] に設定します。
☛ [節電] > [明るさ切替]



高地や高温になりやすい場所では、映像が暗めに表示されます。このときは [明るさ切替] が設定できないことがあります。

- ・ 投写距離の推奨範囲内に設置します。
- ・ 映像が次第に暗くなる場合は、プロジェクターランプを早めに交換してください。

► 関連項目

- ・ 「映像を最適化する（カラーモード）」 [p.53](#)
- ・ 「映像メニュー」 [p.120](#)
- ・ 「画質メニュー」 [p.118](#)
- ・ 「節電メニュー」 [p.138](#)

音が出ない、小さい

音が出ない、小さすぎるなどの問題があるときは、次の対処方法を確認してください。

- ・ 本機の音量設定を調整します。
- ・ 一時的に映像と音を消した場合は、リモコンの【A/Vミュート】ボタンを押して、映像と音を再開します。
- ・ コンピューター、ビデオ機器の音量が大きくなっているか、音声出力が正しく設定されているか確認します。
- ・ プロジェクターとビデオ機器のケーブルが正しく接続されているか確認します。
- ・ 接続するオーディオケーブルは「抵抗なし」と表記されているものを使用します。

- ・ [拡張設定] メニューで [A/V出力設定] を正しい音声入力に設定します。
- ・ HDMIケーブルで接続している機器の音声が出ないときは、接続機器の音声出力をPCMに設定します。
- ・ MacとプロジェクターをHDMIケーブルで接続していて音が出ないときは、Macが HDMI端子からの音声出力に対応しているか確認します。
- ・ コンピューターの音量を最小、プロジェクターの音量を最大に設定していると、ノイズが入ることがあります。コンピューターの音量を上げて、プロジェクターの音量を下げてください。（Epson iProjection (Windows/Mac)を使用する場合）

► 関連項目

- ・ 「プロジェクターを接続する」 [p.23](#)
- ・ 「設定メニュー」 [p.121](#)
- ・ 「拡張設定メニュー」 [p.124](#)
- ・ 「節電メニュー」 [p.138](#)
- ・ 「音量ボタンで音量を調整する」 [p.55](#)

PC Freeで画像ファイル名が正しく表示されない

ファイル名の文字数が表示幅を超える場合や、非対応の記号が含まれている場合は、PC Free機能ではファイル名が短縮または変更されます。ファイル名を短縮もしくは変更してください。

プロジェクター、リモコンの操作に関するトラブルの対処方法を確認してください。

▶ 関連項目

- ・「電源が入らない、予期せず切れる」 [p.176](#)
- ・「リモコンで操作できない」 [p.176](#)
- ・「パスワードが入力できない」 [p.177](#)
- ・「時刻を保持する電池残量が低下しています」というメッセージが表示される」 [p.177](#)

電源が入らない、予期せず切れる

電源ボタンを押しても本機の電源が入らない、予期せず電源が切れるときは、次の対処方法を確認してください。

- ・電源コードが本機とコンセントに確実に接続されていることを確認します。
- ・リモコンの電源ボタンを押しても本機の電源が入らないときは、リモコンの電池を確認します。また、[設定] メニューの「[リモコン受光部]」で、いずれかの受光部がオンになっていることを確認します。
- ・本機のボタンはセキュリティー上の目的でロックされていることがあります。[操作ボタンロック] を解除するか、リモコンを使用して本機の電源を入れます。

👉 [設定] > [ロック設定] > [操作ボタンロック]

- ・本機のランプが予期せず消えるときは、一定時間操作が行われずスリープモードになっている可能性があります。いずれかのボタンを押して、スリープモードから復帰します。スリープモードを無効にするには、[節電] メニューで「[スリープモード]」を「[オフ]」にします。
- ・本機のランプが予期せず消えるときは、A/Vミュートタイマーが有効になっている可能性があります。A/Vミュートタイマーを無効にするには、[節電] メニューで「[A/Vミュートタイマー]」を「[オフ]」にします。

・本機のランプが予期せず消えるときは、レンズカバータイマーが有効になっている可能性があります。レンズカバータイマーを無効にするには、[節電] メニューで「[レンズカバータイマー]」を「[オフ]」にします。

- ・本機のランプが消え、ステータスインジケーターが点滅して温度インジケーターが点灯しているときは、本機の内部高温異常（オーバヒート）で電源がオフになっています。
- ・プロジェクターの設定によって、スタンバイ状態でもファンが回転することがあります。また、スタンバイ状態から電源をオンにしたときに、ファンが大きな音を立てて回転することがありますが、異常ではありません。
- ・電源コードが故障している可能性があります。電源コードを抜いて、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

▶ 関連項目

- ・「節電メニュー」 [p.138](#)
- ・「インジケーターの見方」 [p.167](#)
- ・「設定メニュー」 [p.121](#)
- ・「操作ボタンロックを解除する」 [p.79](#)

リモコンで操作できない

本機がリモコン操作に反応しないときは、次の対処方法を確認してください。

- ・リモコンの電池が正しくセットされていること、電池が切れていないことを確認します。必要に応じて、電池を交換します。
- ・リモコン信号が届く距離、角度からリモコンを操作します。
- ・本機がウォームアップ中またはシャットダウン中でないか確認します。

- リモコンのボタンが押し込まれた状態になっていないか確認します。その状態ではリモコンが操作できないことがあります。ボタンを元の状態に戻してください。
- 蛍光灯の強い光、直射日光、赤外線機器の信号が、本機のリモコン受光部に干渉することがあります。照明の明るさを落とす、または直射日光や赤外線干渉を避けられる場所に本機を移動してください。
- [設定] メニューの [リモコン受光部] で、いずれかの受光部がオンになっていることを確認します。
- [リモコン受光部] がオフに設定されているときは、リモコンの【メニュー】ボタンを15秒以上押したままにして、この設定を初期値に戻します。
- プロジェクターIDを設定しているときは、プロジェクターIDと同じ番号をリモコンで選択してリモコン操作を有効にします。
- リモコンの【ID】ボタンを押しながら、[0]（ゼロ）ボタンを押します。IDを [0] に設定すると、プロジェクターIDの設定に関わらず、すべてのプロジェクターを操作できます。
- リモコンを紛失した場合は、新たにリモコンをお買い求めいただけます。

▶関連項目

- 「リモコンを操作する」 [p.29](#)
- 「設定メニュー」 [p.121](#)
- 「操作対象のプロジェクターIDをリモコンで選択する」 [p.72](#)
- 「リモコンに電池を取り付ける」 [p.28](#)

パスワードが入力できない

パスワードを入力できない、または忘れたときは、次の対処方法を確認してください。

- 誤ったパスワードを何度も入力すると、問い合わせコードを示すメッセージが表示されます。そのコードをメモして、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。パスワードに関してお問い合わせをいただいた際は、お客様のお名前や連絡先をお聞きし、ご本人であることを確認させていただきます。
- リモコンを紛失したときはパスワードを入力できません。新たにリモコンをお買い求めください。

注意

[ネットワーク設定を初期化します。] を実行すると、[ネットワーク] メニューで設定したすべてのパスワードが初期化され、パスワードの再設定が必要になります。第三者によるパスワードの初期化を防ぐためには、[パスワードプロテクト] で [ネットワーク保護] を [オン] に設定してください。

「時刻を保持する電池残量が低下しています」というメッセージが表示される

「時刻を保持する電池残量が低下しています」というメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

ネットワーク経由でプロジェクターを使用するときに想定されるトラブルの対処方法を確認してください。

▶ 関連項目

- ・「無線LAN認証できない」 [p.178](#)
- ・「Webブラウザーを使って設定を変更できない」 [p.178](#)
- ・「異常が起きたときにメール通知されない」 [p.179](#)
- ・「ネットワーク経由で投写した映像が乱れる」 [p.179](#)
- ・「Miracastで接続できない」 [p.179](#)
- ・「Miracastの映像・音声が乱れる」 [p.179](#)
- ・「AirPlayで接続できない」 [p.180](#)
- ・「AirPlayの映像・音声が乱れる」 [p.180](#)
- ・「Event IDでの確認」 [p.180](#)

無線LAN認証できない

無線LANの認証に失敗するときは、次の対処方法を確認してください。

- ・無線LANが正しく設定されていても認証できないときは、[日付&時刻]を設定し直してください。
☛ [拡張設定] > [動作設定] > [日付&時刻]
- ・[ネットワーク]メニューで[セキュリティ]の設定を確認します。
☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [無線LAN]
- ・アクセスポイントのセキュリティがWPA3-EAPに設定されているときは、WPA2/WPA3-EAPに設定します。

▶ 関連項目

- ・「拡張設定メニュー」 [p.124](#)
- ・「ネットワーク設定 - 無線LANメニュー」 [p.130](#)

Webブラウザーを使って設定を変更できない

Webブラウザーを使って本機の設定を変更できないときは、正しいユーザー名とパスワードを確認してください。

- ・ユーザー名を確認してください。(ユーザー名は変更できません。)
 - ・[ベーシックコントロール]にアクセスするときのユーザー名：**EPSONREMOTE**
 - ・その他の画面にアクセスするときのユーザー名：**EPSONWEB**
- ・パスワードには、[ネットワーク]メニューで設定しているパスワードを入力します。デフォルトのパスワードは設定されていません。
- ・プロジェクターが接続しているネットワークへのアクセス権を持っていることを確認します。
- ・お使いのWebブラウザーで、プロキシサーバーを使用して接続するように設定されていると、[Epson Web Control]画面を表示できません。プロキシサーバーを使用しないで接続するように設定してください。
- ・プロジェクターの[A/V出力設定]の[A/V出力]を[常時]に設定していて、プロジェクターがスタンバイ状態のとき、接続しているネットワーク機器の電源が入っていることを確認します。ネットワーク機器の電源を入れた後、プロジェクターを再起動してください。
☛ [拡張設定] > [A/V出力設定] > [A/V出力]



ユーザー名、パスワードの大文字小文字は区別されます。

▶ 関連項目

- ・「ネットワークメニュー - 基本設定メニュー」 [p.128](#)

異常が起きたときにメール通知されない

プロジェクターの異常/警告を通知するメールが受け取れないときは、次の対処方法を確認してください。

- ・本機の電源が入っているか、ネットワークに正しく接続されているか確認します。本機に致命的な異常が発生し、瞬時に起動停止状態になったときは、メールが送信できことがあります。
- ・[ネットワーク] メニューの [通知] またはネットワークソフトウェアでメール通知機能を正しく設定していることを確認します。
- ・本機がスタンバイ状態のときもプロジェクターを監視できるように、[A/V出力設定] の [A/V出力] を [常時] に設定します。
- ➡ [拡張設定] > [A/V出力設定] > [A/V出力]

▶ 関連項目

- ・「ネットワークメニュー - 通知メニュー」 [p.134](#)
- ・「拡張設定メニュー」 [p.124](#)

ネットワーク経由で投写した映像が乱れる

ネットワーク経由で投写した映像が乱れるときは、次の対処方法を確認してください。

- ・アクセスポイントとコンピューターやモバイルデバイス、プロジェクターの間に障害物がないかを確認し、電波状況がよくなるようにそれらの位置を変更します。
- ・アクセスポイントとコンピューターやモバイルデバイス、プロジェクターが離れすぎていないか確認します。離れすぎているときは、近づけて接続します。
- ・Bluetoothを使用する機器や電子レンジなどからの干渉がないか確認してください。干渉の可能性のある機器を遠ざけるか、無線帯域を確保します。

- ・映像の表示が遅いときは、接続している機器の数を減らしてください。

Miracastで接続できない

Miracastでプロジェクターに接続できないときは、次の対処方法を確認してください。

- ・プロジェクターの設定を確認し、再起動します。
 - ・[ネットワーク] メニューの [無線LAN] で [Miracast] を [オン] に設定します。
 - ・[ネットワーク] メニューの [無線LAN] で [Miracast] を [オフ] に設定し、再度 [オン] に設定します。
- ・モバイルデバイスの設定を確認します。
 - ・モバイルデバイスの設定が正しいことを確認します。
 - ・接続を終了した直後に再接続するときは、接続までに時間がかかることがあります。しばらくしてから再接続します。
 - ・モバイルデバイスを再起動します。
 - ・一度Miracastで接続すると、モバイルデバイスに本機の接続情報が記録されることがあります、この画面からは再接続できないことがあります。接続可能なデバイスの一覧から、再度本機を選択してください。

▶ 関連項目

- ・「ネットワークメニュー」 [p.127](#)
- ・「モバイルデバイスからのワイヤレス投写 (Miracast)」 [p.91](#)

Miracastの映像・音声が乱れる

Miracastでモバイルデバイスから投写した映像・音声が乱れるときは、次の対処方法を確認してください。

- モバイルデバイスのWi-Fiアンテナ部分を隠さないようにします。
- モバイルデバイスでMiracastとインターネット接続を同時に使うと、映像が止まったり、ノイズが入ったりすることがあります。無線帯域を確保し、モバイルデバイスの通信速度を向上させるために、インターネット接続を停止します。
- Miracastで投写できるコンテンツであることを確認します。
- モバイルデバイスの設定によっては、パワーセーブ時に接続が切れることがあります。デバイスの省電力設定などを確認します。
- モバイルデバイスの無線ドライバーやファームウェアを最新の状態に更新します。

► 関連項目

- 「モバイルデバイスからのワイヤレス投写（Miracast）」 [p.91](#)

AirPlayで接続できない

AirPlayできないときは、次の対処方法を確認してください。

- プロジェクターの設定を確認します。
 - Appleデバイスとプロジェクターが同じネットワーク接続を使用していることを確認します。
 - AirPlayとHomeKitの設定画面でAirPlayをオンに設定します。
- プロジェクターを再起動します。
- Appleデバイスの設定が正しいことを確認します。
- プロジェクターに設定された日時にずれがある場合、AirPlayが途中で切断されることがあります。

[拡張設定]メニューの[日付&時刻]と[夏時間設定]で正しい日時を設定してください。

- 使用しているネットワークが特定のネットワークポート通信をブロックする設定がされていないか確認します。

► 関連項目

- 「ネットワークメニュー」 [p.127](#)
- 「AirPlayを使用する」 [p.95](#)

AirPlayの映像・音声が乱れる

AirPlayでの映像・音声が乱れるときは、次の対処方法を確認してください。

- アクセスポイントとAppleデバイス、プロジェクターの間に障害物がないかを確認し、電波状況がよくなるようにそれらの位置を変更します。
- AppleデバイスのWi-Fiアンテナ部分を隠さないようにします。
- AirPlayでストリーミングまたはミラーリングできるコンテンツであることを確認します。
- Appleデバイスの設定によっては、パワーセーブ時に接続が切れることがあります。Appleデバイスの省電力設定などを確認します。
- Appleデバイスのソフトウェアアップデートを最新の状態に更新します。

► 関連項目

- 「AirPlayを使用する」 [p.95](#)

Event IDでの確認

[情報]メニューの[プロジェクター情報]に表示される[Event ID]でトラブルの対処方法を確認できる場合もあります。問題が解決しないと

きは、ネットワーク管理者にお問い合わせいただくか、お問い合わせ先に記載の連絡先にお問い合わせください。

[Event ID] : 0891

事象： アクセスポイントが見つからない。

原因と対処： 以下の原因が考えられます。

1	原因	接続先のアクセスポイントのSSIDとプロジェクターのSSIDが異なっている。
	対処	プロジェクターで設定したSSIDが間違っている場合は、SSIDを再設定してください。
2	原因	Wi-Fiの周波数やチャネルが合っていない。
	対処	アクセスポイントで設定されている周波数、チャネルに合わせてください。
3	原因	アクセスポイントの電波が弱い、届かない。
	対処	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクターとアクセスポイントの間に遮蔽物があれば避けて設置してください。 アクセスポイントとプロジェクターが離れ過ぎている場合は、近づけてください。 アクセスポイントの電波出力が調整できる場合は、出力を上げてください。
4	原因	検出されたアクセスポイント（SSID）が多すぎて該当のアクセスポイントが見つからない。
	対処	アクセスポイント側で混雑していない無線帯域やチャネルに変更して確認してください。

[Event ID] : 0892

事象： プロジェクターとアクセスポイントのセキュリティー/認証形式が一致していない。

原因と対処： 以下の原因が考えられます。

1	原因	プロジェクターのセキュリティー設定が、アクセSpoイントのセキュリティー設定と合っていない。
	対処	プロジェクターのセキュリティー設定を確認して、アクセSpoイントのセキュリティー設定に合わせてください。
2	原因	EAPの種類が合っていない。
	対処	プロジェクターのEAP種類が認証装置（Authenticator）のEAP種類と合っているか確認してください。プロジェクターで設定できるEAP種類は「PEAP」と「EAP-TLS」の2種類です。認証装置も「PEAP」と「EAP-TLS」のどちらかで設定してください。
3	原因	WPA3-PSKのPMF(Protected Management Frame)が無効に設定されている。
	対処	アクセSpoイントでWPA3-PSKのPMF(Protected Management Frame)が無効に設定されている場合は接続に失敗します。プロジェクターのセキュリティーをWPA2/WPA3-PSKに設定して接続を確認してください。
4	原因	プロジェクターがWPA3-EAPであるのにアクセSpoイントのPMF(Protected Management Frame)設定が無効になっている。
	対処	アクセSpoイントのPMF設定を確認してください。アクセSpoイントにPMF設定がない場合は、プロジェクターの設定をWPA2/WPA3-EAPに設定して再接続を試してください。

[Event ID] : 0893

事象： プロジェクターとアクセSpoイントの暗号形式またはパスフレーズが一致していない。

原因と対処：以下の原因が考えられます。

1	原因	プロジェクターとアクセスポイントの暗号形式が異なる。
	対処	プロジェクターの暗号方式はAESのみのため、接続するアクセスポイントの暗号形式をAESに設定してください。
2	原因	プロジェクターに設定されているパスフレーズが間違っている。
	対処	<ul style="list-style-type: none"> パスフレーズが正しく設定されているか確認してください。 ネットワーク管理者からパスフレーズが通知されている場合は、通知されたパスフレーズが正しいかネットワーク管理者に確認してください。

[Event ID] : 0894

事象： プロジェクターとネットワーク（Wi-Fi）の接続が切れてしまう。

原因と対処：以下の原因が考えられます。

1	原因	プロジェクターまたはアクセスポイントに問題がある。

対処	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクター、アクセスポイントを再起動して確認してください。 Wi-Fi接続の再設定を試してください。 プロジェクターとアクセスポイントの間に遮蔽物があれば避けて設置してください。 アクセスポイントとプロジェクターが離れ過ぎている場合は、近づけてください。 アクセスポイントの電波出力が調整できる場合は、出力を上げてください。 プロジェクター、アクセスポイントの取扱説明書（トラブルシューティング等）をご確認ください。 プロジェクターやアクセスポイントで新しいファームウェアがある場合は、ファームウェアを更新してください。

[Event ID] : 0895

事象： デバイスとネットワーク（Wi-Fi）の接続が切れてしまう。

原因と対処：以下の原因が考えられます。

1	原因	デバイスまたはアクセスポイントに問題がある。

対処	<ul style="list-style-type: none"> デバイス、アクセスポイントを再起動して確認してください。 Wi-Fi接続の再設定を試してください。 デバイスとアクセスポイントの間に遮蔽物があれば避けて設置してください。 デバイスとアクセスポイントが離れ過ぎている場合は、近づけてください。 アクセスポイントの電波出力が調整できる場合は、出力を上げてください。 デバイス、アクセスポイントの取扱説明書（トラブルシューティング等）をご確認ください。 デバイスやアクセスポイントで新しいファームウェアがある場合は、ファームウェアを更新してください。
----	---

[Event ID] : 0898

事象： DHCPサーバーからIPアドレスが取得できない。

原因と対処：以下の原因が考えられます。

原因	ネットワーク内にDHCPサーバーが存在しない。
対処	<ul style="list-style-type: none"> 他の機器（PCなど）でIPアドレスが割り振られているか確認してください。（PCはDHCP ONである前提） DHCPサーバーが正しく設定されていること、接続されていることを確認してください。
原因	無線環境に問題がある。

対処	<ul style="list-style-type: none"> アクセスポイント検索または無線LAN診断を実施し、該当アクセスポイントの無線電波強度を確認してください。 アクセスポイントの電波強度を調整、またはアクセスポイントのチャネルを変更して再度接続を試してください。 プロジェクターとアクセスポイントの間に遮蔽物があれば避けて設置してください。
----	---

[Event ID] : 0899

事象： その他接続に問題がある。

原因と対処：以下の原因が考えられます。

原因	接続されている機器（プロジェクター/デバイス）やアクセスポイントに問題がある。
対処	<ul style="list-style-type: none"> 接続されている機器（プロジェクター/デバイス）やアクセスポイントを再起動してください。 接続されているデバイスを再起動してください。 Wi-Fi接続の再設定を試してください。 接続されている機器（プロジェクター/デバイス）とアクセスポイントの間に遮蔽物があれば避けて設置してください。 接続されている機器（プロジェクター/デバイス）とアクセスポイントが離れ過ぎている場合は、近づけてください。 アクセスポイントの電波出力が調整できる場合は、出力を上げてください。 接続されている機器（プロジェクター/デバイス）、アクセスポイントの取扱説明書（トラブルシューティング等）をご確認ください。 接続されている機器（プロジェクター/デバイス）、アクセスポイントで新しいファームウェアがある場合は、ファームウェアを更新してください。

[Event ID] : 089A

事象： EAPの設定に問題がある。

原因と対処： 以下の原因が考えられます。

1	原因	EAPのユーザー名が間違っている。
	対処	<ul style="list-style-type: none"> EAPのユーザー名が正しいことを確認してください。 ネットワーク管理者からEAPのユーザー名を通知されている場合は、通知されたユーザー名が正しいかネットワーク管理者に確認してください。
2	原因	EAP-TLS、PEAPなどのEAP種類が一致しない。
	対処	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトメニューのEAP種類が、ネットワーク管理者から通知されたEAP種類と同じかどうか確認してください。 ネットワーク管理者からEAP種類を通知されている場合は、通知されたEAP種類が正しいか確認してください。

[Event ID] : 089B

事象： EAPの設定に問題がある。

原因と対処： 以下の原因が考えられます。

1	原因	CA証明書がインストールされていない。
	対処	<p>CA証明書情報が取得できることを確認してください。情報が空の場合はEAP用のすべての種類のCA証明書をインポートしてください。</p> <p>👉 [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [無線LAN] > [EAP設定] > [CA証明書]</p>
2	原因	CA証明書が不正である。

	対処	CA証明書がEAP用のCA証明書であり、EAP種類に合っているかを確認してください。
3	原因	CA証明書の有効期限が切れている。
	対処	<p>CA証明書情報の有効期限が切れていないか確認してください。</p> <p>👉 [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [無線LAN] > [EAP設定] > [CA証明書]</p>
4	原因	プロジェクトの時刻設定が間違っている。
	対処	プロジェクトの時刻が正しく設定されていることを確認してください。
5	原因	プロジェクトとRADIUSサーバーでサポートするTLSバージョンが異なる。
	対処	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトとRADIUSサーバーのTLSバージョンが一致していることを確認してください。 プロジェクトにRADIUSサーバーのTLSバージョンに対応したファームウェアがある場合は、ファームウェアを更新してください。
6	原因	サーバー名 (FQDN) が間違っている。
	対処	<ul style="list-style-type: none"> サーバー名が正しく設定されているか確認してください。 ネットワーク管理者からサーバー名 (FQDN) を通知されている場合は、通知されたサーバー名が正しいかネットワーク管理者に確認してください。

[Event ID] : 089C

事象： EAPの設定に問題がある。

原因と対処： 以下の原因が考えられます。

1	原因	クライアント証明書がインストールされていない。
---	----	-------------------------

	対処	クライアント証明書情報が取得できることを確認してください。情報が空の場合はEAP用のクライアント証明書をインポートしてください。 👉 [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [無線LAN] > [EAP設定] > [クライアント証明書]
2	原因	クライアント証明書の有効期限が切れている。
	対処	クライアント証明書情報の有効期限が切れていないか確認してください。 👉 [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [無線LAN] > [EAP設定] > [クライアント証明書]
3	原因	クライアント証明書が不正である。
	対処	CA証明書がEAP用のクライアント証明書であること確認してください。
4	原因	PEAP/パスフレーズが不正である。
	対処	<ul style="list-style-type: none"> 設定されているPEAPのパスフレーズが正しいことを確認してください。 ネットワーク管理者からパスフレーズが通知されている場合は、通知されたパスフレーズが正しいかネットワーク管理者に確認してください。

	対処	<ul style="list-style-type: none"> 電波環境がよい場所で再度試してください。 Wi-Fi接続の再設定を試してください。 プロジェクターとアクセスポイントの間に遮蔽物があれば避けて設置してください。 プロジェクターとアクセスポイントが離れ過ぎている場合は、近づけてください。 アクセスポイントの電波出力が調整できる場合は、出力を上げてください。
2	原因	パスフレーズが間違っている。(PSKの場合)
	対処	<ul style="list-style-type: none"> パスフレーズが正しく設定されていることを確認してください。 ネットワーク管理者からパスフレーズが通知されている場合は、通知されたパスフレーズが正しいかネットワーク管理者に確認してください。
3	原因	PEAPパスフレーズが間違っている。(PEアクセスポイントの場合)
	対処	<ul style="list-style-type: none"> パスフレーズが正しく設定されていることを確認してください。 ネットワーク管理者からパスフレーズが通知されている場合は、通知されたパスフレーズが正しいかネットワーク管理者に確認してください。
4	原因	アクセスポイントが不安定など通信が途中で途切れる。

[Event ID] :089D

事象： 暗号鍵の交換で失敗する。

原因と対処：以下の原因が考えられます。

1	原因	無線電波が弱く鍵交換通信が行えない。
---	----	--------------------

対 処	<ul style="list-style-type: none">アクセスポイント、プロジェクターを再起動してください。Wi-Fi接続の再設定を試してください。プロジェクターとアクセスポイントの間に遮蔽物があれば避けて設置してください。プロジェクターとアクセスポイントが離れ過ぎている場合は、近づけてください。アクセスポイントの電波出力が調整できる場合は、出力を上げてください。プロジェクター、アクセスポイントの取扱説明書（トラブルシュート等）をご確認ください。プロジェクターやアクセスポイントで新しいファームウェアがある場合は、ファームウェアを更新してください。
--------	---

[Event ID] : 089E

事象： TLS通信が確立しない。

原因と対処：以下の原因が考えられます。

原因	プロジェクターとRADIUSサーバーでサポートするTLSバージョンが異なる。
対 処	<ul style="list-style-type: none">Wi-Fi接続の再設定を試してください。プロジェクターとアクセスポイントの間に遮蔽物があれば避けて設置してください。プロジェクターとRADIUSサーバーのTLSバージョンが一致していることを確認してください。プロジェクターにRADIUSサーバーのTLSバージョンに対応したファームウェアがある場合は、ファームウェアを更新してください。

HDMIリンクで接続機器を操作できないときは、次の対処方法を確認してください。

- お使いのケーブルがHDMI CEC規格に準拠しているか確認します。
- 接続機器が「接続機器一覧」に表示されているか確認します。HDMI CEC規格に準拠していない機器は「接続機器一覧」に表示されません。
HDMI CEC規格に準拠した機器をお使いください。
👉 [設定] > [HDMIリンク] > [接続機器一覧]
- HDMIリンクを使うために必要なケーブルがすべて接続されていることを確認します。
- 接続機器の電源がスタンバイ状態になっているか確認します。詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。
- 新しく機器を接続したり、接続を変更した後に操作できないときは、接続機器のCEC機能を設定し直して、再起動します。

▶ 関連項目

- 「設定メニュー」 [p.121](#)
- 「HDMIリンク機能」 [p.57](#)

付録

本機の仕様や使用上の注意事項については、以下の項目をご確認ください。

▶ 関連項目

- ・「オプション・消耗品一覧」 [p.189](#)
- ・「スクリーンサイズと投写距離」 [p.190](#)
- ・「対応解像度」 [p.192](#)
- ・「本機仕様」 [p.193](#)
- ・「外形寸法図」 [p.195](#)
- ・「警告ラベル」 [p.196](#)
- ・「安全規格対応シンボルマークと説明」 [p.197](#)
- ・「用語解説」 [p.199](#)
- ・「一般のご注意」 [p.201](#)

下記のオプション・消耗品を用意しています。用途に合わせてお買い求めください。

これらのオプション品は2025年1月現在のものです。
予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

▶ 関連項目

- ・「スクリーン」 [p.189](#)
- ・「設置用金具」 [p.189](#)
- ・「外付けオプション」 [p.189](#)
- ・「消耗品」 [p.189](#)

スクリーン

60型スクリーン **ELPSC27**

80型スクリーン **ELPSC28**

100型スクリーン **ELPSC29**

携帯型ロールスクリーンです。(アスペクト比4:3)

70型スクリーン **ELPSC23**

80型スクリーン **ELPSC24**

90型スクリーン **ELPSC25**

携帯型ロールスクリーンです。(アスペクト比16:10)

64型スクリーン **ELPSC31**

携帯型マグネットスクリーンです。(アスペクト比4:3)

50型スクリーン **ELPSC32**

持ち運びに便利なコンパクトスクリーンです。(アスペクト比4:3)

80型モバイルXタイプスクリーン **ELPSC21**

携帯型Xタイプスクリーンです。(アスペクト比16:9)

マルチアスペクトスクリーン **ELPSC26**

携帯型マルチアスペクトスクリーンです。

設置用金具

天吊金具 **ELPMB23**

天井に取り付けるときに使います。

セーフティーワイヤーセット **ELPWR01**

落下防止のため、本機と天吊り金具をつなぐときに使います。

パイプ450 (450 mm) **ELPFP13**

パイプ700 (700 mm) **ELPFP14**

高天井および化粧天井に取り付けるときに使います。



天吊り設置には特別な技術が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。

外付けオプション

書画カメラ **ELPDC30/ELPDC21/ELPDC07**

書籍やOHP原稿、スライドなどを投写するときに使います。

Android TV™端末 **ELPAP12**

メディアストリーミング端末です。オンラインコンテンツを視聴するときに使います。

ソフトキャリングケース **ELPKS70**

本機の持ち運びに便利なソフトケースです。

消耗品

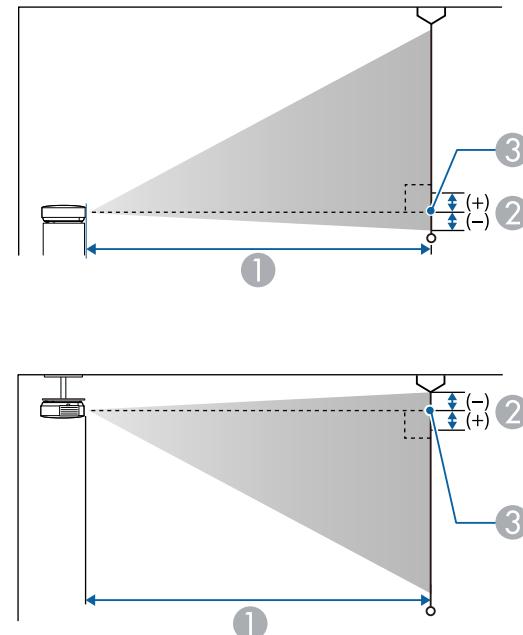
交換用ランプ **ELPLP97**

使用済みランプと交換します。

エアフィルター **ELPAF54**

使用済みエアフィルターと交換します。

この表に従って、スクリーンからプロジェクターまでの距離を、投写映像の大きさに応じて決めます。



① 投写距離 (cm)

② レンズ中心からスクリーン下端 (天吊りの場合はスクリーン上端) までの高さ (cm)

③ レンズの中心

16:9スクリーンサイズ		①	②
		最短 (ワイド) ~ 最長 (テレ)	
31型	69 × 39	88 - 143	0
40型	89 × 50	114 - 185	0

16:9スクリーンサイズ		①	②
		最短 (ワイド) ~ 最長 (テレ)	
50型	111 × 62	144 - 233	0
60型	133 × 75	173 - 280	0
80型	177 × 100	232 - 374	0
100型	221 × 125	290 - 468	-1
150型	332 × 187	437 - 704	-1
200型	443 × 249	583 - 939	-1
250型	553 × 311	730 - 1175	-1
304型	673 × 379	888 - 1429	-2

4:3スクリーンサイズ		①	②
		最短 (ワイド) ~ 最長 (テレ)	
25型	51 × 38	87	0
30型	61 × 46	105 - 170	0
40型	81 × 61	141 - 228	0
60型	122 × 91	212 - 343	0
80型	163 × 122	284 - 458	-1
100型	203 × 152	356 - 574	-1
120型	244 × 183	428 - 689	-1
150型	305 × 229	535 - 862	-1
200型	406 × 305	715 - 1150	-1
220型	447 × 335	786 - 1265	-1
245型	498 × 373	876 - 1410	-2

16:10スクリーンサイズ		①	②
		最短（ワイド）～最長（テレ）	
30型	65 × 40	92 - 150	0
40型	86 × 54	124 - 201	0
60型	129 × 81	187 - 303	0
80型	172 × 108	251 - 404	0
100型	215 × 135	314 - 506	-1
120型	259 × 162	377 - 608	-1
150型	323 × 202	472 - 761	-1
200型	431 × 269	631 - 1016	-1
250型	538 × 337	789 - 1270	-1
277型	597 × 373	875 - 1408	-2

映像信号ごとのリフレッシュレートと解像度についての詳細は
『Supplemental A/V Support Specification』をご覧ください。

► 関連項目

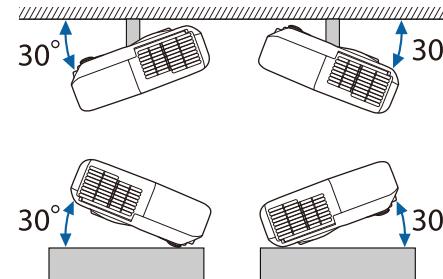
- ・「ドキュメント類の最新バージョン入手する」 [p.9](#)

商品名	EB-FH54
外形サイズ	幅309×高さ90×奥行き282 mm (突起部を含まず)
液晶パネルサイズ	0.62型
表示方式	3LCD
有効画素数	Full HD (横1,920×縦1,080 ドット) × 3
スクリーン解像度	2,073,600ピクセル (1,920 × 1,080)
フォーカス調整	手動
ズーム調整	1~1.62 (光学ズーム)
ランプ	UHEランプ 定格230 W 型番：ELPLP97
ランプ寿命	節電メニューの明るさ切替が高の場合：最大5,500時間 節電メニューの明るさ切替が低の場合：最大12,000時間
エアフィルターのメンテナンス時間	10,000時間
音声最大出力	16 W
スピーカー	1
電源	100-240V AC±10% 50/60Hz 3.6 - 1.7 A
消費電力 (100-120V エリア)	定格消費電力：349 W
消費電力 (220-240V エリア)	定格消費電力：332 W
待機時消費電力	0.3 W
動作高度	標高 0~3,048 m
動作温度範囲*	標高 0~2,286 m : +5~+40°C (結露しないこと) 標高 2,287~3,048 m : +5~+35°C (湿度20~80%、結露しないこと)

保存温度範囲	-10~+60°C (湿度10~90%、結露しないこと)
質量	約3.1 kg

* 使用する環境の温度が高くなったときは、ランプの明るさを自動的に落とします。(標高0~2,286mでは約35°C、標高2,287~3,048mでは約30°Cを目安としますが、使用環境等によって異なります。)
定格ラベルは本機の底面に貼り付けられています。

傾斜角度



30°以上傾けてお使いになると、故障や事故の原因となります。

► 関連項目

- 「接続端子」 [p.193](#)
- 「無線チャンネル数サポート周波数対応表」 [p.194](#)

接続端子

音声出力端子	ステレオミニピンジャック
HDMI1端子	HDMI (音声はPCMにのみ対応)
HDMI2端子	HDMI (音声はPCMにのみ対応)
USB-A端子	USBコネクター (Aタイプ)

USB-B端子	USBコネクター（Bタイプ）
---------	----------------



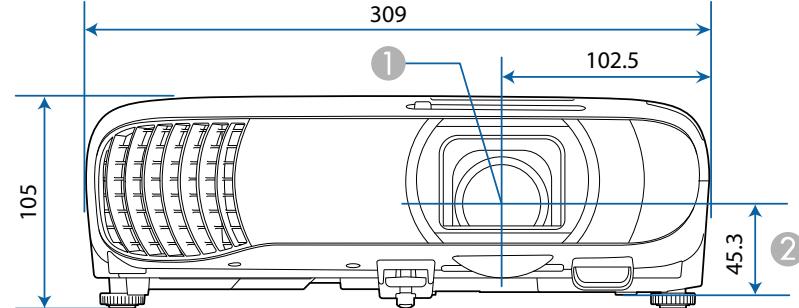
- USB-A端子とUSB-B端子はUSB2.0に対応しています。ただし、USB対応機器すべての動作を保証するものではありません。
- USB-B端子はUSB 1.1には対応していません。

無線チャンネル数サポート周波数対応表

2.4GHz Ch1 - Ch11 (2.400 - 2.473GHz)	Yes
2.4GHz Ch12, 13 (2.473 - 2.4835GHz)	Yes
5GHz Ch36, 40, 44, 48 (5.15 – 5.25GHz)	Yes
5GHz Ch52, 56, 60, 64 (5.25 – 5.35GHz)	Yes*
5GHz Ch100 – Ch144 (5.47 – 5.725GHz)	Yes* (Ch100-140)
5GHz Ch149 – Ch165 (5.725 – 5.85GHz)	No

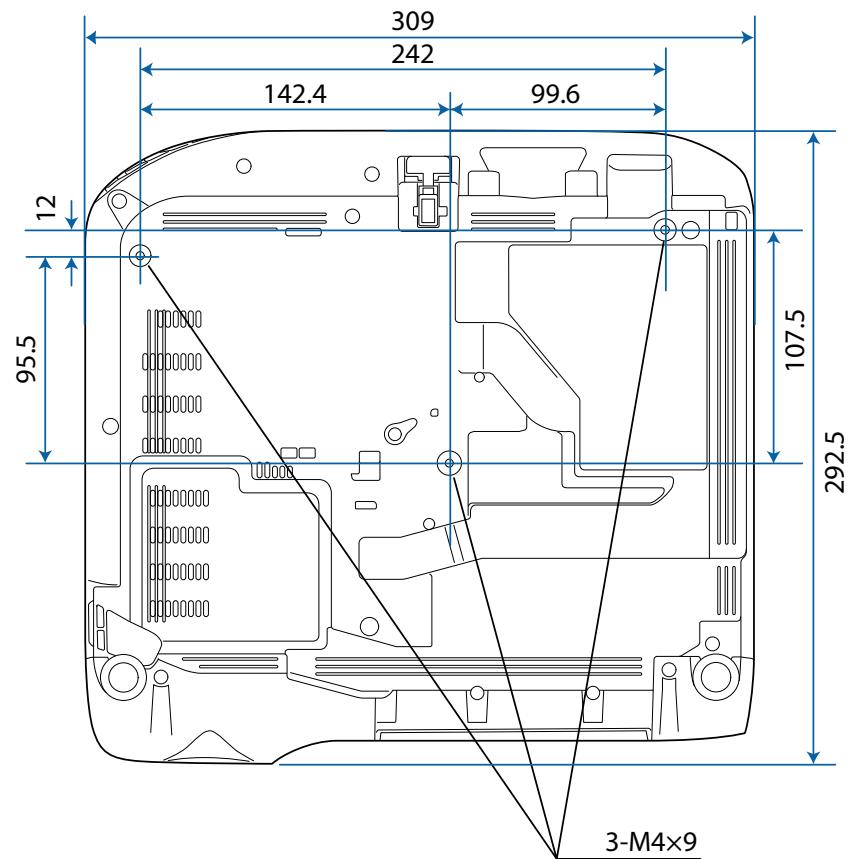
6GHz Ch1 – Ch93 (5.945 – 6.425GHz)	Yes*
6GHz Ch97 – Ch113 (6.425 – 6.525GHz)	No
6GHz Ch117 – Ch185 (6.525 – 6.875GHz)	No
6GHz Ch189 – Ch233 (6.875 – 7.125GHz)	No

* アクセスポイントに接続する場合



① レンズの中心

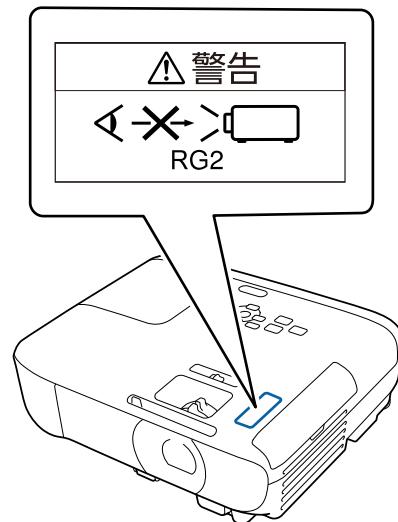
② レンズの中心から天吊り固定部までの寸法



単位: mm

本機には以下の警告ラベルが貼られています。

投写中は、光源から放射される光をのぞかないでください。（RG2 IEC/EN 62471-5:2015に準拠）



⚠ 警告

- 本機から離れた場所でリモコンを使って電源を入れるときは、レンズをのぞいている人がいないことを確認してください。
- 小さなお子様には操作させないでください。操作する可能性がある場合は、必ず保護者が同伴してください。
- 投写中はレンズをのぞきこまないでください。また、ルーペや望遠鏡などの光学機器を用いてレンズをのぞかないでください。視覚障害の原因になることがあります。

製品上にシンボルマークが表示されている場合は、それぞれ以下の意味を持っています。

No.	シンボルマーク	対応規格	説明
①	■	IEC60417 No. 5007	電源ON 電源への接続を示す。
②	○	IEC60417 No. 5008	電源OFF 電源からの切り離しを示す。
③	○	IEC60417 No. 5009	スタンバイ 機器・装置の一部だけを通電状態にし、機器・装置を待機状態にするためのスイッチまたはその位置を示す。
④	△!	ISO7000 No. 0434B, IEC3864-B3.1	注意 製品取扱時の全般的な注意を示す。
⑤	△	IEC60417 No. 5041	注意（高温） 高温の可能性があり、不注意に触れない方がよい箇所であることを示す。
⑥	△	IEC60417 No. 6042 ISO3864-B3.6	注意（感電危険） 感電（電撃）の危険性がある機器・装置であることを示す。
⑦	△	IEC60417 No. 5957	屋内専用 屋内使用専用を目的とする電気機器・装置であることを表す。

No.	シンボルマーク	対応規格	説明
⑧		IEC60417 No. 5926	直流電源コネクター極性 直流電源を接続してもよい機器のプラスおよびマイナス電極の接続を示す。
⑨		—	No. 8と同じ
⑩		IEC60417 No. 5001B	電池（一般） 電池を電源とする機器・装置に使用する。電池装着部分のカバーまたは接続端子を示す。
⑪		IEC60417 No. 5002	電池の向き 電池ケース本体および電池ケース内での向きを示す。
⑫		—	No. 11と同じ
⑬		IEC60417 No. 5019	保護接地 障害発生時の電撃（感電）保護用外部導体への接続端子または保護接地極の端子であることを示す。
⑭		IEC60417 No. 5017	アース No. 13の使用が明示的に要請されない場合の接地（アース）端子であることを示す。
⑮		IEC60417 No. 5032	交流 交流専用の機器・装置であり、交流に対応する端子であることを示す。

No.	シンボルマーク	対応規格	説明
⑯		IEC60417 No. 5031	直流 直流専用の機器・装置であり、直流に対応する端子であることを示す。
⑰		IEC60417 No. 5172	クラス II 機器 JIS C 9335-1/JIS C 8105-1でクラス II 機器と規定した安全性要求事項に適合する機器・装置であることを示す。
⑱		ISO 3864	一般的な禁止 特定しない一般的な禁止通告を示す。
⑲		ISO 3864	接触禁止 機器の特定の場所に触れるによって傷害が起こる可能性がある場合の禁止通告を示す。
⑳		—	プロジェクター動作中の投写レンズ覗きこみ禁止を示す。
㉑		—	プロジェクターの上に物を置いてはならないことを示す。
㉒		ISO3864 IEC60825-1	注意（レーザー放射） 製品上に注意が必要なレベルのレーザー放射部があることを示す。
㉓		ISO 3864	分解禁止 機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止通告を示す。

No.	シンボルマーク	対応規格	説明
㉔		IEC60417 No. 5266	待機、一部待機 機器・装置の一部が準備状態であることを示す。
㉕		ISO3864 IEC60417 No. 5057	注意（可動部品） 保護規定上、可動部品から離れなければならないことを示す。
㉖		IEC60417 No. 6056	注意（可動ファンのブレード） 保護規定上、可動部品から離れなければならないことを示す。
㉗		IEC60417 No. 6043	注意（鋭利な角） 保護規定上、鋭利な角には触れてはいけないことを指示する。
㉘		—	プロジェクター動作中の投写レンズのぞき込み禁止。
㉙		ISO7010 No. W027 ISO 3864	警告、光放射（UV、可視光、IRなど） 光放射の近くにいるときは、目や肌に負傷を与えないように注意してください。
㉚		IEC60417 No. 5109	居住区域使用禁止 居住区域での使用に適さない電気機器・装置であることを示す。

本書で使用している用語で、本文中に説明がないものや難しいものを簡単に説明します。詳細は市販の書籍などでご確認ください。

アスペクト比	画面の横と縦の比率をいいます。 横：縦の比率が16:9の、HDTVなどの画面をワイド画面といいます。 SDTVや、一般的なコンピューターのディスプレイのアスペクト比は4:3です。
コントラスト	色の明暗の差を強くしたり弱くしたりすることにより、文字や絵がはっきり見えたり、ソフトに見えたりすることです。この調整をコントラストの調整といいます。
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocolの略で、ネットワークに接続する機器に、IPアドレスを自動的に割り当てるプロトコルのことです。
Full HD	画面サイズの規格で、横1,280ドット×縦1,080ドットのものを呼びます。
ゲートウェイアドレス	サブネットマスクによって分割したネットワーク（サブネット）を超えて通信するためのサーバー（ルーター）のことです。
HDCP	High-bandwidth Digital Content Protectionの略です。 DVIやHDMI端子を経由して送受信するデジタル信号を暗号化し、不正なコピーを防止する著作権保護技術です。 本機のHDMI端子はHDCPに対応しているため、HDCP技術で保護されたデジタル映像を投写できます。 ただし、HDCPの規格変更等が行われたときは、変更後の規格で保護されたデジタル映像を投写できなくなる場合があります。
HDMI™	High Definition Multimedia Interfaceの略で、デジタル家電やコンピューター向けの規格です。HD映像とマルチチャンネルオーディオ信号をデジタル伝送できます。 デジタル信号を圧縮せず高品質のまま転送できます。デジタル信号の暗号化機能もあります。

HDTV	High-Definition Televisionの略で、次の条件を満たす高精細なシステムに適用されます。 <ul style="list-style-type: none"> 垂直解像度720p、1080i以上（pはプログレッシブ走査、iはインターレース走査） 画面のアスペクト比は16:9
インターレース	1つの画面を作り出す情報を上から下へ1つ飛ばしに伝送します。 1フレームの表示が1ラインおきとなるため、ちらつき（フリッカー）が出やすくなります。
IPアドレス	ネットワークに接続されたコンピューターを識別するための数字のことです。
プログレッシブ	1つの画面を作り出す情報を一度で映し出して1フレーム分の映像を表示します。 そのため走査線の本数が同じでもインターレースと比べて時間あたりの情報量が2倍になるためちらつきが少ない映像になります。
リフレッシュレート	ディスプレイの発光体は、その明るさと色をぐく短時間保持します。 そのため発光体をリフレッシュするために1秒間に何度も画像を走査しなければなりません。 その速度をリフレッシュレートと呼び、ヘルツ（Hz）で表します。
SDTV	Standard Definition Televisionの略で、HDTVの条件を満たさない標準テレビ放送のことです。
SNMP	Simple Network Management Protocolの略で、TCP/IPネットワークにおいてルーターやコンピューターなどネットワークに接続された通信機器をネットワーク経由で監視・制御するためのプロトコルです。

sRGB	各画像装置が表現する色をコンピューターのオペレーティングシステム（OS）やインターネットで簡単に扱うために規定された、色空間に関する国際標準です。接続している機器にsRGBモードがある場合、本機と接続機器の両方ともsRGBに設定します。
SSID	SSIDは、無線LANの環境で相手と接続するための識別データです。SSIDが一致している機器同士で無線通信できます。
サブネットマスク	IPアドレスから、分割したネットワーク（サブネット）のネットワークアドレスに使用するビット数を定義する数値のことです。
SVGA	画面サイズの規格で、横800ドット×縦600ドットのものを呼びます。
SXGA	画面サイズの規格で、横1,280ドット×縦1,024ドットのものを呼びます。
トラップIPアドレス	SNMPで異常を通知する場合の、通知先のコンピューターのIPアドレスのことです。
VGA	画面サイズの規格で、横640ドット×縦480ドットのものを呼びます。
XGA	画面サイズの規格で、横1,024ドット×縦768ドットのものを呼びます。
WXGA	画面サイズの規格で、横1,280ドット×縦800ドットのものを呼びます。
WUXGA	画面サイズの規格で、横1,920ドット×縦1,200ドットのものを呼びます。

本機をお使いの際の注意事項については、以下の項目をご確認ください。

▶ 関連項目

- ・「使用限定について」 [p.201](#)
- ・「本機を日本国外へ持ち出す場合の注意」 [p.201](#)
- ・「瞬低（瞬時電圧低下）基準について」 [p.201](#)
- ・「JIS C 61000-3-2適合品」 [p.201](#)
- ・「表記について」 [p.201](#)
- ・「商標について」 [p.202](#)
- ・「ご注意」 [p.202](#)
- ・「著作権について」 [p.202](#)

使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

本機を日本国外へ持ち出す場合の注意

- ・日本国内向けの本製品を海外で利用した場合は、保証の対象外となります。国内で販売する本製品は、日本国内使用を意図した安全規格基準のみ対応しているため、日本国以外でのご使用は違法となる場合があります。また、国や地域によっては電波使用制限があるため、ネットワーク機能を海外で使った場合、罰せられることがあります。

- ・電源コードは日本国内向けの電源仕様に基づき同梱されています。本機を日本国外でお使いになるときは、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国の規格に適合した電源コードを現地にてお求めください。

瞬低（瞬時電圧低下）基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお薦めします。

JIS C 61000-3-2適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

表記について

- ・ Microsoft® Windows® 10 operating system
- ・ Microsoft® Windows® 11 operating system

本書では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、「Windows 10」、「Windows 11」と表記しています。また、これらを総称する場合は「Windows」と表記します。

- ・ macOS 12.x
- ・ macOS 13.x
- ・ macOS 14.x

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、「macOS 12.x」、「macOS 13.x」、「macOS 14.x」と表記しています。またこれらを総称する場合は「Mac」と表記します。

商標について

「ELPLP」およびそのロゴはセイコーエプソン株式会社の登録商標または商標です。

App Storeは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc. のサービスマークです。

Apple、Mac、macOS、AirPlay、Apple Home、Apple TV、HomeKit、HomePod およびHomePod Miniは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc. の商標です。

Microsoft、Windows、Windows ロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Wi-Fi®、WPA2™、WPA3™、Miracast®はWi-Fi Alliance®の登録または登録商標です。

Chrome、Chromebook、Google PlayはGoogle LLC.の商標です。

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMIのトレードドレスおよびHDMIのロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。 

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



本製品は下記URLに掲載されているHEVC特許の1つ以上の請求項の権利範囲に含まれています。 patentlist.accessadvance.com

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

ご注意

(1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。

- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいようお願いいたします。
- (4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者（「お問い合わせ先」参照）以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (7) 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

著作権について

本書の内容は予告なく変更することがあります。

© 2025 Seiko Epson Corporation

2025.6 414569804JA